

# 1年次生

数 学 I (習熟度別 A) .....	83	現 代 社 会 論 .....	117
数 学 I (習熟度別 B) .....	84	英 語 の 歴 史 .....	118, 119
数 学 I (習熟度別 C) .....	85	現 代 広 告 論 .....	120, 121
数 学 II (習熟度別 A) .....	86	社 会 心 理 学 .....	122
数 学 II (習熟度別 B) .....	87	ヒューマンケア論入門 .....	123
数 学 II (習熟度別 C) .....	88	日 本 文 化 論 .....	124
物 理 学 (履修歴別 A) .....	89	言 語 と 文 化 .....	125
物 理 学 (履修歴別 B) .....	90	ア ジ ア 文 化 論 .....	126
物 理 学 (履修歴別 B) .....	91	ア メ リ カ 文 化 論 .....	127
基 礎 化 学 .....	92	医 療 と 人 間 .....	128
生 命 科 学 入 門 .....	93	現 代 の 音 楽 .....	129
情 報 リテラシー(1~6クラス) .....	94	消 費 者 行 動 論 .....	130
教 養 リテラシー(1, 3, 5クラス) .....	95	薬 局 経 営 論 .....	131
教 養 リテラシー(2, 4, 6クラス) .....	96	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 .....	132
英 語 I (習熟度別 A) .....	97	異 文 化 理 解 .....	133
英 語 I (習熟度別 B) .....	98	社 会 薬 学 I .....	134
英 語 I (習熟度別 C) .....	99	社 会 薬 学 II .....	135
英 語 II (習熟度別 A) .....	100	薬 学 入 門 .....	136
英 語 II (習熟度別 B) .....	101	物 理 化 学 I .....	137
英 語 II (習熟度別 C) .....	102	分 析 化 学 I .....	138
英 語 II (習熟度別 D) .....	103	無 機 ・ 錯 体 化 学 .....	139
英 語 III (習熟度別 A) .....	104	有 機 化 学 I .....	140, 141
英 語 III (習熟度別 B) .....	105	有 機 化 学 II .....	142, 143
英 語 III (習熟度別 C) .....	106	有 機 化 学 III .....	144
英 語 IV (習熟度別 A) .....	107	薬 用 資 源 学 .....	145
英 語 IV (習熟度別 B) .....	108	生 薬 学 .....	146
英 語 IV (習熟度別 C) .....	109	生 化 学 I .....	147
英 語 IV (習熟度別 D) .....	110	早 期 体 験 学 習 .....	148
中 国 語 I .....	111	有 機 化 学 系 I 実 習 .....	149
韓 国 語 I .....	112	基 礎 化 学 実 習 .....	150
ド イ ツ 語 I .....	113	初 期 体 験 臨 床 実 習 .....	151
中 国 語 II .....	114		
韓 国 語 II .....	115		
ド イ ツ 語 II .....	116		



## 数学 I

習熟度別A

クラス	1	科目コード	4001
クラス	2	科目コード	4001
クラス	3	科目コード	4001
クラス	4	科目コード	4001
クラス	5	科目コード	4001
クラス	6	科目コード	4001

担当教員名 講師（非常勤） 高田 一郎

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 関数の概念を理解する。
2. 指数関数、対数関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
3. 三角関数、逆三角関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
4. 関数の連続性を理解し、主な関数についてそれを確かめることができる。
5. 極限値の考え方を理解し、計算によってそれを求めることができる。
6. 微分法の考え方を理解し、導関数の計算ができる。
7. 導関数を用いて、関数の極値・増減を調べることができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 集合と写像     | 集合と写像の定義         |
| 2. 関数の概念     | 関数、合成関数、逆関数の定義   |
| 3. 指数関数と対数関数 | 指数・対数関数の性質       |
| 4. 三角関数      | 三角関数・逆三角関数の性質    |
| 5. 関数の極限値 1  | 極限値の考え方、自然対数の定義  |
| 6. 連続関数      | 関数の連続性、中間値の定理    |
| 7. 曲線の表示     | 極座標や助変数を用いた表示    |
| 8. 導関数       | 微分の考え方、導関数の定義と例  |
| 9. 導関数の計算 1  | 合成関数・逆関数の微分法     |
| 10. 導関数の計算 2 | 基本的な関数の導関数       |
| 11. 微分可能な関数  | ロルの定理と平均値の定理     |
| 12. 関数の増減    | 関数の極値と増減、不等式への応用 |
| 13. 関数の極限値 2 | ロピタルの定理とその応用     |
| 14. 高次導関数    | ライプニッツの定理        |
| 15. 関数の展開式   | マクローリン展開、関数の近似式  |

## 成績評価方法

- ・定期試験 (100点)
- ・平常点 (15点) 配点内訳: 小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし、100点を超える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「基礎からの微分積分」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

平日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみること。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 数学 I

習熟度別B

クラス	1	科目コード	4002
クラス	2	科目コード	4002
クラス	3	科目コード	4002
クラス	4	科目コード	4002
クラス	5	科目コード	4002
クラス	6	科目コード	4002

担当教員名 講師（非常勤）丸尾 健二

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 関数の概念を理解する。
2. 指数関数、対数関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
3. 三角関数、逆三角関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
4. 関数の連続性を理解し、主な関数についてそれを確かめることができる。
5. 極限値の考え方を理解し、計算によってそれを求めることができる。
6. 微分法の考え方を理解し、導関数の計算ができる。
7. 導関数を用いて、関数の極値・増減を調べることができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 集合と写像     | 集合と写像の定義         |
| 2. 関数の概念     | 関数、合成関数、逆関数の定義   |
| 3. 指数関数と対数関数 | 指数・対数関数の性質       |
| 4. 三角関数      | 三角関数・逆三角関数の性質    |
| 5. 関数の極限値 1  | 極限値の考え方、自然対数の定義  |
| 6. 連続関数      | 関数の連続性、中間値の定理    |
| 7. 曲線の表示     | 極座標や助変数を用いた表示    |
| 8. 導関数       | 微分の考え方、導関数の定義と例  |
| 9. 導関数の計算 1  | 合成関数・逆関数の微分法     |
| 10. 導関数の計算 2 | 基本的な関数の導関数       |
| 11. 微分可能な関数  | ロルの定理と平均値の定理     |
| 12. 関数の増減    | 関数の極値と増減、不等式への応用 |
| 13. 関数の極限値 2 | ロピタルの定理とその応用     |
| 14. 高次導関数    | ライプニッツの定理        |
| 15. 関数の展開式   | マクローリン展開、関数の近似式  |

## 成績評価方法

- ・定期試験 (100点)
- ・平常点 (15点) 配点内訳: 小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし、100点を超える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「基礎からの微分積分」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

平日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみること。

## 数学 I

習熟度別C

クラス	1	科目コード	4003
クラス	2	科目コード	4003
クラス	3	科目コード	4003
クラス	4	科目コード	4003
クラス	5	科目コード	4003
クラス	6	科目コード	4003

担当教員名 教授 内田 吉昭

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 関数の概念を理解する。
2. 指数関数、対数関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
3. 三角関数、逆三角関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
4. 関数の連続性を理解し、主な関数についてそれを確かめることができる。
5. 極限値の考え方を理解し、計算によってそれを求めることができる。
6. 微分法の考え方を理解し、導関数の計算ができる。
7. 導関数を用いて、関数の極値・増減を調べることができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 集合と写像     | 集合と写像の定義         |
| 2. 関数の概念     | 関数、合成関数、逆関数の定義   |
| 3. 指数関数と対数関数 | 指数・対数関数の性質       |
| 4. 三角関数      | 三角関数・逆三角関数の性質    |
| 5. 関数の極限値 1  | 極限値の考え方、自然対数の定義  |
| 6. 連続関数      | 関数の連続性、中間値の定理    |
| 7. 曲線の表示     | 極座標や助変数を用いた表示    |
| 8. 導関数       | 微分の考え方、導関数の定義と例  |
| 9. 導関数の計算 1  | 合成関数・逆関数の微分法     |
| 10. 導関数の計算 2 | 基本的な関数の導関数       |
| 11. 微分可能な関数  | ロルの定理と平均値の定理     |
| 12. 関数の増減    | 関数の極値と増減、不等式への応用 |
| 13. 関数の極限値 2 | ロピタルの定理とその応用     |
| 14. 高次導関数    | ライプニッツの定理        |
| 15. 関数の展開式   | マクローリン展開、関数の近似式  |

## 成績評価方法

- ・定期試験 (100点)
- ・平常点 (15点) 配点内訳: 小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし、100点を超える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「基礎からの微分積分」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

平日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみること。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 数学Ⅱ

習熟度別A

クラス	1	科目コード	4011
クラス	2	科目コード	4011
クラス	3	科目コード	4011
クラス	4	科目コード	4011
クラス	5	科目コード	4011
クラス	6	科目コード	4011

担当教員名 講師（非常勤） 高田 一郎

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 不定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
2. 定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
3. 広義積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
4. 微分方程式の基本概念を理解し、簡単な場合に解くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 不定積分        | 原始関数と不定積分の定義     |
| 2. 基本的な関数の不定積分 | 基本的な関数の不定積分      |
| 3. 不定積分の計算法 1  | 部分積分法            |
| 4. 不定積分の計算法 2  | 置換積分法            |
| 5. 有理関数・無理関数   | 有理関数や無理関数の不定積分   |
| 6. 無理関数と三角関数   | 無理関数と三角関数の不定積分   |
| 7. 定積分         | 定積分の定義と公式        |
| 8. 基本定理        | 平均値の定理と微積分学の基本定理 |
| 9. 定積分の計算 1    | 置換積分             |
| 10. 定積分の計算 2   | 部分積分             |
| 11. 面積         | 面積の計算            |
| 12. 広義積分 1     | 広義積分の考え方と計算      |
| 13. 広義積分 2     | 広義積分の計算          |
| 14. 微分方程式 1    | 変数分離形の微分方程式の解法   |
| 15. 微分方程式 2    | 1 階線形微分方程式の解法    |

## 成績評価方法

- ・定期試験 (100点)
- ・平常点 (15点) 配点内訳: 小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし、100点を超える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「基礎からの微分積分」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

常日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみることを。

## 数学Ⅱ

習熟度別B

クラス	1	科目コード	4012
クラス	2	科目コード	4012
クラス	3	科目コード	4012
クラス	4	科目コード	4012
クラス	5	科目コード	4012
クラス	6	科目コード	4012

担当教員名 講師（非常勤）丸尾 健二

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 不定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
2. 定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
3. 広義積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
4. 微分方程式の基本概念を理解し、簡単な場合に解くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 不定積分        | 原始関数と不定積分の定義     |
| 2. 基本的な関数の不定積分 | 基本的な関数の不定積分      |
| 3. 不定積分の計算法 1  | 部分積分法            |
| 4. 不定積分の計算法 2  | 置換積分法            |
| 5. 有理関数・無理関数   | 有理関数や無理関数の不定積分   |
| 6. 無理関数と三角関数   | 無理関数と三角関数の不定積分   |
| 7. 定積分         | 定積分の定義と公式        |
| 8. 基本定理        | 平均値の定理と微積分学の基本定理 |
| 9. 定積分の計算 1    | 置換積分             |
| 10. 定積分の計算 2   | 部分積分             |
| 11. 面積         | 面積の計算            |
| 12. 広義積分 1     | 広義積分の考え方と計算      |
| 13. 広義積分 2     | 広義積分の計算          |
| 14. 微分方程式 1    | 変数分離形の微分方程式の解法   |
| 15. 微分方程式 2    | 1 階線形微分方程式の解法    |

## 成績評価方法

- ・定期試験 (100点)
- ・平常点 (15点) 配点内訳: 小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし、100点を超える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「基礎からの微分積分」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

常日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみる。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 数学Ⅱ

習熟度別C

クラス	1	科目コード	4013
クラス	2	科目コード	4013
クラス	3	科目コード	4013
クラス	4	科目コード	4013
クラス	5	科目コード	4013
クラス	6	科目コード	4013

担当教員名 教授 内田 吉昭

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 不定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
2. 定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
3. 広義積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
4. 微分方程式の基本概念を理解し、簡単な場合に解くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 不定積分        | 原始関数と不定積分の定義     |
| 2. 基本的な関数の不定積分 | 基本的な関数の不定積分      |
| 3. 不定積分の計算法 1  | 部分積分法            |
| 4. 不定積分の計算法 2  | 置換積分法            |
| 5. 有理関数・無理関数   | 有理関数や無理関数の不定積分   |
| 6. 無理関数と三角関数   | 無理関数と三角関数の不定積分   |
| 7. 定積分         | 定積分の定義と公式        |
| 8. 基本定理        | 平均値の定理と微積分学の基本定理 |
| 9. 定積分の計算 1    | 置換積分             |
| 10. 定積分の計算 2   | 部分積分             |
| 11. 面積         | 面積の計算            |
| 12. 広義積分 1     | 広義積分の考え方と計算      |
| 13. 広義積分 2     | 広義積分の計算          |
| 14. 微分方程式 1    | 変数分離形の微分方程式の解法   |
| 15. 微分方程式 2    | 1 階線形微分方程式の解法    |

## 成績評価方法

- ・定期試験 (100点)
- ・平常点 (15点) 配点内訳：小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし、100点を超える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「基礎からの微分積分」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

常日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみることを。



## 物理学

履修歴別A

クラス	1	科目コード	4041
クラス	2	科目コード	4041
クラス	3	科目コード	4041
クラス	4	科目コード	4041
クラス	5	科目コード	4041
クラス	6	科目コード	4041

担当教員名 講師（非常勤） 吉田 錬二郎

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基礎的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 有効数字の概念を説明できる。
2. 物理量の基本単位の定義と組立単位を説明できる。
3. 物理量にはスカラー量とベクトル量があることを説明できる。
4. 運動の法則について理解し、力、質量、加速度、仕事などの相互関係を説明できる。
5. 直線運動、円運動、単振動などの運動を説明できる。
6. 運動エネルギー、位置エネルギー、熱エネルギー、化学エネルギーなどの相互変化について例をあげて説明できる。
7. 光、音、電磁波などの波の性質を理解し、反射、屈折、干渉などの特性を説明できる。
8. 電荷、電流、電圧、電力、オームの法則などを説明できる。
9. 電界や磁界の中における荷電粒子の運動を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 有効数字
2. 物理量の単位
3. スカラーとベクトル
4. 速度、加速度
5. 運動の法則、仕事
6. 力学的エネルギー
7. 運動量
8. 円運動と単振動
9. 気体の分子運動
10. 波の性質
11. 光と電磁波
12. 電気
13. 電界と電位、電圧
14. 電流
15. 電気抵抗
16. 磁界

## 成績評価方法

定期試験 (60点)、レポート (30点)、平常点 (出席、受講態度: 10点)

## 教科書

増補版 物理学入門 (原康夫著 学術図書出版社)

## 指定参考書

第3版 物理学基礎 (原康夫著 学術図書出版社)

## 学生へのアドバイス

講義に出席し、講義中に出された課題に積極的に取り組み、学力の向上に努めること。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 物理学

履修歴別B

クラス	1	科目コード	4042
クラス	2	科目コード	4042
クラス	3	科目コード	4042
クラス	4	科目コード	4042
クラス	5	科目コード	4042
クラス	6	科目コード	4042

担当教員名 講師（非常勤）胤森 忠弘

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基礎的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 有効数字の概念を説明できる。
2. 物理量の基本単位の定義と組立単位を説明できる。
3. 物理量にはスカラー量とベクトル量があることを説明できる。
4. 運動の法則について理解し、力、質量、加速度、仕事などの相互関係を説明できる。
5. 直線運動、円運動、単振動などの運動を説明できる。
6. 運動エネルギー、位置エネルギー、熱エネルギー、化学エネルギーなどの相互変化について例をあげて説明できる。
7. 光、音、電磁波などの波の性質を理解し、反射、屈折、干渉などの特性を説明できる。
8. 電荷、電流、電圧、電力、オームの法則などを説明できる。
9. 電界や磁界の中における荷電粒子の運動を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 有効数字
2. 物理量の単位
3. スカラーとベクトル
4. 速度、加速度
5. 運動の法則、仕事
6. 力学的エネルギー
7. 運動量
8. 円運動と単振動
9. 気体の分子運動
10. 波の性質
11. 光と電磁波
12. 電気
13. 電界と電位、電圧
14. 電流
15. 電気抵抗
16. 磁界

## 成績評価方法

定期試験 (60点)、レポート (30点)、平常点 (出席、受講態度: 10点)

## 教科書

増補版 物理学入門 (原康夫著 学術図書出版社)

## 指定参考書

第3版 物理学基礎 (原康夫著 学術図書出版社)

## 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問には講義終了時と講義日のオフィス・アワーでのみ対応します。

## 物理学

履修歴別B

クラス	1	科目コード	4043
クラス	2	科目コード	4043
クラス	3	科目コード	4043
クラス	4	科目コード	4043
クラス	5	科目コード	4043
クラス	6	科目コード	4043

担当教員名 講師（非常勤）大西 正夫

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基礎的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 有効数字の概念を説明できる。
2. 物理量の基本単位の定義と組立単位を説明できる。
3. 物理量にはスカラー量とベクトル量があることを説明できる。
4. 運動の法則について理解し、力、質量、加速度、仕事などの相互関係を説明できる。
5. 直線運動、円運動、単振動などの運動を説明できる。
6. 運動エネルギー、位置エネルギー、熱エネルギー、化学エネルギーなどの相互変化について例をあげて説明できる。
7. 光、音、電磁波などの波の性質を理解し、反射、屈折、干渉などの特性を説明できる。
8. 電荷、電流、電圧、電力、オームの法則などを説明できる。
9. 電界や磁界の中における荷電粒子の運動を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 有効数字
2. 物理量の単位
3. スカラーとベクトル
4. 速度、加速度
5. 運動の法則、仕事
6. 力学的エネルギー
7. 運動量
8. 円運動と単振動
9. 気体の分子運動
10. 波の性質
11. 光と電磁波
12. 電気
13. 電界と電位、電圧
14. 電流
15. 電気抵抗
16. 磁界

## 成績評価方法

定期試験 (60点)、レポート (30点)、平常点 (出席、受講態度: 10点)

## 教科書

増補版 物理学入門 (原康夫著 学術図書出版社)

## 指定参考書

第3版 物理学基礎 (原康夫著 学術図書出版社)

## 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問には講義終了時と講義日のオフィス・アワーでのみ対応します。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 基礎化学

## —物質の構造1—

担当教員名 教授 中山 尋量  
教授 津波古 充朝

クラス	1	科目コード	4050
クラス	2	科目コード	4050
クラス	3	科目コード	4050
クラス	4	科目コード	4050
クラス	5	科目コード	4050
クラス	6	科目コード	4050

1 年次 前期 必修 1 単位

### 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な化学の基礎学力を身につけるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識と技能を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 物質の基本的概念について説明できる。
2. 分子の基本的性質について説明できる。
3. 化学反応を定量的に探ることができる。
4. 化学結合の成り立ちについて説明できる。
5. 分子間相互作用について説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                |   |
|----------------|---|
| 1. 物質の基本概念     | 原子の電子配置、電子のスピンとパウリの排他律                  |
| 2. 物質の基本概念     | 周期表に基づく原子の諸性質 (イオン化エネルギー、電子親和力、電気陰性度など) |
| 3. 物質の基本概念     | 同素体と同位体                                 |
| 4. 化学反応を定量的に探る | 溶液の濃度計算                                 |
| 5. 化学反応を定量的に探る | 質量保存の法則                                 |
| 6. 化学反応を定量的に探る | 代表的な化学反応の化学量論的な計算                       |
| 7. 化学反応を定量的に探る | 酸と塩基の基本的な性質および強弱の指標                     |
| 8. 化学反応を定量的に探る | 酸化と還元における電子の授受                          |
| 9. 化学結合        | 化学結合の成り立ちについて、軌道の混成                     |
| 10. 化学結合       | 分子軌道の基本的概念                              |
| 11. 化学結合       | 共役や共鳴の概念                                |
| 12. 化学結合と分子    | イオン結合、共有結合、配位結合                         |
| 13. 化学結合と分子    | 分子の分極および双極子モーメント                        |
| 14. 化学結合と分子    | 分子間およびイオン間相互作用と沸点、融点                    |
| 15. 化学結合と分子    | 代表的な結晶構造                                |
| 16. 分子間相互作用    | 静電相互作用とファンデルワールス力 (双極子間相互作用と分散力)        |
| 17. 分子間相互作用    | 水素結合、電荷移動と疎水性相互作用                       |

### 成績評価方法

出席および試験によって総合的に評価する。

### 教科書

「化学が見えてくる」(岩本他著) 三共出版  
スタンダード薬学シリーズ (日本薬学会編) 第2巻「物理系薬学I 物質の物理的性質 第2版」東京化学同人  
「薬科学大辞典」廣川書店

### 指定参考書

「溶液の化学と濃度計算」(立屋敷 哲著) 丸善  
「物理化学演習」(三輪、青木著) 京都廣川書店

### 学生へのアドバイス

高校で習った内容を忘れている場合は、もう一度高校の教科書も見直しておくこと。

# 生命科学入門

クラス	1	科目コード	4060
クラス	2	科目コード	4060
クラス	3	科目コード	4060
クラス	4	科目コード	4060
クラス	5	科目コード	4060
クラス	6	科目コード	4060

担当教員名 講師 児玉 典子

1年次 前期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

ヒトの病気の成り立ちからその予防および治療についての理解を深めるために、生命体としてのヒトの成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するとともに、生命の活動単位としての細胞の進化の過程、誕生から老化をへて死に至る過程に関する基礎的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. ヒトの体の基本構造（細胞、組織、器官）の名称と役割を説明できる。
2. ヒトの生命現象を支える化学物質（アミノ酸、タンパク質、糖質、脂質）の構造、性質とその役割を説明できる。
3. ヒトの生命の誕生から死に至る過程を説明できる。
4. ヒトの寿命に関連する内部環境の調節（恒常性の維持）や生体防御機構を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 生命の起源と進化 分子から多細胞真核生物への進化の過程
2. ヒトの生命の誕生と進化 ヒトの発生（受精・着床および受精卵から胎児まで）
3. ヒトの体の基本構造 (1) 細胞の分化と組織・器官の発生
4. ヒトの生命現象を支える化学物質 (1) アミノ酸、蛋白質、糖質、脂質の種類、構造
5. ヒトの生命現象を支える化学物質 (2) アミノ酸、蛋白質、糖質、脂質の機能
6. ヒトの生命現象を支える化学物質 (3) アミノ酸、蛋白質、糖質、脂質の代謝
7. ヒトの体の恒常性 (1) ストレス因子とその認知と応答
8. ヒトの体の恒常性 (2) 異物の侵入に対する生体防御機構
9. ヒトの細胞寿命と個体寿命 細胞老化と細胞死
10. 薬の作用と生体内運命 薬の生体内における動きと標的細胞への作用
11. ストレスと心身症 心身症と自律神経、内分泌系、免疫系応答
12. ヒトの行動と疾病 タイプA行動パターンと冠動脈心疾患
13. 感染症の予防と治療 病原体や感染細胞への薬の作用
14. 最先端医療 再生細胞医療
15. 生活の質の向上 (Quality of Life) 補完・代替医療

## 成績評価方法

定期試験（70点）、平常点（30点）配点内訳：確認問題や課題レポートの提出と出席、受講態度ただし、補講（6回）の受講対象学生は、受講することを必要条件とし、受講しない場合は単位を付与しない。課題レポートの提出についても必須とする。

## 教科書

基礎生命科学 竹島 浩編（京都廣川書店）  
スクエア最新図説生物 吉里勝利監修（第一学習社）[新課程対応版]  
必要に応じてプリントの配布、スライドを用いた授業を行う。

## 指定参考書

New生化学 第2版（廣川書店）  
微生物学・免疫学 金子太郎監修（廣川書店）  
Essential細胞生物学 中村桂子監訳（南江堂）

## 学生へのアドバイス

授業開始時間を厳守し、私語を慎むこと。  
高校で生物を履修していなかった学生および補講受講対象学生は必ず補講（6回）に出席すること。

# 情報リテラシー

クラス	1	科目コード	4071
クラス	2	科目コード	4072
クラス	3	科目コード	4073
クラス	4	科目コード	4074
クラス	5	科目コード	4075
クラス	6	科目コード	4076

担当教員名 教授 木口 敏子 准教授 寺岡 麗子  
講師 上垣内みよ子 助教 前田 秀子

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

情報の授受に効果的なコンピュータの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用できるようになるために、インターネットを利用した情報の収集、開示、データベースの使用法、応用などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. ネットワーク使用上のマナーを遵守する。
2. インターネット、イントラネットの仕組みを概説できる。
3. ワードプロソフト、表計算ソフト、グラフィックソフト、プレゼンテーションソフトを用いることができる。
4. ソフトウェア使用上のルール、マナーを守る。
5. 電子メールの送信、受信、転送などができる。
6. インターネットのブラウザ検索ソフトを用いて、ホームページを閲覧できる。
7. 与えられた課題に関する情報を、コンピュータを用いて収集、加工、発表することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 1. コンピュータの基礎     | コンピュータの基礎・簡単な仕組み、基本操作        |
| 2. インターネットの基礎    | ネットワークの概念・仕組み                |
| 3. 情報倫理          | ネットワーク使用上のマナーとインターネットセキュリティ  |
| 4. ブラウザ検索ソフト     | ホームページから必要な情報の収集             |
| 5. オペレーティングシステム  | オペレーティングシステムの種類・役割           |
| 6. ソフトウェア        | ソフトウェアの特徴・使用上のルール、マナー        |
| 7. 電子メール         | 電子メールの送信、受信、転送など             |
| 8. ワードプロソフトの基礎   | ワードプロソフトの基本的な仕組み、簡単な文書の作成    |
| 9. ワードプロソフトの応用   | 図、表を含む文書の作成                  |
| 10. 確認テスト        | ワードプロソフトを用いて与えられた課題に関する文書を作成 |
| 11. 表計算ソフトの基礎    | 表計算ソフトの基本的な仕組み、操作            |
| 12. 表計算ソフトの応用    | 簡単な計算への応用、グラフの作成など           |
| 13. グラフィックソフト    | 簡単な化学構造式の作成                  |
| 14. プレゼンテーションソフト | プレゼンテーションソフトの基本、簡単な操作        |
| 15. 情報発信         | 与えられた課題に関する情報の発信             |

## 成績評価方法

- ・レポート (課題提出) (50点)
- ・平常点 (50点) 配点内訳：出席と受講態度で評価する。  
(出席重視：無断欠席、無断遅刻は厳禁)

## 教科書

Windows Vistaによるコ・メディカルのための情報リテラシー (佐藤憲一ほか 共立出版)

## 指定参考書

学生・研究者のための使える! PowerPointスライドデザイン: 伝わるプレゼン1つの原理と3つの技術 (宮野公樹ほか 化学同人)  
情報活用力: 考える伝える分かちあう (noa出版)

## 学生へのアドバイス

演習時間以外にも機会をとらえて、コンピュータを利用し各ソフトに慣れること。

# 教養リテラシー

クラス	1	科目コード	4091
クラス	3	科目コード	4093
クラス	5	科目コード	4095

担当教員名 教授 畑 公也

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

大学において、薬学領域および他の諸科学分野の幅広い知識を獲得し、他者とのコミュニケーションを通じてその能力を発展させるための基礎として、日本語運用能力、とりわけ読解力、表現力、文章力の涵養を目指す。また、それと合わせて、必要な情報、意思の伝達を行い、集団の意見を整理して発表できるようになるために、プレゼンテーションの基本的知識、技能、態度を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 他者に自分の意見を的確に伝え、他者の考えを正確に聞き取り、理解することができる。
2. まとまった内容の文章を読み、その主題を的確に把握し、要約することができる。
3. 自分の考えを適切な日本語の文章で書き表すことができる。
4. 正確に漢字の読み書きができる。
5. 課題に対する自分の意見を決められた時間内、字数で発表できる。
6. グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる。
7. 質問に対して的確な応答ができる。
8. 他者のプレゼンテーションに対して、優れた点および改良点を指摘できる。
9. 効果的なプレゼンテーションを行う工夫をする。

## 授業内容 (項目・内容)

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. ガイダンス    | 授業の概要と調査テーマ「異文化理解」の説明                        |
| 2. 短文要約     | 個別に要約文を作成しグループ内で討議<br>グループごとに要約文を作成し、全員で討議   |
| 3. 講評       | 要約文の講評と文章の書き方の説明                             |
| 4. 漢字力調査    | 間違いやすい漢字の読み書き練習                              |
| 5. 予備発表     | 各グループの発表テーマについて事前に説明                         |
| 6.~14. 調査報告 | 共通テーマ「異文化理解」の枠内で、グループごとにテーマを選び、調査研究した結果を発表する |
| 15. まとめ     |  |
- 後半は演習形式の授業の入門として、グループ発表を行う。テーマは「異文化理解」とする。今日、グローバル化の流れの中で、異文化理解の重要性は、ますます高まっている。ところが、四方を海に囲まれて、ほとんど単一民族国家と言ってよい同質の社会に暮らしてきた私たち日本人にとっては、アメリカなどの多文化国家の人々より以上に、他文化理解は困難な課題である。グループごとに興味を持ってそうなテーマを選び、この問題について考える。

## 成績評価方法

出席 (20点)、発表 (40点)、平常点 (40点)

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

オフィスアワー：月、水、木の昼休み。それ以外でも在室時はいつでも相談、質問に応じます。  
メールも可：k-hata@kobepharma-u.ac.jp

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

# 教養リテラシー

クラス	2	科目コード	4092
クラス	4	科目コード	4094
クラス	6	科目コード	4096

担当教員名 教授 春山 清純

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

大学において、薬学領域および他の諸科学分野の幅広い知識を獲得し、他者とのコミュニケーションを通じてその能力を発展させるための基礎として、日本語運用能力、とりわけ読解力、表現力、文章力の涵養を目指す。また、それと合わせて、必要な情報、意思の伝達を行い、集団の意見を整理して発表できるようになるために、プレゼンテーションの基本的知識、技能、態度を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 他者に自分の意見を的確に伝え、他者の考えを正確に聞き取り、理解することができる。
2. まとまった内容の文章を読み、その主題を的確に把握し、要約することができる。
3. 自分の考えを適切な日本語の文章で書き表すことができる。
4. 正確に漢字の読み書きができる。
5. 課題に対する自分の意見を決められた時間内、字数で発表できる。
6. グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる。
7. 質問に対して的確な応答ができる。
8. 他者のプレゼンテーションに対して、優れた点および改良点を指摘できる。
9. 効果的なプレゼンテーションを行う工夫をする。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |   |
|--------------|---|
| 1. ガイダンス     | 授業の概要と「異文化理解」の説明を受け、グループに分かれてテーマを相談し決定する。 |
| 2. 短文要約      | 指示された随筆文の要約を作成する。                         |
| 3. 漢字力養成     | 漢字検定問題を利用して音訓の読み方を学ぶ。                     |
| 4. 発表資料の作成   | パワーポイントの使い方を学ぶ。                           |
| 5. 講評        | 提出された要約文に基づき、文章の書き方を学ぶ。                   |
| 6. 予備発表・小テスト | 各グループ3分以内の予備発表を行う。漢字力小テスト。                |
| 7.~14. 本発表   | 各グループ20分~30分の発表を行い、後、質疑応答。                |
| 15. まとめ      | 本発表に関して、担当教員が講評する。                        |
- 後半は演習形式の授業の入門として、グループ発表を行う。テーマは「異文化理解」とする。今日、グローバル化の流れの中で、異文化理解の重要性は、ますます高まっている。一見、同質性が高いように見える社会に暮らしてきた私たち日本人にとっては、アメリカなどの多文化国家の人々より以上に、国内および国外にある他文化を理解することは、困難だが、ぜひ必要な課題である。グループごとに興味を持ってそうなテーマを選び、この問題について考える。

## 成績評価方法

出席 (20点)、発表 (40点)、平常点 (40点)

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

質問や相談はいつでも受け付けます。4号館2Fの春山研究室を訪ねてください。メールでも可能です。  
k-haru@kobepharma-u.ac.jp



## 英語 I

習熟度別A

クラス	1	科目コード	4211
クラス	2	科目コード	4211
クラス	3	科目コード	4211
クラス	4	科目コード	4211
クラス	5	科目コード	4211
クラス	6	科目コード	4211

担当教員名 講師（非常勤）相本 資子

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」（文型と構文）の総合的理解を強化し、上級学年の英語や薬学英语を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

## 到達目標 (SBOs)

1. 5 文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本語を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない英語の品詞（前置詞や冠詞など）の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇（仮定法など）に含まれる形式を識別し、その表現意図（意味）を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 分属テスト
2. 英文の基本構造 主部と述部、句と節、文の分類
3. 基本文型 (I) 第1文型～第5文型の特徴
4. 基本文型 (II) 同上
5. 時間表現 (I) 時間関係を表現するための時制とその種類
6. 時間表現 (II) 動作の未完了、完了を表現するための形式：進行形と完了形
7. 能動・受動表現 能動表現、受動表現の形式と用法
8. 名詞表現 文中における名詞の役割と冠詞の用法
9. 準動詞の形式 (I) 不定詞の用法
10. 準動詞の形式 (II) 分詞の用法
11. 準動詞の形式 (III) 動名詞の用法
12. 準動詞のまとめ 準動詞の注意すべき用法（使役構文など）
13. 修飾表現 (I) 形容詞の用法
14. 理解度確認小テスト
15. 前期の総まとめと質疑応答

## 成績評価方法

1. 定期試験 (80点)
2. 平常点 (20点) 配点内訳：出席、小テスト、受講態度

## 教科書

Learn More Grammar (三修社)

## 指定参考書

なし

## 学生へのアドバイス

予習・復習をしっかりと行い、出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語 I

習熟度別B

クラス	1	科目コード	4212
クラス	2	科目コード	4212
クラス	3	科目コード	4212
クラス	4	科目コード	4212
クラス	5	科目コード	4212
クラス	6	科目コード	4212

担当教員名 准教授 赤井 朋子

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」(文型と構文)の総合的理解を強化し、上級学年の英語や薬学英语を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

## 到達目標 (SBOs)

1. 5 文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本語を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない英語の品詞(前置詞や冠詞など)の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇(仮定法など)に含まれる形式を識別し、その表現意図(意味)を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 分属テスト         |                             |
| 2. 英文の基本構造       | 主部と述部、句と節、文の分類              |
| 3. 基本文型 (I)      | 第 1 文型～第 5 文型の特徴            |
| 4. 基本文型 (II)     | 同上                          |
| 5. 時間表現 (I)      | 時間関係を表現するための時制とその種類         |
| 6. 時間表現 (II)     | 動作の未完了、完了を表現するための形式：進行形と完了形 |
| 7. 能動・受動表現       | 能動表現、受動表現の形式と用法             |
| 8. 名詞表現          | 文中における名詞の役割と冠詞の用法           |
| 9. 準動詞の形式 (I)    | 不定詞の用法                      |
| 10. 準動詞の形式 (II)  | 分詞の用法                       |
| 11. 準動詞の形式 (III) | 動名詞の用法                      |
| 12. 準動詞のまとめ      | 準動詞の注意すべき用法(使役構文など)         |
| 13. 修飾表現 (I)     | 形容詞の用法                      |
| 14. 理解度確認小テスト    |                             |
| 15. 前期の総まとめと質疑応答 |                             |

## 成績評価方法

1. 定期試験 (80点)
2. 平常点 (20点) 配点内訳：出席、小テスト、受講態度

## 教科書

Learn More Grammar (三修社)

## 指定参考書

なし

## 学生へのアドバイス

予習・復習をしっかりと行い、出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

## 英語 I

習熟度別C

クラス	1	科目コード	4213
クラス	2	科目コード	4213
クラス	3	科目コード	4213
クラス	4	科目コード	4213
クラス	5	科目コード	4213
クラス	6	科目コード	4213

担当教員名 教授 田中 研治

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」(文型と構文)の総合的理解を強化し、上級学年の英語や薬学英语を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

## 到達目標 (SBOs)

1. 5 文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本語を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない英語の品詞(前置詞や冠詞など)の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇(仮定法など)に含まれる形式を識別し、その表現意図(意味)を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 分属テスト         |                             |
| 2. 英文の基本構造       | 主部と述部、句と節、文の分類              |
| 3. 基本文型 (I)      | 第1文型～第5文型の特徴                |
| 4. 基本文型 (II)     | 同上                          |
| 5. 時間表現 (I)      | 時間関係を表現するための時制とその種類         |
| 6. 時間表現 (II)     | 動作の未完了、完了を表現するための形式：進行形と完了形 |
| 7. 能動・受動表現       | 能動表現、受動表現の形式と用法             |
| 8. 名詞表現          | 文中における名詞の役割と冠詞の用法           |
| 9. 準動詞の形式 (I)    | 不定詞の用法                      |
| 10. 準動詞の形式 (II)  | 分詞の用法                       |
| 11. 準動詞の形式 (III) | 動名詞の用法                      |
| 12. 準動詞のまとめ      | 準動詞の注意すべき用法(使役構文など)         |
| 13. 修飾表現 (I)     | 形容詞の用法                      |
| 14. 理解度確認小テスト    |                             |
| 15. 前期の総まとめと質疑応答 |                             |

## 成績評価方法

1. 定期試験 (80点) 2. 平常点 (20点) 配点内訳：出席、小テスト、受講態度

## 教科書

*Learn More Grammar* (三修社)

## 指定参考書

なし

## 学生へのアドバイス

予習・復習をしっかりと行い、出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語Ⅱ

習熟度別A

クラス	1	科目コード	4221
クラス	2	科目コード	4221
クラス	3	科目コード	4221
クラス	4	科目コード	4221
クラス	5	科目コード	4221
クラス	6	科目コード	4221

担当教員名 講師（非常勤） 田中 実

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

様々なジャンルの長い英文を読むには、読解の技術（リーディングスキル）が不可欠である。英文の理解において、まず必要なのは「文構造」の正確な把握であり、次に豊富な「語彙力」である。更に、纏まった文章表現の理解には「パラグラフ」の論理的展開を効果的に読み取る力が重要である。様々な種類とレベルの長い英文を確実に読み、語彙力をつけるための総合的読解スキルを修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 読解の対象となる英文全体の大意を把握し、それを口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフ中の各英文を正確に読解し、その意味内容を説明できる。
3. パラグラフごとに、その主題（main idea）や大意、主張点を説明できる。
4. 複数にわたるパラグラフ間の関連性や展開を説明できる。
5. 読解の対象となる英文全体に関する練習問題を解くことにより、各自の英文理解度を確認できる。
6. 読解の対象となる英文中の重要な語句（キーワード）の意味と用法を説明することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- 1～3 回目：はじめに、Chapter 1. Personal Best
- 4～6 回目：Chapter 2. The Beauty of Lipstick
- 7～9 回目：Chapter 3. Cosmetic Surgery
- 10～12回目：Chapter 4. Japanese Life Unfolded
- 13～15回目：Chapter 5. Floating Garbage

## 成績評価方法

定期試験（85%）、出席点および平常点（15%）により総合的に評価する。

## 教科書

*Prism Yellow* (Macmillan Languagehouse, 2005)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

必ず予習して授業に臨むこと。順不同にあてて答えてもらう。

## 英語Ⅱ

習熟度別B

クラス	1	科目コード	4222
クラス	2	科目コード	4222
クラス	3	科目コード	4222
クラス	4	科目コード	4222
クラス	5	科目コード	4222
クラス	6	科目コード	4222

担当教員名 講師（非常勤）野依 昭子

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

様々なジャンルの長い英文を読むには、読解の技術（リーディングスキル）が不可欠である。英文の理解において、まず必要なのは「文構造」の正確な把握であり、次に豊富な「語彙力」である。更に、纏まった文章表現の理解には「パラグラフ」の論理的展開を効果的に読み取る力が重要である。様々な種類とレベルの長い英文を確実に読み、語彙力をつけるための総合的読解スキルを修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 読解の対象となる英文全体の大意を把握し、それを口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフ中の各英文を正確に読解し、その意味内容を説明できる。
3. パラグラフごとに、その主題（main idea）や大意、主張点を説明できる。
4. 複数にわたるパラグラフ間の関連性や展開を説明できる。
5. 読解の対象となる英文全体に関する練習問題を解くことにより、各自の英文理解度を確認できる。
6. 読解の対象となる英文中の重要な語句（キーワード）の意味と用法を説明することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                                   |                                 |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 授業の方針と説明<br>Personal Best      | パラグラフ全体の通読および内容理解<br>クイズおよび小テスト |
| 2. 同上                             | クイズおよび小テスト                      |
| 3. The Beauty of Lipstick         | パラグラフ全体の通読および内容理解<br>クイズおよび小テスト |
| 4. 同上                             | クイズおよび小テスト                      |
| 5. Cosmetick Surgery              | パラグラフ全体の通読および内容理解<br>クイズおよび小テスト |
| 6. 同上                             | クイズおよび小テスト                      |
| 7. Japanese Life Unfolded         | 各パラグラフの要約および全体<br>クイズおよび小テスト    |
| 8. 同上                             | クイズおよび小テスト                      |
| 9. Floating Garbage               | パラグラフ全体の通読および内容理解<br>クイズおよび小テスト |
| 10. 同上                            | クイズおよび小テスト                      |
| 11. Killers Beast                 | パラグラフ全体の通読および内容理解<br>クイズおよび小テスト |
| 12. 同上                            | クイズおよび小テスト                      |
| 13. The Koreans and <i>Kimchi</i> | パラグラフ全体の通読および内容理解<br>クイズおよび小テスト |
| 14. 同上                            | クイズおよび小テスト                      |
| 15. 授業のまとめ                        |                                 |

## 成績評価方法

1.定期試験 60%、2.出席 10%、3.小テスト 20%、4.小作文 10%の割合で評価する。

## 教科書

*Prism Yellow* (Macmillan Languagehouse, 2004)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

- ・ ひんばんに辞書を引いて判らない単語の意味を調べること。
- ・ 予習、復習の際、テキストを黙読するだけでなく、努めて音読もすること。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語Ⅱ

習熟度別C

クラス	1	科目コード	4223
クラス	2	科目コード	4223
クラス	3	科目コード	4223
クラス	4	科目コード	4223
クラス	5	科目コード	4223
クラス	6	科目コード	4223

担当教員名 講師（非常勤）相本 資子

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

様々なジャンルの英文を読むには、読解の技術（リーディングスキル）が不可欠である。英文の理解において、まず必要なのは「文構造」の正確な把握であり、次に豊富な「語彙力」である。更に、纏まった文章表現の理解には「パラグラフ」の論理的展開を効果的に読み取る力が重要である。

## 到達目標 (SBOs)

1. 英文構造を正確に把握する。
2. 語彙力を増強する。
3. パラグラフ中の各英文を正確に読解し、その意味内容を説明できる。
4. パラグラフごとに、その主題（main idea）や大意、主張点を説明できる。
5. 読解の対象となる英文全体に関する練習問題を解くことにより、各自の英文理解度を確認できる。
6. 読解の対象となる英文中の重要な語句（キーワード）の意味と用法を説明することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 導入	授業内容や評価方法の説明
2. Chapter 1	Y So Lonely
3. Chapter 1	Y So Lonely
4. Chapter 2	Seeing Double
5. Chapter 2	Seeing Double
6. Chapter 3	Beautiful Swimmer
7. Chapter 3	Beautiful Swimmer
8. Chapter 4	Ready for Mars
9. Chapter 4	Ready for Mars
10. Chapter 5	The Art of Blogging
11. Chapter 5	The Art of Blogging
12. Chapter 6	Health, Drink and Stress
13. Chapter 6	Health, Drink and Stress
14. Chapter 7	Bungee Jumping
15. Chapter 7	Bungee Jumping

## 成績評価方法

1. 定期試験（80点） 2. 平常点（20点） 配点内訳：出席、受講態度、小テスト

## 教科書

*Prism Green* (Macmillan Languagehouse)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

授業中の作業が大切になるので、予習、出席はもちろんのこと、傾聴し真剣に問題に取り組むこと。できるだけ多く英語に触れてほしい。質問は講義の前後で対応する。

## 英語Ⅱ

習熟度別D

クラス	1	科目コード	4224
クラス	2	科目コード	4224
クラス	3	科目コード	4224
クラス	4	科目コード	4224
クラス	5	科目コード	4224
クラス	6	科目コード	4224

担当教員名 講師（非常勤）大深 悦子

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

様々なジャンルの英文を読むためには、読解の技術（リーディングスキル）が不可欠である。英文の理解において、まず必要なのは「文構造」の正確な把握であり、次に豊富な「語彙力」である。さらに、まとまった文章表現の理解には「パラグラフ」の論理的展開を効果的に読み取る力が重要である。様々な種類とレベルの、長い英文を確実に読み、語彙力をつけるための総合的読解スキルを習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 英文構造を正確に把握する。
2. 語彙力を増強する。
3. パラグラフ中の各英文を正確に読解し、その意味内容を説明できる。
4. パラグラフごとに、その主題（main idea）、大意、主張点を説明できる。
5. 読解の対象となる英文中の重要な語句（キーワード）の意味と用法を説明することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. オリエンテーション	授業内容・評価方法などの説明
2. Chapter 1 (1)	Y So Lonely
3. Chapter 1 (2)	[Rapid Reading]
4. Chapter 2 (1)	Seeing Double
5. Chapter 2 (2)	[Scanning 1: Overview]
6. Chapter 3 (1)	Beautiful Swimmer
7. Chapter 3 (2)	[Scanning 2: Menus]
8. Chapter 4 (1)	Ready for Mars
9. Chapter 4 (2)	[Scanning 3: Announcements]
10. Chapter 5 (1)	The Art of Blogging
11. Chapter 5 (2)	[Scanning 4: Instructions]
12. Chapter 6 (1)	Health, Drink and Stress
13. Chapter 6 (2)	[Scanning 5: Tables, Charts and Graphs]
14. Chapter 7 (1)	Bungee Jumping
15. Chapter 7 (2)	[Scanning 6: Forms]

## 成績評価方法

- ・定期試験（60%）
- ・平常点（40%）配点内訳：[提出物（20%）、小テスト（15%）、学習態度（5%）]

## 教科書

Prism Green (Macmillan Languagehouse)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問は、E-mailで行うか、講義時間の前後、あるいは予約にて対応する。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語Ⅲ

習熟度別A

クラス	1	科目コード	4231
クラス	2	科目コード	4231
クラス	3	科目コード	4231
クラス	4	科目コード	4231
クラス	5	科目コード	4231
クラス	6	科目コード	4231

担当教員名 講師（非常勤）相本 資子

1年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」（文型と構文）の総合的理解を強化し、上級学年の英語や、薬学英語を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

## 到達目標 (SBOs)

1. 5文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本語を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない英語の品詞（前置詞や冠詞など）の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇（仮定法など）に含まれる形式を識別し、その表現意図（意味）を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1. 修飾表現 (Ⅱ)      | 副詞の用法                  |
| 2. 修飾表現 (Ⅲ)      | 関係詞の基本的用法              |
| 3. 修飾表現 (Ⅳ)      | 同上                     |
| 4. 修飾表現 (Ⅴ)      | 関係詞の注意すべき用法            |
| 5. 程度の表現         | 形容詞、副詞による比較表現とその用法     |
| 6. 主観を反映する表現 (Ⅰ) | 法助動詞の用法                |
| 7. 主観を反映する表現 (Ⅱ) | 同上                     |
| 8. 主観を反映する表現 (Ⅲ) | 仮定法の用法                 |
| 9. 主観を反映する表現 (Ⅳ) | 同上                     |
| 10. 空間と時間を表す前置詞  | 場所と時間の前置詞の用法           |
| 11. 様々な関係を表す前置詞  | 原因、理由、目的、手段などを表す前置詞の用法 |
| 12. 文の連結と接続詞     | 等位接続詞と従位接続詞の用法         |
| 13. 否定表現と省略表現    | 全体否定、部分否定と代用・省略表現      |
| 14. 理解度確認小テスト    |                        |
| 15. 後期の総まとめと質疑応答 |                        |

## 成績評価方法

1. 定期試験 (80点) 2. 平常点 (20点) 配点内訳：出席、小テスト、受講態度

## 教科書

*Learn More Grammar* (三修社)

## 指定参考書

なし

## 学生へのアドバイス

予習・復習をしっかりと行い、出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。



## 英語Ⅲ

習熟度別B

クラス	1	科目コード	4232
クラス	2	科目コード	4232
クラス	3	科目コード	4232
クラス	4	科目コード	4232
クラス	5	科目コード	4232
クラス	6	科目コード	4232

担当教員名 准教授 赤井 朋子

1年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」(文型と構文)の総合的理解を強化し、上級学年の英語や、薬学英語を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

## 到達目標 (SBOs)

1. 5文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本語を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない英語の品詞(前置詞や冠詞など)の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇(仮定法など)に含まれる形式を識別し、その表現意図(意味)を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1. 修飾表現(Ⅱ)       | 副詞の用法                  |
| 2. 修飾表現(Ⅲ)       | 関係詞の基本的用法              |
| 3. 修飾表現(Ⅳ)       | 同上                     |
| 4. 修飾表現(Ⅴ)       | 関係詞の注意すべき用法            |
| 5. 程度の表現         | 形容詞、副詞による比較表現とその用法     |
| 6. 主観を反映する表現(Ⅰ)  | 法助動詞の用法                |
| 7. 主観を反映する表現(Ⅱ)  | 同上                     |
| 8. 主観を反映する表現(Ⅲ)  | 仮定法の用法                 |
| 9. 主観を反映する表現(Ⅳ)  | 同上                     |
| 10. 空間と時間を表す前置詞  | 場所と時間の前置詞の用法           |
| 11. 様々な関係を表す前置詞  | 原因、理由、目的、手段などを表す前置詞の用法 |
| 12. 文の連結と接続詞     | 等位接続詞と従位接続詞の用法         |
| 13. 否定表現と省略表現    | 全体否定、部分否定と代用・省略表現      |
| 14. 理解度確認小テスト    |                        |
| 15. 後期の総まとめと質疑応答 |                        |

## 成績評価方法

1. 定期試験(80点) 2. 平常点(20点) 配点内訳: 出席、小テスト、受講態度

## 教科書

*Learn More Grammar* (三修社)

## 指定参考書

なし

## 学生へのアドバイス

予習・復習をしっかりと行い、出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 英語Ⅲ

習熟度別C

クラス	1	科目コード	4233
クラス	2	科目コード	4233
クラス	3	科目コード	4233
クラス	4	科目コード	4233
クラス	5	科目コード	4233
クラス	6	科目コード	4233

担当教員名 教授 田中 研治

1年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」(文型と構文)の総合的理解を強化し、上級学年の英語や、薬学英語を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

## 到達目標 (SBOs)

1. 5文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本語を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない英語の品詞(前置詞や冠詞など)の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇(仮定法など)に含まれる形式を識別し、その表現意図(意味)を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1. 修飾表現(Ⅱ)       | 副詞の用法                  |
| 2. 修飾表現(Ⅲ)       | 関係詞の基本的用法              |
| 3. 修飾表現(Ⅳ)       | 同上                     |
| 4. 修飾表現(Ⅴ)       | 関係詞の注意すべき用法            |
| 5. 程度の表現         | 形容詞、副詞による比較表現とその用法     |
| 6. 主観を反映する表現(Ⅰ)  | 法助動詞の用法                |
| 7. 主観を反映する表現(Ⅱ)  | 同上                     |
| 8. 主観を反映する表現(Ⅲ)  | 仮定法の用法                 |
| 9. 主観を反映する表現(Ⅳ)  | 同上                     |
| 10. 空間と時間を表す前置詞  | 場所と時間の前置詞の用法           |
| 11. 様々な関係を表す前置詞  | 原因、理由、目的、手段などを表す前置詞の用法 |
| 12. 文の連結と接続詞     | 等位接続詞と従位接続詞の用法         |
| 13. 否定表現と省略表現    | 全体否定、部分否定と代用・省略表現      |
| 14. 理解度確認小テスト    |                        |
| 15. 後期の総まとめと質疑応答 |                        |

## 成績評価方法

1. 定期試験(80点) 2. 平常点(20点) 配点内訳: 出席、小テスト、受講態度

## 教科書

*Learn More Grammar* (三修社)

## 指定参考書

なし

## 学生へのアドバイス

予習・復習をしっかりと行い、出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

## 英語Ⅳ

習熟度別A

クラス	1	科目コード	4241
クラス	2	科目コード	4241
クラス	3	科目コード	4241
クラス	4	科目コード	4241
クラス	5	科目コード	4241
クラス	6	科目コード	4241

担当教員名 講師（非常勤） 田中 実

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

様々なジャンルの長い英文を読むには、読解の技術（リーディングスキル）が不可欠である。英文の理解において、まず必要なのは「文構造」の正確な把握であり、次に豊富な「語彙力」である。更に、纏まった文章表現の理解には「パラグラフ」の論理的展開を効果的に読み取る力が重要である。様々な種類とレベルの長い英文を確実に読み、語彙力をつけるための総合的読解スキルを修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 読解の対象となる英文全体の大意を把握し、それを口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフ中の各英文を正確に読解し、その意味内容を説明できる。
3. パラグラフごとに、その主題（main idea）や大意、主張点を説明できる。
4. 複数にわたるパラグラフ間の関連性や展開を説明できる。
5. 読解の対象となる英文全体に関する練習問題を解くことにより、各自の英文理解度を確認できる。
6. 読解の対象となる英文中の重要な語句（キーワード）の意味と用法を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- 1～3 回目：Chapter 6. Killers Beasts
- 4～6 回目：Chapter 7. The World of Whisky
- 7～9 回目：Chapter 8. The Koreans and *Kimchi*
- 10～12 回目：Chapter 9. The Changing World of Computers
- 13～15 回目：Chapter 10. Fashionable Models

## 成績評価方法

定期試験（85%）、出席点および平常点（15%）により総合的に評価する。

## 教科書

*Prism Yellow* (Macmillan Languagehouse, 2005)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

必ず予習して授業に臨むこと。順不同にあてて答えてもらう。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語Ⅳ

習熟度別B

クラス	1	科目コード	4242
クラス	2	科目コード	4242
クラス	3	科目コード	4242
クラス	4	科目コード	4242
クラス	5	科目コード	4242
クラス	6	科目コード	4242

担当教員名 講師（非常勤）野依 昭子

1年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

様々なジャンルの長い英文を読むには、読解の技術（リーディングスキル）が不可欠である。英文の理解において、まず必要なのは「文構造」の正確な把握であり、次に豊富な「語彙力」である。更に、纏まった文章表現の理解には「パラグラフ」の論理的展開を効果的に読み取る力が重要である。様々な種類とレベルの長い英文を確実に読み、語彙力をつけるための総合的読解スキルを修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 読解の対象となる英文全体の大意を把握し、それを口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフ中の各英文を正確に読解し、その意味内容を説明できる。
3. パラグラフごとに、その主題（main idea）や大意、主張点を説明できる。
4. 複数にわたるパラグラフ間の関連性や展開を説明できる。
5. 読解の対象となる英文全体に関する練習問題を解くことにより、各自の英文理解度を確認できる。
6. 読解の対象となる英文中の重要な語句（キーワード）の意味と用法を説明することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                                    |                             |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. The Changing World of Computers | パラグラフ全体の通読および内容理解クイズおよび小テスト |
| 2. 同上                              | クイズおよび小テスト                  |
| 3. Fashionable Models              | パラグラフ全体の通読および内容理解クイズおよび小テスト |
| 4. 同上                              | クイズおよび小テスト                  |
| 5. Dangerous Lifestyles            | パラグラフ全体の通読および内容理解クイズおよび小テスト |
| 6. 同上                              | クイズおよび小テスト                  |
| 7. International Awards            | パラグラフ全体の通読および内容理解クイズおよび小テスト |
| 8. 同上                              | クイズおよび小テスト                  |
| 9. Thrills and Chills              | パラグラフ全体の通読および内容理解クイズおよび小テスト |
| 10. 同上                             | クイズおよび小テスト                  |
| 11. The Indian Movie Industry      | パラグラフ全体の通読および内容理解クイズおよび小テスト |
| 12. 同上                             | クイズおよび小テスト                  |
| 13. Design Innovation              | パラグラフ全体の通読および内容理解クイズおよび小テスト |
| 14. 同上                             | クイズおよび小テスト                  |
| 15. 授業のまとめ                         |                             |

## 成績評価方法

1.定期試験 60%、2.出席 10%、3.小テスト 20%、4.小作文 10%の割合で評価する。

## 教科書

*Prism Yellow* (Macmillan Languagehouse, 2004)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

- ・ひんぱんに辞書を引いて判らない単語の意味を調べること。
- ・予習、復習の際、テキストを黙読するだけでなく、努めて音読もすること。

## 英語Ⅳ

習熟度別C

クラス	1	科目コード	4243
クラス	2	科目コード	4243
クラス	3	科目コード	4243
クラス	4	科目コード	4243
クラス	5	科目コード	4243
クラス	6	科目コード	4243

担当教員名 講師（非常勤）相本 資子

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

様々なジャンルの英文を読むには、読解の技術（リーディングスキル）が不可欠である。英文の理解において、まず必要なのは「文構造」の正確な把握であり、次に豊富な「語彙力」である。更に、纏まった文章表現の理解には「パラグラフ」の論理的展開を効果的に読み取る力が重要である。

## 到達目標 (SBOs)

1. 英文構造を正確に把握する。
2. 語彙力を増強する。
3. パラグラフ中の各英文を正確に読解し、その意味内容を説明できる。
4. パラグラフごとに、その主題（main idea）や大意、主張点を説明できる。
5. 読解の対象となる英文全体に関する練習問題を解くことにより、各自の英文理解度を確認できる。
6. 読解の対象となる英文中の重要な語句（キーワード）の意味と用法を説明することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1. Chapter 8   | Toxic Time Bomb       |
| 2. Chapter 8   | Toxic Time Bomb       |
| 3. Chapter 9   | Saddam Ruins Iraq     |
| 4. Chapter 9   | Saddam Ruins Iraq     |
| 5. Chapter 10  | Flexible Gaming       |
| 6. Chapter 10  | Flexible Gaming       |
| 7. Chapter 11  | Killer Waves          |
| 8. Chapter 11  | Killer Waves          |
| 9. Chapter 12  | My Bones              |
| 10. Chapter 12 | My Bones              |
| 11. Chapter 13 | Technology Bites Back |
| 12. Chapter 13 | Technology Bites Back |
| 13. Chapter 14 | Ig Nobel Awards       |
| 14. Chapter 14 | Ig Nobel Awards       |
| 15. まとめ        |                       |

## 成績評価方法

1. 定期試験（80点） 2. 平常点（20点） 配点内訳：出席、受講態度、小テスト

## 教科書

*Prism Green* (Macmillan Languagehouse)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

授業中の作業が大切になるので、予習、出席はもちろんのこと、傾聴し真剣に問題に取り組むこと。できるだけ多く英語に触れてほしい。質問は講義の前後で対応する。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語Ⅳ

習熟度別D

クラス	1	科目コード	4244
クラス	2	科目コード	4244
クラス	3	科目コード	4244
クラス	4	科目コード	4244
クラス	5	科目コード	4244
クラス	6	科目コード	4244

担当教員名 講師（非常勤）大深 悦子

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

様々なジャンルの英文を読むには、読解の技術（リーディングスキル）が不可欠である。英文の理解において、まず必要なのは「文構造」の正確な把握であり、次に豊富な「語彙力」である。さらに、まとまった文章表現の理解には「パラグラフ」の論理的展開を効果的に読み取る力が重要である。様々な種類とレベルの、長い英文を確実に読み、語彙力をつけるための総合的読解スキルを修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 英文構造を正確に把握する。
2. 語彙力を増強する。
3. パラグラフ中の各英文を正確に読解し、その意味内容を説明できる。
4. パラグラフごとに、その主題 (main idea)、大意、主張点を説明できる。
5. 読解の対象となる英文中の重要な語句（キーワード）の意味と用法を説明することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                    |                              |
|--------------------|------------------------------|
| 1. Chapter 8 (1)   | Toxic Time Bomb              |
| 2. Chapter 8 (2)   | [Skimming 1: Overview]       |
| 3. Chapter 9 (1)   | Saddam Ruins Iraq            |
| 4. Chapter 9 (2)   | [Skimming 2: Invitations]    |
| 5. Chapter 10 (1)  | Flexible Gaming              |
| 6. Chapter 10 (2)  | [Skimming 3: Advertisements] |
| 7. Chapter 11 (1)  | Killer Waves                 |
| 8. Chapter 11 (2)  | [Skimming 4: Notices]        |
| 9. Chapter 12 (1)  | My Bones                     |
| 10. Chapter 12 (2) | [Skimming 5: E-mails]        |
| 11. Chapter 13 (1) | Technology Bites Back        |
| 12. Chapter 13 (2) | [Phrase Reading]             |
| 13. Chapter 14 (1) | Ig Nobel Awards              |
| 14. Chapter 14 (2) | [Keyword Reading]            |
| 15. まとめ            |                              |

## 成績評価方法

- ・定期試験 (60%)
- ・平常点 (40%) 配点内訳：[提出物 (20%)、小テスト (15%)、学習態度 (5%)]

## 教科書

Prism Green (Macmillan Languagehouse)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問は、E-mailで行うか、講義時間の前後、あるいは予約にて対応する。

## 中国語 I

クラス	1	科目コード	4313
クラス	2	科目コード	4314
クラス	3	科目コード	4314
クラス	4	科目コード	4314
クラス	5	科目コード	4313
クラス	6	科目コード	4313

担当教員名 講師（非常勤） レイハン・パタール

1 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

中国語の発音と基本的な文法を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 中国語の特徴を理解する。
2. ピンインを習得する。
3. 基本単語を把握する。
4. 簡単な自己紹介ができる。
5. 基礎文法を習得する。
6. 簡単な日常会話ができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 単母音、子音、四声 | a,o,e,…,b,p,m,f,… |
| 2. 子音        | g,k,h,j,q,x, …    |
| 3. 子音        | z,c,s, …          |
| 4. 複母音       | ai,ei,ao,ou, …    |
| 5. 複母音       | ua,uo,ui, …       |
| 6. 複母音       | an,en,in, …       |
| 7. 第1課       | 人称代名詞、“是”の文       |
| 8. 第1課、第2課   | 指示代名詞、疑問文         |
| 9. 第2課       | “的”の用法、副詞         |
| 10. 第3課      | 動詞の文              |
| 11. 第3課      | 「所有」を表す“有”        |
| 12. 第4課      | 助数詞、指示代名詞         |
| 13. 第4課      | 形容詞の文             |
| 14. 第5課      | 「完了」を表す“了”、“想”    |
| 15. 第5課      | 「所在」を表す“在”        |

## 成績評価方法

試験（80%）および出席、宿題（20%）などによって総合的に評価する。

## 教科書

竹島金吾監修 <最新版> 『中国語はじめの一步』 白水社

## 指定参考書

塚本慶一監修 <新版> 『一年生のコミュニケーション中国語』 白水社  
 関中研二共著 『中国語キャンパス』 基礎編 朝日出版社  
 本間史、孟広学著 『中国語ポイント42』 白水社

## 学生へのアドバイス

講義は連続性があるため、次の講義時間までに、前の内容を復習し、ある程度把握することを求めます。質問は講義時間の前後、あるいはメールで受け付けます。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 韓国語 I

クラス	1	科目コード	4315
クラス	2	科目コード	4316
クラス	3	科目コード	4316
クラス	4	科目コード	4316
クラス	5	科目コード	4315
クラス	6	科目コード	4315

担当教員名 講師（非常勤）金 錦花

1 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

韓国語の文字—ハングルについて習得し、視聴覚資料（ビデオ・DVDなど）を利用して韓国の文化について関心と理解を深める。

## 到達目標 (SBOs)

全く初めての学習者を対象に、ハングル字母から一つ一つ学んで行く。

1. 日常あいさつ表現を身に付ける。
2. ハングル文字が読める、書ける。
3. 初歩的な文法や文型を身に付ける。
4. 韓国の文化について関心と理解を深める。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 朝鮮（韓国）語・ハングルについて
2. 第1課 文字と発音 母音字母：基本母音とヤ行音
3. 第2課 文字と発音 子音字母：平音
4. 第3課 文字と発音 発音規則：有声音化
5. 第4課 文字と発音 子音字母：激音
6. 第5課 文字と発音 子音字母：濃音
7. 第6課 文字と発音 母音字母：ワ行音
8. 第7課 文字と発音 終声（パッチム）
9. 第8課 語彙と表現 ～です
10. 第8課 語彙と表現 疑問詞
11. 第9課 語彙と表現 鼻音化Ⅰ
12. 第9課 語彙と表現 鼻音化Ⅱ
13. 第10課 語彙と表現 ～といたします
14. 第10課 語彙と表現 一人称代名詞
15. まとめ

## 成績評価方法

定期試験の成績は60%、平常点（小テスト・宿題など）は20%、出席点は20%の割合で総合して評価する。

## 教科書

長谷川由起子 著（2012）『新・コミュニケーション韓国語 会話編Ⅰ』白帝社  
\*改訂版初版発行

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

積極的に授業に参加し、主体的に学び、予習・復習を必ず行い効果ある学習方法を身に付けることが望まれる。\*質問は、講義終了時に受け付ける。



## ドイツ語 I

クラス	1	科目コード	4311
クラス	2	科目コード	4312
クラス	3	科目コード	4312
クラス	4	科目コード	4312
クラス	5	科目コード	4311
クラス	6	科目コード	4311

担当教員名 教授 畑 公也

1 年次 前期 選択 1 単位

### 一般目標 (GIO)

ドイツ語の基本的な運用能力を習得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. ドイツ語を通して、ドイツ文化およびヨーロッパの文化に対する関心を深める。
2. ドイツ語の単語を正しく発音できる。
3. ドイツ語文法の概要を把握する。
4. 辞書を引いて、平易なドイツ語の文章を読むことができる。
5. ドイツ語で簡単な日常会話ができる。
6. ドイツ語で簡単な文章を書くことができる。

### 授業内容 (項目・内容)

- 1～ 3. 導入説明と発音 ヨーロッパの中のドイツ、日本とドイツの関係について概説  
アルファベットの読み方を説明。
- 4～ 7. 動詞の現在人称変化・定動詞の位置
- 8～11. 冠詞と名詞の格変化・代名詞 I
- 12.～14. 動詞の不規則変化
15. まとめ

到達目標は、ドイツ語 I、II で共通ですが、I では基礎の中の基礎を学びます。基礎とは、名詞系の変化と動詞系の変化、及びドイツ語の文で最も重要な動詞の位置です。この三つのポイントに常に注目しながら、ドイツ語に慣れていってください。

言葉は文化です。言葉の中に文化と歴史が凝縮されています。ドイツ語と英語は近い親戚ですが、異なった歴史を歩んできました。それゆえ二つの言葉には、似たところと異なったところがあります。そこが最初は難しいように思えますが、だんだんと慣れてくれば味わい深いところでもあります。ドイツ語の面白さを一緒に味わいましょう。

### 成績評価方法

期末テスト (80%)、平常点 (小テストを含む: 20%)

### 教科書

『300語で話すドイツ語』入谷幸江他著 三修社

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

質問や相談は随時受け付けます。4号館2Fの人文科学研究室へ。  
メールも可: k-hata@kobepharma-u.ac.jp

## 中国語Ⅱ

クラス	1	科目コード	4334
クラス	2	科目コード	4333
クラス	3	科目コード	4333
クラス	4	科目コード	4333
クラス	5	科目コード	4334
クラス	6	科目コード	4334

担当教員名 講師（非常勤） レイハン・パタール

1年次 後期 選択 1単位

## 一般目標 (GIO)

中国語の基礎を身に付ける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 基本単語を把握する。
2. 基礎文法を理解する。
3. 辞書を引いて簡単な文書を読むことができる。
4. 簡単な日常会話ができる。
5. 自己紹介ができる。
6. 簡単な文書を書くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 1. 第6課   | 数字、日付・時刻を表す語          |
| 2. 第6課   | 「動作の時点」を言う表現          |
| 3. 第7課   | 「動作の場所」と「距離」を表す語      |
| 4. 第7課   | 存在を表す「有」、反復疑問文        |
| 5. 第8課   | 「時間量」を表す語、助動詞「得」      |
| 6. 第8課   | 場所・時間の起点を表す語          |
| 7. 第9課   | 「過去の経験」を表す語、「給」「跟」    |
| 8. 第9課   | 「是……的」の文              |
| 9. 第10課  | 「動作の程度」を言う表現          |
| 10. 第10課 | 助動詞「能」、「会」            |
| 11. 第11課 | 「動作の進行」を表す「在」         |
| 12. 第11課 | 「～しに行く(来る)」の表し方       |
| 13. 第12課 | 比較、類似の表現              |
| 14. 第12課 | 比較、類似の表現、復習           |
| 15. 第13課 | 「誰々に…を～する」の「告诉」、「教」など |

## 成績評価方法

試験(80%)および出席、宿題(20%)などによって総合的に評価する。

## 教科書

竹島金吾監修 <最新版> 『中国語はじめの一步』 白水社

## 指定参考書

塚本慶一監修 <新版> 『一年生のコミュニケーション中国語』 白水社  
 関中研二共著 『中国語キャンパス』 基礎編 朝日出版社  
 本間史、孟広学著 『中国語ポイント42』 白水社

## 学生へのアドバイス

講義は連続性があるため、次の講義時間までに、前の内容を復習し、ある程度把握することを求めます。  
 質問は講義時間の前後、あるいはメールで受け付けます。

**韓国語Ⅱ**

クラス	1	科目コード	4336
クラス	2	科目コード	4335
クラス	3	科目コード	4335
クラス	4	科目コード	4335
クラス	5	科目コード	4336
クラス	6	科目コード	4336

担当教員名 講師（非常勤） 金 錦花

1 年次 後期 選択 1 単位

**一般目標 (GIO)**

簡単なハンゲルの文が書ける、韓国語で簡単な会話ができるなどの基本素養を身に付けるとともに、視聴覚資料（ビデオ・DVDなど）を利用して韓国の文化について関心と理解を深める。

**到達目標 (SBOs)**

韓国語Ⅰで学んだ基礎知識をしっかりと踏まえながら、韓国語Ⅱでは、「聞く、書く、読む、話す」の四つの総合能力を向上させることを目標とする。

1. 基本文法・文型を身に付ける。
2. 基本単語を身に付ける。
3. 簡単な会話ができる。
4. 韓国語の文化について関心と理解を深める。

**授業内容 (項目・内容)**

1. 復習
2. 第11課 語彙と表現 月日の表し方
3. 第12課 語彙と表現 助詞と疑問詞
4. 第13課 語彙と表現 好き嫌い表現
5. 第14課 語彙と表現 ～ではありません
6. 第15課 語彙と表現 「～ます・～です」の丁寧形
7. 第15課 語彙と表現 場所・時を表わす助詞
8. 第16課 語彙と表現 ～ですね
9. 第16課 語彙と表現 手段・方法を表わす助詞
10. 第17課 語彙と表現 並列の語尾
11. 第17課 語彙と表現 助詞
12. 第18課 語彙と表現 ～けれども・～が
13. 第19課 語彙と表現 過去形
14. 第20課 語彙と表現 予定・つもり表現
15. まとめ

**成績評価方法**

定期試験の成績は60%、平常点（小テスト・宿題など）は20%、出席点は20%の割合で総合して評価する。

**教科書**

長谷川由起子 著 (2012)『新・コミュニケーション韓国語 会話編1』白帝社  
\*改訂版初版発行

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

母語である日本語との対照の中で理解を深めるのがよりよい勉強方法かと思われるので、学習者は母語の能力を十分に生かすとともに、主体的・積極的に根気よく学ぶことが望まれる。

\*質問は、講義終了時に受け付ける。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## ドイツ語Ⅱ

クラス	1	科目コード	4332
クラス	2	科目コード	4331
クラス	3	科目コード	4331
クラス	4	科目コード	4331
クラス	5	科目コード	4332
クラス	6	科目コード	4332

担当教員名 教授 畑 公也

1 年次 後期 選択 1 単位

### 一般目標 (GIO)

ドイツ語Ⅰに引き続き、ドイツ語の基本的な運用能力を習得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. ドイツ語を通して、ドイツ文化およびヨーロッパの文化に対する関心を深める。
2. ドイツ語の単語を正しく発音できる。
3. ドイツ語文法の概要を把握する。
4. 辞書を引いて、平易なドイツ語の文章を読むことができる。
5. ドイツ語で簡単な日常会話ができる。
6. ドイツ語で簡単な文章を書くことができる。

### 授業内容 (項目・内容)

- 1～ 3. 冠詞と名詞の格変化・代名詞Ⅱ
- 4～ 6. 定冠詞類・指示代名詞
- 7～ 9. 分離動詞
- 11～12. 語法の助動詞
- 13～14. 前置詞
15. まとめ

この授業は、前期のドイツ語Ⅰの内容を引き継ぐものである。したがって、ドイツ語Ⅰを受講したもののみが受講できる。

ここでは、楽しみながら、初修の外国語であるドイツ語に慣れ親しんで欲しい。そして、ドイツ語を知ることによって、ヨーロッパ、つまりまだよく知らない世界に向かって新しい窓をひとつ開いて欲しい。世界は、日本とアメリカだけで成り立っているのではないのだから。

### 成績評価方法

期末テスト (80%)、平常点 (小テストを含む:20%)

### 教科書

ドイツ語Ⅰで用いたテキストを継続使用する  
『300語で話すドイツ語』入谷幸江他著 三修社

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

質問や相談は随時受け付けます。4号館2Fの人文科学研究室へお越しく下さい。  
メールも可:k-hata@kobepharmaceutical-u.ac.jp

## 現代社会論

クラス	1	科目コード	4391
クラス	2	科目コード	4391
クラス	3	科目コード	4391
クラス	4	科目コード	4391
クラス	5	科目コード	4391
クラス	6	科目コード	4391

担当教員名 准教授 松家 次朗

1 年次 前期 選択 1 単位

### 一般目標 (GIO)

現代社会におけるさまざまな倫理問題の特徴を分析し、現代社会の問題解決の方法について学ぶ。日本の現代社会の特徴を、さまざまなキーワードを通して考察し、問題解決の方向を探る。

### 到達目標 (SBOs)

1. 現代社会の特徴について学ぶ。
2. 民主主義社会の基本的な倫理的原則について学ぶ。
3. 自由と自己決定権の関係について学ぶ。
4. 個人の利益と社会の利益の関係について学ぶ。

### 授業内容 (項目・内容)

1. 現代社会の特徴 - 1 -
2. 現代社会の特徴 - 2 -
3. 現代社会の特徴 - 3 -
4. 現代社会の特徴 - 4 -
5. 現代社会の特徴 - 5 -
6. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 1 -
7. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 2 -
8. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 3 -
9. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 4 -
10. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 5 -
11. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 6 -
12. 現代社会の課題について考える - 1 -
13. 現代社会の課題について考える - 2 -
14. 現代社会の課題について考える - 3 -
15. まとめ

### 成績評価方法

定期試験もしくはレポートとする。

### 教科書

特になし

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

講義では他の様々な考え方を紹介しますので、出席することは必須です。授業中に意見を求めることがあります。分からないことは授業中でも質問してください。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

# 英語の歴史

クラス	1	科目コード	4366
クラス	2	科目コード	4366
クラス	3	科目コード	4366
クラス	4	科目コード	4366
クラス	5	科目コード	4366
クラス	6	科目コード	4366

担当教員名 教授 田中 研治

1 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

英語を学ぶ人にとって、国際語、地球語として確固たる地位を占める現代英語がどのような歴史的経緯を辿ってきたかを理解することは重要である。約1500年前、北ドイツのゲルマン部族の方言に端を發し、ブリテン島での言語的成長と体系化を経て、全世界へと広がった英語の変化、發達、普及の過程を概観する。「英語史」とは「波瀾に富んだ英語の冒険物語」であることを学習したい。

## 到達目標 (SBOs)

1. 国際語としての現代英語の特徴を概説できる。
2. 英語史の時代区分と特徴を、「400年サイクル説」によって概説できる。
3. 英語史の背景にある様々な民族とその文化の特徴を概説できる。
4. 英語の起源について概説できる。
5. 英語の語彙に見られる「借用関係」を例をあげて説明できる。
6. 英語が世界史の流れに与えた社会的、文化的影響を概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

授業中に受講生に質問して、対話形式で進めることもある。ビデオ観賞(1回)をする予定。ほぼ次の内容を順番に講義するが、受講生の反応を見ながらトピックごとに説明を拡大したり、縮小したりすることもある。毎時間各種プリントを配布し、それをノート代わりに利用していただく。

1. 国際語としての英語とその多様性(1): 今日、世界各地で特有の發達を示す英語は、The English Languages とか、The new Englishes と呼ばれる。これらの変種英語の多様性と特徴について略述する。「400年サイクル説」の紹介。
2. 国際語としての英語とその多様性(2): 同上
3. 英語の起源(1): 印欧語祖語からゲルマン語派へ、更にはゲルマン語から古英語への言語的分岐や歴史的背景などを略述する。基本的な英語史の時代区分について概観する。
4. 英語の起源(2): 同上
5. 英語の始まり(1): 古英語(Old English)の文法的特徴や、語彙の性格、現代英語との関連性、当時の時代背景などを略述する。
6. 英語の始まり(2): 同上
7. 英語の始まり(3): 同上
8. 英語の成長期(1): 中英語(Middle English)の言語的特徴や、ノルマン・フレンチとの言語接触、当時の時代背景などを略述する。
9. 英語の成長期(2): 同上
10. 英語の成長期(3): 同上
11. 英語の成熟期(1): 近代英語(Modern English)の言語的特徴に加え、その世界的拡散と、その後の地球言語化の諸相や時代背景などを略述する。
12. 英語の成熟期(2): 同上
13. 英語の成熟期(3): 同上
14. アメリカ英語の起源と發達過程、その特徴について略述する。
15. 現代英語の特質と変化の様相: 20世紀以降の英語の特質を概観すると同時に、最近注目を集めている現代イギリス英語「河口域英語」(Estuary English)の姿などを紹介する。

## 成績評価方法

筆記試験(80点)と、毎時間提出の出席・受講態度調査票(合わせて20点)を総合して評価する。

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

毎時間、かなり多くの内容を講義するので、受講生側のマナー順守（静粛、集中、要点筆記）が特に重要です。参考書については質問に来ていただければ数種類を紹介します。英語以外の外国語（独語、仏語、北欧諸言語、ギリシャ語、ラテン語などのヨーロッパの言語が中心）が頻出することを了承・覚悟のうえ受講してください。ただし、それらを前もって、あるいは授業と平行して学習する必要はありません。馴染みの薄い英語学や言語学の難しい専門用語はなるべく使わないようにしますが、疑問点などがあれば、面談のうえ質問はいつでも受け付けます。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

## 現代広告論

クラス	1	科目コード	4392
クラス	2	科目コード	4392
クラス	3	科目コード	4392
クラス	4	科目コード	4392
クラス	5	科目コード	4392
クラス	6	科目コード	4392

担当教員名 講師（非常勤）梅村 修

1 年次 前期 選択 1 単位

### 一般目標 (GIO)

コミュニケーションのお手本として、現代の広告はどうやってつけの素材である。企業は、消費者との良好なコミュニケーション構築のために、莫大な経費を広告に投入する。そして、優秀なクリエイティブが、消費者とのコミュニケーションを成立させるために知恵を絞る。その結果、広告には商品を知らしめ、購買行動までに導く、巧妙な“売るための仕掛け”が仕組まれることになる。この広告の“売るための仕掛け”を読み解き、それを対人関係のコミュニケーション・スキルとして身につけ、論文作成や研究発表といったパフォーマンスに応用してほしい。

### 到達目標 (SBOs)

1. 現代消費社会に満ち満ちている、さまざまな広告表現を、主体的に読み解くことができる。
2. 広告の歴史を概観し、人類のコミュニケーションに広告が果たしてきた功罪について、理解を深める。
3. 広告のコミュニケーション手法を、自己の開発に応用できる。

### 授業内容 (項目・内容)

授業内容については、最初の授業の際に、意欲、人数、関心の所在などを確かめてから決めたい。したがって、下記の項目および、その掲出順序はあくまで予定である（予定は未定であって決定ではない）。

1. 広告とはなんだろうか？
2. 20世紀型広告定義
3. 21世紀型広告定義
4. 広告コミュニケーションのパラダイス・シフト
5. 広告のコンテンツとストラテジー
6. 広告のGood Surprise
7. 広告のコピーワーク
8. メディア・リテラシーについて
9. グラフィック広告のメディア・リテラシー
10. 映像広告の内容分析
11. 映像広告のメディア・リテラシー
12. クロスメディア・コミュニケーション
13. クロスメディア・コミュニケーションのメディア・リテラシー
14. 神戸薬科大学のテレビCMをつくってみよう（その1）
15. 神戸薬科大学のテレビCMをつくってみよう（その2）

\*本演習は、火曜2時間目に梅村が担当する「総合文化演習Ⅰ」（2年次履修科目）と連動している。したがって、本講義を受講する1年次生は、2年次に梅村の「総合文化演習Ⅰ」も、同時に履修することを視野に入れて講義に臨むことをお勧めする。

### 成績評価方法

1. 出席率（40点）
  2. レポート（30点）
  3. 期末テスト（30点）
- \*毎時間、出席カードを配付し、裏面に講義のサマリーや課題を書く。  
\*期末テストは持ち込み可（学期最後の授業中に行う。）しかし、コピーは絶対に不可。  
\*レポートは、授業中に提出するレポートと、期末レポートに分かれる。

### 教科書

- ・「消費社会とマーケティング」（東伸一・梅村修・辻幸恵・玄野博行 著、嵯峨野書院）
- ・「アート・マーケティング」（梅村修・辻幸恵 著、白桃書房）
- ・「キャラクター総論」（辻幸恵・梅村修・水野浩児 著、白桃書房）



## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

- ・受講生には、若者らしいディーセンシー（decency・礼節）を期待します。やんちゃな学生は好きですが、不真面目な学生は嫌いです。
- ・昨年度の授業アンケートでは、学生諸君から「黒板の字が小さく、読みにくい」と苦言をいただいた。しかし、私は、文字満載のパワーポイントが大嫌いなので、今年度も引き続き、黒板は使う。当然、大きな字で書くつもりでいる。ただ、いかんせん、大教室なので限界がある。よって、視力が弱いことを自覚する学生諸君は、なるべく前方に座られんことを望みます。
- ・勉強熱心な学生ほど、「教科書を学ぼう」とする。しかし、教科書は学ぶためのきっかけに過ぎない。薬大の学生諸君には「教科書で学んで」いただきたい。さて、傍点の意味するところはなへんにあるか、よく考えてください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 社会心理学

クラス	1	科目コード	4384
クラス	2	科目コード	4384
クラス	3	科目コード	4384
クラス	4	科目コード	4384
クラス	5	科目コード	4384
クラス	6	科目コード	4384

担当教員名 講師（非常勤）中島 園美

1 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

社会心理学の理論を学び、人間の社会場面での行動、認知、態度を規定する心理プロセスを理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 日常生活で体験している事象を社会心理学の視点から捉えなおす。
2. 自己への気づきと他者への理解を深める。
3. 社会の中で営まれている様々な人間関係における法則を知る。
4. 個人が集団の中にあるとき、その行動はどのような影響を受けるのか理解する。
5. いつもとは違う視点で物事を考える力を養う。

## 授業内容 (項目・内容)

1. ガイダンス
2. 心理学入門
3. 「わたし」の心と「わたし」の姿 (1) 自分をどのように捉えているか
4. 「わたし」の心と「わたし」の姿 (2) 自分をどのように他者に見せるか
5. 「わたし」の心と「わたし」の姿 (3) 周囲から影響を受ける自己
6. 「わたし」と対人関係 (1) 他者に抱く印象はどのように形成されるか
7. 「わたし」と対人関係 (2) 対人魅力
8. 「わたし」と対人関係 (3) 対人関係における青年の課題
9. 「わたし」と対人関係 (4) 対人関係の展開
10. 自己と他者の感情 感情の機能や共感性
11. 社会との関わり (1) 親切、思いやり、人助けなどの援助行動
12. 社会との関わり (2) 人はどのような時に、いかにして態度を変化させるか
13. 集団の中の人間 (1) リーダーシップに求められる資質
14. 集団の中の人間 (2) 周りに合わせるということについて
15. 集団現象 群衆心理・噂に扇動される心裡

## 成績評価方法

- ・レポート (60点)
- ・平常点 (40点) 配点内訳：出席、授業中の課題レポート

## 教科書

適宜、資料を配布する。

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

人間の行動は本質的に社会的なもの、すなわち直接的または間接的に他者に影響されるものです。そのメカニズムを学び、自己や他者をよりよく理解するひとつの知識として利用してもらいたいと思います。

# ヒューマンケア論入門

クラス	1	科目コード	4382
クラス	2	科目コード	4382
クラス	3	科目コード	4382
クラス	4	科目コード	4382
クラス	5	科目コード	4382
クラス	6	科目コード	4382

担当教員名 講師（非常勤） 服部 俊子

1 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

「ヒューマン・ケア」とは何かを考え、科学技術の時代である現代の、医療や福祉などの領域で営まれる「ヒューマン・ケア」のあり方を検討する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 「ヒューマン・ケア」とは何かを理解する。
2. 「ヒューマン・ケア」を含む「ケア」が注目されるようになった社会的背景を理解する。
3. 科学技術の時代である現代がどのような時代かを分析する。
4. 現代のさまざまな領域で営まれる「ヒューマン・ケア」のあり方を理論的・実践的に検討する。

## 授業内容 (項目・内容)

スキンケア、高齢者ケア、心のケア、ターミナルケアなど、ケアという言葉はとてもよく使われます。それは、現代に生きる私たちが、ケアという営みが重要であることに気づき、ケアを求めていることの現れなのでしょう。では、ここで求められているケアとはどのようなものなのでしょう。また、(科目名の)ヒューマン・ケアとは何なのでしょう。

この科目ではこれらを主題に、受講者どうしの議論を通して「ヒューマン・ケア」のあり方を検討していきます。当然、この授業に集う人(受講者と教員)の間にもヒューマン・ケアの営みがあるので、実践しながら検討することにもなります。授業の場に、受け身の姿勢ではなく積極的な態度で参加することを求めます。

授業では、個人ワークシート、グループワークシート、リフレクションシートを用います。

1. ガイダンス コースの説明
2. ～4. ケア／ヒューマン・ケアとは何かを、教科書の著作から理解する
5. 科学技術が隆盛な現代という時代について、参考資料から理解する
6. ～14. 現代の医療や福祉などの領域で営まれる「ヒューマン・ケア」のあり方を、文献(教科書を含む)や映像の資料をもとに議論する。
15. まとめ

## 成績評価方法

レポート (80%) 授業中に作成した個人ワークシート／グループワークシート／リフレクションシート+作成したシート類すべてをもとに作成するレポート

平常点 (20%) 出席回数、授業への参加態度

## 教科書

川本隆史編 (2005) 『ケアの社会倫理学』有斐閣選書

## 指定参考書

ミルトン・メイヤロフ (1987) 『ケアの本質』田村真／向野宣之訳、ゆみる出版  
 浜渦辰二編 (2005) 『〈ケアの人間学〉入門』知泉書館  
 水野治太郎 (1991) 『ケアの人間学』ゆみる出版  
 広井良典 (2000) 『ケア学』医学書院  
 小澤勲編 (2006) 『ケアってなんだろう』医学書院

## 学生へのアドバイス

授業の場をそこに集う全員で創るという意識で、授業に参加してください。

# 日本文化論

クラス	1	科目コード	4363
クラス	2	科目コード	4363
クラス	3	科目コード	4363
クラス	4	科目コード	4363
クラス	5	科目コード	4363
クラス	6	科目コード	4363

担当教員名 講師（非常勤） 佐藤 真知子

1 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

日本文化的教養を身につけるために、特に日本独自の文学形式である俳句に焦点を絞り、作品を丁寧に解釈することを通して、その史的発展を理解する。古典を学び、今を生きる自分を見つめ直す。

## 到達目標 (SBOs)

1. 俳諧の誕生とその変遷について概説できる。
2. 俳句を解釈できる。
3. 芭蕉について人物像を構築する。
4. 芭蕉の紀行文を解釈できる。
5. 芭蕉の作品について論述できる。
6. 芭蕉と同時代の作品を知る。
7. 文化的教養を身につけて俳句を創作する。
8. 伝統的な価値観と近代以後の価値観の相違を理解する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. はじめに／俳諧の歴史 | 俳諧の字義および誕生     |
| 2. 俳諧の歴史      | 俳諧の確立と諸流派      |
| 3. 俳句創作       | 作品理解の一段階としての創作 |
| 4. 芭蕉         | 伝記的事項と人物像の把握   |
| 5. 芭蕉         | 蕉風確立に至るまでの俳諧作品 |
| 6. 芭蕉         | 蕉風確立以後の俳諧作品    |
| 7. グループ討論     | 芭蕉の作品の特質を検討    |
| 8. グループ討論     | いろいろな俳句を読む     |
| 9. 芭蕉の紀行文     | 旅人の自覚『笈の小文』    |
| 10. 芭蕉の紀行文    | 『奥の細道』の成立      |
| 11. 芭蕉と同時代の作品 | 曾根崎心中 (1)      |
| 12. 芭蕉と同時代の作品 | 曾根崎心中 (2)      |
| 13. 芭蕉と同時代の作品 | 井原西鶴           |
| 14. 芭蕉以後      | 蕪村と一茶          |
| 15. 芭蕉以後／おわりに | 近代の作品          |

## 成績評価方法

レポート (40%)

平常点 (60%) 配点内訳: 小テスト (30%)、授業中の課題レポート (15%)、出席と授業に対する積極的な取組意欲・態度 (15%) を総合的に評価する。

## 教科書

授業の中でプリントを配付する。

## 指定参考書

新編日本古典文学全集70『松尾芭蕉集①』(1995年) 小学館

新編日本古典文学全集71『松尾芭蕉集②』(1997年) 小学館

## 学生へのアドバイス

授業中に課された提出物は、形式と内容を整えて、その授業の終わりに提出しなさい。質問等歓迎します。レポートは何かを写すのではなく、調べたことを考えてまとめます。

## 言語と文化

クラス	1	科目コード	4365
クラス	2	科目コード	4365
クラス	3	科目コード	4365
クラス	4	科目コード	4365
クラス	5	科目コード	4365
クラス	6	科目コード	4365

担当教員名 講師（非常勤） 友繁 義典

1 年次 前期 選択 1 単位

### 一般目標 (GIO)

日本語と英語の比較、及び、日本文化と英語圏の文化の考察を通じて、言語とは何か？文化とは何か？を概観する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 「言語」とは何かを概説できる。
2. 「文化」とは何かを概説できる。
3. 日本文化と英語圏の文化について概説できる。
4. 日本語と英語に関する相違点について概説できる。
5. 「言語」と「文化」の関係について概説できる。
6. 外国語を学ぶということは自国語及び自国の文化を学ぶことでもあることを説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. オリエンテーション    | 授業の説明など          |
| 2. 言語に関して 1     |                  |
| 3. 言語に関して 2     |                  |
| 4. 文化に関して 1     |                  |
| 5. 文化に関して 2     |                  |
| 6. 日本文化と西洋文化 1  |                  |
| 7. 日本文化と西洋文化 2  |                  |
| 8. 日本語と英語の比較 1  | 日英の単語に関して        |
| 9. 日本語と英語の比較 2  | 日英の語順と思考方法に関して   |
| 10. 日本語と英語の比較 3 | 日英の時制と時間意識に関して   |
| 11. 日本語と英語の比較 4 | 日英の否定表現、肯定表現に関して |
| 12. 日本語と英語の比較 5 | 冠詞に関して           |
| 13. 日本語と英語の比較 6 | 無生物主語と抽象名詞に関して   |
| 14. 日本語と英語の比較 7 | 総論               |
| 15. まとめ         | 授業全般のまとめ         |

(注：上記の講義内容の順番あるいは内容を若干変更する可能性があります。)

### 成績評価方法

試験 (50点) レポート (30点) 及び出席 (20点) (注：状況次第で、評価方法を変更する可能性があります。)

### 教科書

特になし

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

質問は講義の前後で対応します。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# アジア文化論

クラス	1	科目コード	4362
クラス	2	科目コード	4362
クラス	3	科目コード	4362
クラス	4	科目コード	4362
クラス	5	科目コード	4362
クラス	6	科目コード	4362

担当教員名 講師（非常勤） レイハン・パタール

1 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

ユーラシア大陸の中心部に位置し、シルクロードの要衝である中国新疆ウイグル自治区（以下新疆とする）ではさまざまな文化を持つ集団が生活している。本講義では、新疆及び主にこの地で暮らしているウイグルと呼ばれている人々の生活を中心に話を展開し、シルクロードの多文化社会の現状についての理解を深めることを目標にする。

## 到達目標 (SBOs)

1. 新疆の地理的位置の重要性について概説できる。
2. 新疆の自然環境の特徴及び気候の特徴について概説できる。
3. 多文化社会としての新疆について概説できる。
4. 新疆の生活様式について概説できる。
5. ウイグルの信仰の変遷と生活習慣について理解する。
6. 「ウイグル」の意味と由来について理解する。
7. 日本とのかかわりについて理解する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                      |                              |
|----------------------|------------------------------|
| 1. オリエンテーション         |                              |
| 2. 新疆の地理的位置          | 新疆の地理的位置とその重要性を概説する          |
| 3. 新疆の自然環境           | 新疆の自然環境の特徴、気候の特徴について概説する     |
| 4. 新疆の生活様式 (1)       | オアシス農耕                       |
| 5. 新疆の生活様式 (2)       | 移動牧畜                         |
| 6. 新疆の生活様式 (3)       | 商業、工業、鉱業                     |
| 7. ~8. 新疆の人々         | 新疆で暮らす各民族の言語、宗教、生活様式         |
| 9. ウイグルとは            | 「ウイグル」の意味と由来                 |
| 10. ウイグルの言語と文字       | 現代ウイグル語の特徴とウイグルの文字文化について概説する |
| 11.~12. ウイグルの信仰と生活習慣 | ウイグルの信仰の変遷と生活習慣について概説する      |
| 13.~14. 新疆と日本        | 日本とのかかわりについて概説する             |
| 15. まとめ              |                              |

## 成績評価方法

授業中の小テスト (70%)、及び出席、受講態度 (30%) などによって総合的に評価する。

## 教科書

適宜プリントを配付する。  
映像資料としてNHK『シルクロード』などを使用する予定。

## 指定参考書

『中央ユーラシア史』 小松久男 山川出版社  
『宋と中央ユーラシア』 伊原 弘・梅村 坦 中央公論社  
『草原とオアシス』 山田信夫 講談社

## 学生へのアドバイス

授業に毎回出席し、メモを取ることを求めます。質問は講義時間の前後、あるいはメールで受け付けます。

# アメリカ文化論

クラス	1	科目コード	4361
クラス	2	科目コード	4361
クラス	3	科目コード	4361
クラス	4	科目コード	4361
クラス	5	科目コード	4361
クラス	6	科目コード	4361

担当教員名 講師（非常勤） 相本 資子

1 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

アメリカは「自由と民主主義」を標榜してきた世界一の大国でありながら、人種問題、貧困問題、銃問題、環境問題などを内に抱えている。この複雑なアメリカに対する理解を深めることによって、視野を広げ、国際社会に参加するための基本的態度を養う。また、上級学年の総合文化演習を受講するための基礎的知識を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. アメリカが独立したときの基本的理念を概説できる。
2. アメリカの民族的多様性を概説できる。
3. アメリカにおける少数民族の立場を概説できる。
4. アメリカの宗教観を概説できる。
5. アメリカの外交的態度を概説できる。
6. アメリカの女性をジェンダーという観点から概説できる。
7. 映画、ファンタジー、音楽などの大衆文化から見えるアメリカ文化を概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 「アメリカ文化論」を学ぶ意味 | 「ソフト・パワー」                |
| 2. アメリカの理念と矛盾 1   | 「共和国と帝国」                 |
| 3. アメリカの理念と矛盾 2   | 「共和国と帝国」                 |
| 4. 映画から見る「共和国と帝国」 | 『インディペンデンス・デイ』『スター・ウォーズ』 |
| 5. 人種問題における帝国主義   | 移民の流れ                    |
| 6. 先住アメリカ人        | 歴史と文化                    |
| 7. 先住アメリカ人        | 歴史と文化                    |
| 8. アフリカ系アメリカ人     | 歴史と文化                    |
| 9. アフリカ系アメリカ人     | 歴史と文化                    |
| 10. アフリカ系アメリカ人    | 歴史と文化                    |
| 11. 領土拡張における帝国主義  | 明白なる運命                   |
| 12. 大衆文化          | 児童文学                     |
| 13. 大衆文化          | 児童文学                     |
| 14. 大衆文化          | ディズニーの世界                 |
| 15. まとめ           |                          |

## 成績評価方法

定期試験（80点）平常点（20点）配点内訳：出席、受講態度、課題レポートで評価する。

## 教科書

トピックごとにそのつどプリントを用意する。

## 指定参考書

小田隆裕他編 『事典現代のアメリカ』 大修館書店  
 高村宏子他編 『アメリカ合衆国とは何か』 雄山閣出版  
 徳永由紀子他編 『アメリカン・カルチュラル・スタディーズ』 萌書房

## 学生へのアドバイス

新聞、ニュース、映画などを通して、できるだけアメリカに興味を持ってほしい。  
 質問は講義の前後で対応、または予約にて対応する。講義は連続性があるため、毎回出席して傾聴すること。講義中は私語を慎むこと。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

## 医療と人間

クラス	1	科目コード	4381
クラス	2	科目コード	4381
クラス	3	科目コード	4381
クラス	4	科目コード	4381
クラス	5	科目コード	4381
クラス	6	科目コード	4381

担当教員名 准教授 松家 次朗

1 年次 後期 選択 1 単位

### 一般目標 (GIO)

現代の医療が抱える問題と医療技術が社会や倫理に与えている影響の質と内容について理解する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 終末期医療の問題点を理解する。
2. 脳死と死の定義の変更の意味について理解する。
3. 生命の神聖性という基準と生命の質という基準の違いについて理解する。
4. 人工妊娠中絶をめぐる倫理問題を理解する。
5. 重度新生障害児をめぐる倫理問題を理解する。
6. 安楽死をめぐる倫理問題を理解する。
7. 環境倫理学と生命倫理学の関係について理解する。
8. 新しい倫理学の特徴について理解する。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 生命倫理学入門            | 新しい倫理学としての生命倫理学      |
| 2. 死後の誕生              | 脳死の女性の出産？            |
| 3. 死後の誕生              | 脳死は人の死か              |
| 4. 死の再定義 -1-          | 脳死はどのように再定義されたか -1-  |
| 5. 死の再定義 -2-          | 脳死はどのように再定義されたか -2-  |
| 6. シャン博士のジレンマ         | 無脳症児を死なせることは罪か -1-   |
| 7. シャン博士のジレンマ         | 無脳症児を死なせることは罪か -2-   |
| 8. トニー・ブランドと人命の神聖性-1- | 生と死の選択 -1-           |
| 9. トニー・ブランドと人命の神聖性-2- | 生と死の選択 -2-           |
| 10. 中絶をめぐる争い          | プロチョイスとプロライフの争い      |
| 11. 生命の質に基づく判断を下す     | 生きるに値しない生命は存在するか -1- |
| 12. 生命の質に基づく判断を下す     | 生きるに値しない生命は存在するか -2- |
| 13. 死を依頼する            | 安楽死をめぐる論争 -1-        |
| 14. 死を依頼する            | 安楽死をめぐる論争 -2-        |
| 15. まとめ               |                      |

### 成績評価方法

定期試験もしくはレポートとする。

### 教科書

ピーター・シンガー 『生と死の倫理』 昭和堂

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

自分の頭で考え、自分の言葉で語ることを求めます。授業中に意見を求めることがあります。質問は遠慮なくしてください。



## 現代の音楽

クラス	1	科目コード	4367
クラス	2	科目コード	4367
クラス	3	科目コード	4367
クラス	4	科目コード	4367
クラス	5	科目コード	4367
クラス	6	科目コード	4367

担当教員名 教授 畑 公也

1 年次 後期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

芸術の一ジャンルである音楽をめぐるさまざまな問題について考える。それによって、物事を多角的にみる能力を養うとともに、見識ある人間としての基礎を築くために、自分自身の洞察を深めるための一助とする。

## 到達目標 (SBOs)

1. 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について考える習慣を身に付ける。
2. 有史以前から現在にいたるまでの音楽の発展過程を理解する。
3. 現代社会において音楽の果たしている役割を理解する。
4. 音楽のありようを通して「現代とはどのような時代か」という問いに対して自分なりに考え、答えを模索する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. オリエンテーション  | これは何でしょう         |
| 2. 音楽とは何か     | 音楽の発生と本質について     |
| 3. 現代の音楽状況    | 百年前と比較して         |
| 4. 音楽の多様性     | 私たちは何を聴いているか     |
| 5. ジャンルとは何か   | 音楽におけるジャンル分けの意義  |
| 6. 音楽の歴史 I    | 近代調性音楽           |
| 7. 音楽の歴史 II   | ベートーベンの生涯と音楽     |
| 8. 現代の音楽 I    | ジャズの成立と発展        |
| 9. 現代の音楽 II   | ブルースからロックン・ロールへ  |
| 10. 現代の音楽 III | ロックの発展           |
| 11. 現代の音楽 IV  | フュージョン音楽としてのピアソラ |
| 12. 音楽の効用 I   | 音楽の「癒し効果」と音楽療法   |
| 13. 音楽の効用 II  | 「泣かせる音楽」         |
| 14. 音楽の効用 III | 音楽のメッセージ性        |
| 15. 音楽の未来     | 21世紀の音楽の可能性      |

現代には、さまざまなメディアの発達のおかげで、過去から現在にいたるあらゆる時代のさまざまなジャンルの音楽が氾濫していて、私たちはそれらを自由に選び出して聴くことができる。その「多様性」こそが現代の音楽の最も重要な特徴である。従って、「現代の音楽」と題するこの講義も、時代やジャンルの制限を取り払って、「私たちが聴くことのできるすべての音楽」を考察の対象とする。

授業中には、できるだけ多くの音楽を流して、多様な音楽に実際に触れてもらうように心がけたい。

また、授業のやり方に関しては、通常の教師から学生への一方通行的な授業ではなく、折に触れ受講生諸君の発言を求め、相互に意見交換しながら進めていく、共同制作的な授業を目指したい。

## 成績評価方法

期末試験 70点、出席・平常点 30点

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

オフィスアワー：月、水、木の昼休み。それ以外でも在室時はいつでも相談、質問に応じます。

メールも可：k-hata@kobepharmaceutical-u.ac.jp

# 消費者行動論

クラス	1	科目コード	4393
クラス	2	科目コード	4393
クラス	3	科目コード	4393
クラス	4	科目コード	4393
クラス	5	科目コード	4393
クラス	6	科目コード	4393

担当教員名 講師（非常勤） 西村 順二

1 年次 後期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

社会科学における経営学、その中の消費者行動研究と言う内容科学の一つを学ぶことを通して、経済社会の認識・考察・分析力を養うことを目指す。

## 到達目標 (SBOs)

マーケティングに関する基礎知識の修得と消費者行動の分析視点の修得を目指す。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. イントロダクション             | 講義の目標・評価方法・運営方式の確認と講義全体の概要 |
| 2. 社会科学の中の「消費者行動論」       | 社会科学における下位研究領域としての消費者行動論   |
| 3. マーケティング発想             | マーケティングの基礎概念と標的市場認識        |
| 4. 消費者ニーズ概念              | 消費者のニーズの本質と欲求創造            |
| 5.~8. マーケティングミックスの構成について |                            |
| 9. 消費と購買、そして消費者の動態       | 消費行動の基本分類 — AIDMAとAISAS    |
| 10. 供給サイドと需要サイドのマッチング    | 懸隔の意味                      |
| 11. 生産と消費の懸隔と流通機能        | 懸隔架橋の必要性                   |
| 12. 顧客適応と仕入れ・生産適応        | 需給調整のメカニズム                 |
| 13. 顧客適応の流通様式            | 流通業態変化                     |
| 14. 市場細分化概念              | 市場の細分化と市場の成長性              |
| 15. まとめ                  | 講義全体の総括と近年の消費行動            |

## 成績評価方法

学期末の試験（70%）、レポート（20%）、授業へのコミットメント（10%）等に基づき総合的に評価する。

## 教科書

西村順二著 『卸売流通動態論 — 中間流通における仕入と販売の取引連動性 —』 千倉書房

## 指定参考書

随時紹介していく。

## 学生へのアドバイス

日常生活シーンに於いて我々は常に購買・消費の局面に接している。本講義を受講する学生諸君には、何故この製品を購入するのか、したのかということに関心をもつようにして欲しい。

# 薬局経営論

クラス	1	科目コード	4394
クラス	2	科目コード	4394
クラス	3	科目コード	4394
クラス	4	科目コード	4394
クラス	5	科目コード	4394
クラス	6	科目コード	4394

担当教員名 講師（非常勤） 辻 峰男

1 年次 後期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

卒業後の進路先のひとつである薬局の経営について基本的なことを学習する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 会社組織について概説できる。
2. 薬局経営とモノの動きについて概説できる。
3. 薬局経営とヒトの動きについて概説できる。
4. 薬局経営とカネの動きについて概説できる。
5. 薬局経営の現状と課題について考察できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 組織の形態
2. 組織の変容
3. 販売
4. 生産管理
5. 労務管理
6. 組織
7. 資金管理
8. 財務諸表
9. データ収集
10. データ分析 1
11. その 2
12. その 3
13. 問題の指摘と解決討議
14. 事例研究
15. まとめ

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

桜井久勝 『財務諸表分析』 中央経済社

## 指定参考書

平野嘉秋 『新しい企業会計制度』 大蔵財務協会  
 武井一浩 『会社法を活かす経営』 日本経済新聞社  
 伊丹敬之ほか 『ゼミナール経営学入門』 日本経済新聞社

## 学生へのアドバイス

授業内容は授業時間内で理解するように努めてください。  
 非常勤のため、質問は講義の前後で対応します。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

# コミュニケーション論

クラス	1	科目コード	4383
クラス	2	科目コード	4383
クラス	3	科目コード	4383
クラス	4	科目コード	4383
クラス	5	科目コード	4383
クラス	6	科目コード	4383

担当教員名 講師（非常勤）新道 賢一

1 年次 後期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

生活場面での人と人との関わりの背景にある心理学的意味や、対人関係に影響を与えるさまざまな要因について考える。

## 到達目標 (SBOs)

1. 普段私たちが何気なく使っている「コミュニケーション」という用語について考え直してみる。
2. 臨床心理学的な理論に基づき自己理解を試みる。
3. 上記2.を通じて自分の対人関係上の特徴を知る。
4. 上記2.に基づき他者理解への礎とする。
5. 言語的・意図的な対人姿勢を自覚し、よりよい対人関係の手がかりにする。
6. 非言語的な要因にも目を向け、意図せず対人関係に及ぼす影響について考える。
7. 「コミュニケーション」の場で起きうる現象について知る。
8. 「コミュニケーション」の一形態である「学ぶ」ことについて、授業という実践を通して考える。

## 授業内容 (項目・内容)

1. オリエンテーション ～この授業は、コミュニケーション法を教える授業ではない～
2. 受講者の考える「コミュニケーション」 ～「コミュニケーション」は会話か?～
3. ことばの限界
4. ことばがなければ語れないこともある
5. 「バカ」は罵詈雑言か愛情表現か ～文脈が意味を決定する～
6. 何気ないやりとりで潜むコミュニケーションを阻害する応答
7. 「聞く」という営み
8. 「なぜ」という問い
9. 「かかわる」ということ
10. コミュニケーションのほころび ～「失錯行為」～
11. バカの壁、もしくは、防衛機制
12. 先生はお母さん!? ～「転移」という考え方～
13. 非言語的な要因
14. レポートを書く、というコミュニケーション
15. まとめ ～声なき声に耳をすませる～

## 成績評価方法

①出席点 (30点) ②受講態度 (30点) ③定期試験 (40点)

## 教科書

必要に応じて授業の中でのプリントを適宜配布します。

## 指定参考書

「プロカウンセラーの聞く技術」東山紘久著 創元社  
 「看護のための精神医学」中井久夫・山口直彦著 医学書院  
 「先生はえらい」内田樹 ちくまプリマー新書

## 学生へのアドバイス

出席を重視します（遅刻は欠席とみなします）。全授業のうち、8割以上の出席がなければ、定期試験の受験資格はありません。授業では毎回、当日の授業内容に関する800字程度の小レポートを課し、小レポートの内容も評価の対象とします。小レポートの内容により、授業の進捗状況が変化することがあります。授業を通じての「コミュニケーション」を円滑にするため、私語厳禁とします。

## 異文化理解

クラス	1	科目コード	4364
クラス	2	科目コード	4364
クラス	3	科目コード	4364
クラス	4	科目コード	4364
クラス	5	科目コード	4364
クラス	6	科目コード	4364

担当教員名 講師（非常勤） 相本 資子

1 年次 後期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

アメリカ文化と日本文化を比較検討し、それぞれの文化の独自性を理解することによって、国際社会に参加するための基本的態度を養う。グローバルな文脈の中で日米関係を捉え直すことによって、現代日本がかかえる問題を解明する1つの手がかりとする。

## 到達目標 (SBOs)

1. 異文化を理解することの意味を明らかにすることができる。
2. 異文化を知ることで自国の文化を新たな視点で見直すことができる。
3. アメリカ文化と日本文化を比較することで両者の相違点を概説できる。
4. アメリカ文化と日本文化を比較することで両者の共通点を概説できる。
5. 映画、文学作品、アニメ、スポーツなどの媒介を通して、アメリカ人と日本人の発想、視点、思想の違いを概説できる。
6. 人文科学、社会科学の思考方法を習得することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. はじめに           | 異文化理解の意味            |
| 2. 日本から見たアメリカ     | 拝米と排米               |
| 3. アメリカのジャポニズム    | 歴史的背景               |
| 4. アメリカのジャポニズム    | 歴史的背景               |
| 5. アメリカのジャポニズム    | 『蝶々夫人』              |
| 6. 日本文化の発信        | 『武士道』『日本の目覚め』       |
| 7. 戦時中のアメリカから見た日本 | 日系アメリカ人             |
| 8. 戦時中のアメリカから見た日本 | 日系アメリカ人             |
| 9. 戦後のアメリカから見た日本  | アメリカ映画に現れた日本のイメージ   |
| 10. 戦後のアメリカから見た日本 | アメリカ映画に現れた日本のイメージ   |
| 11. 高度成長期の日本とアメリカ | アメリカ映画に現れた日本のイメージ   |
| 12. 高度成長期の日本とアメリカ | アメリカ映画に現れた日本のイメージ   |
| 13. アメリカ文化と日本文化   | アメリカのアニメーションと日本のアニメ |
| 14. アメリカ文化と日本文化   | アメリカのアニメーションと日本のアニメ |
| 15. まとめ           |                     |

## 成績評価方法

レポート (80点) 平常点 (20点) 配点内訳: 出席、受講態度、課題レポートで評価する。

## 教科書

トピックごとにそのつどプリントを用意する。

## 指定参考書

- 小田隆裕他編 『事典現代のアメリカ』 大修館書店  
 新渡戸 稲造 『武士道』 PHP文庫  
 岡倉 天心 『茶の本—英文収録』 講談社学術文庫  
 『東洋の理想』 講談社学術文庫

## 学生へのアドバイス

新聞、ニュース、映画、大衆小説などを通して、できるだけアメリカと日本の関係に興味を持ってほしい。質問は講義の前後で対応、または予約にて対応する。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 社会薬学Ⅰ（基礎編）

—薬剤師の仕事と責務—

クラス	1	科目コード	4410
クラス	2	科目コード	4410
クラス	3	科目コード	4410
クラス	4	科目コード	4410
クラス	5	科目コード	4410
クラス	6	科目コード	4410

担当教員名 教授 棚橋 孝雄 教授 田内 義彦  
 教授 中江 裕子 准教授 松家 次朗

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

社会における薬剤師の果たすべき役割、責任、義務等を正しく理解することができるように、薬剤師という職業に深くかかわる歴史、制度、法律および倫理に関する基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 「薬とは何か」を概説できる。
2. 化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。
3. 日本薬局方の意義と内容を概説できる。
4. 医薬分業のしくみと意義を説明できる。
5. 地域薬局の役割を列挙できる。
6. 医療倫理の特徴を概説できる。
7. 医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。
8. ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。
9. 医療倫理学の流れを概説できる。
10. 医療倫理学の基本的な考え方を説明できる。
11. 薬剤師に関連する法令の構成を説明できる。
12. 薬剤師法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。
13. 薬剤師に関わる医療法の内容を説明できる。
14. 製造物責任法を概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 薬学教育6年制と新しい薬剤師像－1－
2. 薬学教育6年制と新しい薬剤師像－2－
3. くすりと社会Ⅰ 薬剤師とくすり－1－
4. くすりと社会Ⅱ 薬剤師とくすり－2－
5. くすりと社会Ⅲ ファーマシーについて－1－
6. くすりと社会Ⅳ ファーマシーについて－2－
7. 薬と制度
8. 薬と法
9. くすりと薬害
10. くすりの開発
11. 医療と倫理Ⅰ 医療倫理とは何か
12. 医療と倫理Ⅱ 医療倫理と生命倫理
13. 医療と倫理Ⅲ 生命倫理学の流れ(アメリカ)－その1
14. 医療と倫理Ⅳ 生命倫理学の流れ(アメリカ)－その2
15. 医療と倫理Ⅴ 生命倫理学のまとめ

## 成績評価方法

各担当者の試験もしくはレポートの合計点(100点)により行う。

## 教科書

大久保・山本・松家篇 『社会薬学入門』－薬と社会と法を考える(法律文化社)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

分からないところがあれば遠慮なく尋ねてください。

**社会薬学Ⅱ（基礎編）**

—薬剤師の倫理と医薬品の開発—

クラス	1	科目コード	4420
クラス	2	科目コード	4420
クラス	3	科目コード	4420
クラス	4	科目コード	4420
クラス	5	科目コード	4420
クラス	6	科目コード	4420

担当教員名 教授 中江 裕子  
 教授 田内 義彦  
 准教授 松家 次朗

1 年次 後期 必修 1 単位

**一般目標 (GIO)**

社会における薬剤師の果たすべき役割、責任、義務等を正しく理解することができるように、薬剤師という職業に深くかかわる歴史、制度、法律および倫理に関する基本的知識を修得する。

**到達目標 (SBOs)**

1. 医療専門職としての薬剤師の倫理の特徴について理解する。
2. 研究倫理の基本について概説できる。
3. 薬事法の基本について概説できる。
4. 医薬品と薬事法の関係について概説できる。
5. 医薬品開発の基本的流れについて説明できる。
6. 医薬品の承認審査システムについて説明できる。
7. 医薬品の市販後安全対策について概説できる。
8. 臨床試験の流れを説明できる。
9. 医薬品開発と医薬品の安全性に関する基本を理解する。
10. 製造物責任法の基本について説明できる。

**授業内容 (項目・内容)**

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 薬剤師と倫理Ⅰ            | 専門職倫理とはなにか            |
| 2. 薬剤師と倫理Ⅱ            | プロフェッションとしてのファーマシー—1— |
| 3. 薬剤師と倫理Ⅲ            | プロフェッションとしてのファーマシー—2— |
| 4. 薬剤師と倫理Ⅳ            | 薬剤師の倫理—1—             |
| 5. 薬剤師と倫理Ⅴ            | 薬剤師の倫理—2—             |
| 6. 薬剤師と倫理Ⅵ            | プロフェッションの役割について       |
| 7. 薬剤師と倫理Ⅶ            | まとめ                   |
| 8. 医薬品開発について—1—       |                       |
| 9. 医薬品開発について—2—       |                       |
| 10. 医薬品開発について—3—      |                       |
| 11. 医薬品の承認審査等の仕組みについて |                       |
| 12. 市販後安全対策—1—        |                       |
| 13. 市販後安全対策—2—        |                       |
| 14. 薬事法とくすり—1—        |                       |
| 15. 薬事法とくすり—2—        |                       |

**成績評価方法**

各担当者の試験もしくはレポートの合計点（100点）により行う。

**教科書**

大久保・松家・山本篇 『社会薬学入門』 —薬と社会と法を考える（法律文化社）

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

分からないところがあれば遠慮なく尋ねてください。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 薬学入門

クラス	1	科目コード	4500
クラス	2	科目コード	4500
クラス	3	科目コード	4500
クラス	4	科目コード	4500
クラス	5	科目コード	4500
クラス	6	科目コード	4500

担当教員名	教授 棚橋 孝雄	教授 北河 修治	教授 江本 憲昭
	准教授 長谷川 豊	講師 上田 久美子	講師 水谷 暢明
	講師 田中 将史	講師 上田 昌史	

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

アスピリンを始めとする非ステロイド性抗炎症剤 (NSAIDs) をモデル薬物としてとりあげ、薬学の各専門科目がどのように関わっているかを学修し、今後の薬学の各専門科目の学修目的と科目間の連関を理解する。薬物の基礎的性質から臨床現場での使われ方までを広く理解するためには、薬学の総合的な学修が必要であることを学ぶ。

## 到達目標 (SBOs)

1. 医療における薬学の役割を説明できる。
2. 薬の発見の歴史を具体例をあげて説明できる。
3. 薬の理解に多数の専門科目が関わっていることを例をあげて説明できる。
4. 薬学の各科目間の繋がりを説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. くすりの歴史	アスピリンを始めとするくすりの歴史
2. 薬学の役割	薬学の果たす役割とその構成
3. 講義概要	講義の概要と目的、NSAIDs の製剤、局方
4. 化学系薬学の観点から 1	NSAIDs の合成、官能基の役割 1
5. 化学系薬学の観点から 2	NSAIDs の合成、官能基の役割 2
6. 物理系薬学の観点から 1	NSAIDs の安定性、溶解性 1
7. 物理系薬学の観点から 2	NSAIDs の安定性、溶解性 2
8. 薬理学、生物系薬学の観点から 1	NSAIDs の薬理作用 1
9. 薬理学、生物系薬学の観点から 2	NSAIDs の薬理作用 2
10. 薬物治療学の観点から	動脈硬化症・血栓症とアスピリンによる薬物治療
11. 薬剤学の観点から 1	NSAIDs の薬物動態 1
12. 薬剤学の観点から 2	NSAIDs の薬物動態 2
13. 臨床現場の観点から 1	NSAIDs の臨床現場での使われ方と問題点 1
14. 臨床現場の観点から 2	NSAIDs の臨床現場での使われ方と問題点 2
15. 講義まとめ	講義全体のまとめ

## 成績評価方法

定期試験、出席を含む平常点の合計で評価する。

## 教科書

スタンダード薬学シリーズ 1 「ヒューマニズム・薬学入門」 東京化学同人 (棚橋教授の講義のみ使用)  
他の講義ではパワーポイントおよびプリント使用

## 指定参考書

治療薬マニュアル 2012 (高久 監修、医学書院)

## 学生へのアドバイス

質問は各講義終了後に行ってください。



# 物理化学Ⅰ

—物質の変化—

担当教員名 教授 中山 尋量

クラス	1	科目コード	4610
クラス	2	科目コード	4610
クラス	3	科目コード	4610
クラス	4	科目コード	4610
クラス	5	科目コード	4610
クラス	6	科目コード	4610

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

物質の変換過程を理解するために、化学反応速度論、および反応速度に影響を与える諸因子に関する基本的知識と技能を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 反応次数と速度定数について説明できる。
2. 代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。
3. 反応速度と温度との関係を説明できる。
4. 拡散および溶解速度について説明できる。
5. 沈降現象、流動現象および粘度について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 1. 反応速度   | 反応次数と速度定数          |
| 2. 反応速度   | 速度式の変換             |
| 3. 反応速度   | 代表的な反応次数の反応の特徴     |
| 4. 反応速度   | 代表的な反応次数の決定法       |
| 5. 反応速度   | (擬) 一次反応速度と反応速度定数Ⅰ |
| 6. 反応速度   | (擬) 一次反応速度と反応速度定数Ⅱ |
| 7. 反応速度   | 代表的な複合反応           |
| 8. 反応速度   | 反応速度と温度との関係        |
| 9. 反応速度   | 衝突理論               |
| 10. 反応速度  | 遷移状態理論             |
| 11. 反応速度  | 代表的な触媒反応           |
| 12. 反応速度  | 酵素反応               |
| 13. 物質の移動 | 拡散および溶解速度          |
| 14. 物質の移動 | 沈降現象               |
| 15. 物質の移動 | 流動現象および粘度          |

## 成績評価方法

出席および試験によって総合的に評価する。

## 教科書

スタンダード薬学シリーズ (日本薬学会編) 第2巻「物理系薬学Ⅰ 物質の物理的性質 第2版」  
東京化学同人

## 指定参考書

「物理化学演習」(三輪、青木著) 京都廣川書店

## 学生へのアドバイス

配付するプリントの問題を十分に活用すること。テスト直前だけの勉強では対応できません。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 分析化学Ⅰ

—化学平衡—

担当教員名 教授 小林 典裕

クラス	1	科目コード	4660
クラス	2	科目コード	4660
クラス	3	科目コード	4660
クラス	4	科目コード	4660
クラス	5	科目コード	4660
クラス	6	科目コード	4660

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

医薬品の化学分析において、溶液中の酸塩基反応、沈殿生成反応、錯体生成反応、酸化還元反応が重要な役割を果たしている。本講義では、これら化学反応の理解に必須となる化学平衡と、その定量分析への応用について論じる。

## 到達目標 (SBOs)

1. 酸・塩基の定義と酸塩基平衡について説明できる。
2. 各種水溶液の水素イオン濃度pHを計算することができる。
3. 酸塩基滴定の原理を説明し、滴定曲線を作成することができる。
4. 沈殿平衡について説明できる。
5. 沈殿滴定の原理を説明し、滴定曲線を作成することができる。
6. 錯体、キレート物の定義と錯体生成平衡について説明できる。
7. キレート滴定の原理を説明し、滴定曲線を作成することができる。
8. 酸化・還元物の定義と酸化還元平衡について説明できる。
9. 酸化還元滴定の原理を説明し、滴定曲線を作成することができる。
10. 分配平衡とイオン交換平衡について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |         |           |  |
|---------|-----------|--|
| 1.      | 分析化学概論    | 薬学領域における分析化学の役割と方法論                                  |
| 2.      | 酸塩基平衡 (1) | 酸・塩基の定義、共役酸塩基対、酸塩基平衡と電離定数、弱酸・弱塩基の分子形/イオン形存在比のpHによる変化 |
| 3.~5.   | 酸塩基平衡 (2) | 各種の酸、塩基及び塩の水溶液のpH計算法                                 |
| 6.      | 酸塩基滴定の基礎  | 酸塩基滴定の理論、滴定曲線の作成と当量点の決定法                             |
| 7.      | 沈殿平衡      | 難溶性塩の沈殿平衡と溶解度積                                       |
| 8.      | 沈殿滴定の基礎   | 沈殿滴定の理論、滴定曲線の作成と当量点の決定法                              |
| 9.      | 錯体生成平衡    | 金属錯体の種類、錯体生成平衡と安定度定数                                 |
| 10.     | キレート滴定の基礎 | キレート滴定の理論、滴定曲線の作成と当量点の決定法                            |
| 11.~12. | 酸化還元平衡    | 酸化・還元物の定義、共役酸化還元対、酸化還元電位、酸化還元平衡と平衡定数                 |
| 13.     | 酸化還元滴定の基礎 | 酸化還元滴定の理論、滴定曲線の作成と当量点の決定法                            |
| 14.     | 分配平衡      | 分配平衡と溶媒抽出への応用  |
| 15.     | イオン交換平衡   | イオン交換反応の化学平衡と物質の分離・精製への応用                            |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

『NEW薬品分析化学』 (小林典裕、藤井洋一編著、廣川書店)

## 指定参考書

1. 『よくある質問 分析化学の基礎』 (澤田 清、山田眞吉著、講談社)
2. 『化学サポートシリーズ 酸と塩基』 (水町邦彦著、裳華房)
3. 『分析化学 (第3版)』 (前田昌子、今井一洋編、丸善)

## 学生へのアドバイス

化学平衡に関する基本的な計算問題を解けることが求められます。復習が必須。質問は随時受け付けます。

# 無機・錯体化学

クラス	1	科目コード	4710
クラス	2	科目コード	4710
クラス	3	科目コード	4710
クラス	4	科目コード	4710
クラス	5	科目コード	4710
クラス	6	科目コード	4710

担当教員名 教授 中山 尋量  
教授 津波古 充朝

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

基本的な無機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 代表的な典型元素を列挙し、その特徴を説明できる。
2. 代表的な遷移元素を列挙し、その特徴を説明できる。
3. 代表的な無機医薬品を列挙できる。
4. 代表的な錯体の名称、立体構造、基本的性質を説明できる。
5. 錯体の安定性、反応性について説明できる。
6. 医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 1. 無機化合物 | 代表的な典型元素とその特徴           |
| 2. 無機化合物 | 代表的な遷移元素とその特徴           |
| 3. 無機化合物 | 窒素酸化物の名称、構造、性質          |
| 4. 無機化合物 | イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ化合物  |
| 5. 無機化合物 | 活性酸素の構造、電子配置と性質         |
| 6. 無機化合物 | 亜酸化窒素・一酸化窒素の電子配置と性質     |
| 7. 無機化合物 | 代表的な無機医薬品               |
| 8. 無機化合物 | 生体必須元素と生理作用             |
| 9. 錯体    | 代表的な錯体の名称、立体構造、基本的性質    |
| 10. 錯体   | 配位結合                    |
| 11. 錯体   | 代表的な配位子、配位基、キレート試薬      |
| 12. 錯体   | 錯体の安定度定数と配位子のキレート効果     |
| 13. 錯体   | 錯体の反応性                  |
| 14. 錯体   | 医薬品として用いられる代表的な錯体       |
| 15. 錯体   | 生体内に存在する代表的な金属イオンと錯体の機能 |

## 成績評価方法

出席および試験によって総合的に評価する。

## 教科書

薬学のための無機化学 (桜井 弘編著) 化学同人

## 指定参考書

ライフサイエンス系の無機化学 (八木 康一編著) 三共出版

## 学生へのアドバイス

授業の内容 (ノート) を中心に十分復習すること。

## 有機化学Ⅰ

## —有機化合物の基本的性質—

担当教員名 教授 棚橋 孝雄  
講師 竹仲 由希子

クラス	1	科目コード	4720
クラス	2	科目コード	4720
クラス	3	科目コード	4720
クラス	4	科目コード	4720
クラス	5	科目コード	4720
クラス	6	科目コード	4720

1 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

基本的な有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。また脂肪族炭化水素の性質を理解するために、その基本構造、物理的性質に関する基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 基本的な化合物を命名し、ルイス構造で書くことができる。
2. 軌道の混成について説明できる。
3. 炭素原子を含む反応中間体（カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル）の構造と性質を説明できる。
4. Brønsted-LowryあるいはLewisによる酸と塩基の定義について説明できる。
5. アルコール、チオール、カルボン酸の酸性度を比較して説明できる。
6. 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の性質について説明できる。
7. 基本的な炭化水素、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、アミンおよびアルキル基をIUPACの規則に従って命名することができる。
8. アルカン、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、アミンの基本的な物性について説明できる。
9. アルカンの構造異性体を図示し、その数を示すことができる。
10. エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。
11. シクロアルカンの環の歪みを決定する要因について説明できる。
12. シクロヘキサンのいす形配座と舟形配座を図示できる。
13. シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向（アキシアル、エクアトリアル）を図示できる。
14. 置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。
15. 構造異性体と立体異性体について説明できる。
16. キラリティーと光学活性を概説できる。
17. エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。
18. ラセミ体とメソ化合物について説明できる。
19. 絶対配置の表示法を説明できる。
20. Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。
21. 光学活性化合物を得るための代表的な手法（光学分割）を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                                     |
|----------------|-------------------------------------|
| 1. 電子構造と結合 1   | イオン結合、共有結合、極性共有結合                   |
| 2. 電子構造と結合 2   | 構造の表示、シグマ結合とパイ結合                    |
| 3. 電子構造と結合 3   | 混成軌道                                |
| 4. 酸と塩基 1      | 酸と塩基の基礎                             |
| 5. 酸と塩基 2      | 酸性度に及ぼす構造の影響                        |
| 6. 共鳴 1        | 非局在化電子と共鳴の基礎                        |
| 7. 共鳴 2        | 電子の非局在化による安定性                       |
| 8. 有機化合物の基礎 1  | 炭化水素、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、アミンの命名法   |
| 9. 有機化合物の基礎 2  | 炭化水素、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、アミンの物理的性質 |
| 10. 有機化合物の基礎 3 | アルカン、シクロアルカンの立体配座と安定性               |
| 11. 有機化合物の基礎 4 | 置換シクロヘキサンの立体配座                      |
| 12. 立体化学 1     | シストランス異性とE,Z表記                      |
| 13. 立体化学 2     | キララル中心と立体配置のR,S表記                   |
| 14. 立体化学 3     | 複数の不斉炭素を持つ異性体                       |
| 15. 立体化学 4     | エナンチオマーの分離と識別                       |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

ブルース有機化学 (第5版) 上・下 (大船泰史ら監訳) 化学同人

## 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ (日本薬学会編) 第3巻 『化学系薬学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』 東京化学同人  
ソロモンの新有機化学 (第7版) 上・下 (花房昭静ら訳) 廣川書店

## 学生へのアドバイス

この科目の範囲内に限定せず、関連の有機化学系科目の内容も参照しながら、教科書や参考書をよく読みこむことが重要です。原則的に質問は随時受け付ける。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 有機化学Ⅱ

## —有機化合物の反応Ⅰ—

担当教員名 教授 和田 昭盛  
教授 内藤 猛章

クラス	1	科目コード	4730
クラス	2	科目コード	4730
クラス	3	科目コード	4730
クラス	4	科目コード	4730
クラス	5	科目コード	4730
クラス	6	科目コード	4730

1年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

脂肪族炭化水素の性質を理解するために、それぞれの基本構造、物理的性質、反応性に関する基本的知識を修得する。

官能基が有機化合物に与える効果を理解するために、官能基を有する化合物について、反応性およびその他の性質に関する基本的知識を修得する。

個々の官能基を導入、変換するために、それらに関する基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. アルケンへの代表的なシン型付加反応を列挙し、反応機構を説明できる。
2. アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性（アンチ付加）を説明できる。
3. アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性（Markovnikov則）について説明できる。
4. カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。
5. 共役ジエンへのハロゲンの付加反応の特徴について説明できる。
6. アルケンの酸化的開裂反応を列挙し、構造解析への応用について説明できる。
7. アルキンの代表的な反応を列挙し、説明できる。
8. 有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。
9. 求核置換反応（SN1およびSN2反応）の機構について、立体化学を含めて説明できる。
10. ハロゲン化アルキルの脱ハロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性（Zaytzeff則）を説明できる。
11. 有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。
12. Diels-Alder反応の特徴を具体例を用いて説明できる。
13. 代表的な位置選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。
14. 代表的な立体選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 有機化学反応        | 反応の分類と特徴                 |
| 2. アルケンの反応 1     | アンチ付加反応                  |
| 3. アルケンの反応 2     | 付加反応の立体化学 (Markovnikov則) |
| 4. アルケンの反応 3     | シン付加反応                   |
| 5. アルケンの反応 4     | 酸化的開裂反応                  |
| 6. アルキンの反応 1     | 付加反応 (アルケンとの相違)          |
| 7. アルキンの反応 2     | アセチリドイオンの反応              |
| 8. ジエンの反応 1      | 共役ジエンへの付加反応              |
| 9. ジエンの反応 2      | Diels-Alder反応            |
| 10. ハロゲン化合物の反応 1 | 求核置換反応 SN1反応             |
| 11. ハロゲン化合物の反応 2 | 同上 SN2反応                 |
| 12. ハロゲン化合物の反応 3 | 脱離反応 E1反応                |
| 13. ハロゲン化合物の反応 4 | 同上 E2反応                  |
| 14. ラジカルの反応 1    | ラジカルのアルケンへの付加反応          |
| 15. ラジカルの反応 2    | ラジカルの置換反応                |

### 成績評価方法

定期試験 100点

### 教科書

ブルース 有機化学 (第5版) 上・下 (大船泰史ら監訳) 化学同人  
パザパ薬学演習シリーズ 4 (上西、和田) 『有機化学演習』 京都廣川書店

## 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ3（日本薬学会編）「化学系薬学I. 化学物質の性質と反応」（東京化学同人）  
ソロモン有機化学（第7版）上・下（花房昭静ら監訳）廣川書店

## 学生へのアドバイス

矢印を使って反応機構が書けるように反復練習を心がけること。  
質問は、随時受け付ける。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

## 有機化学Ⅲ

## —有機化合物の反応2—

クラス	1	科目コード	4740
クラス	2	科目コード	4740
クラス	3	科目コード	4740
クラス	4	科目コード	4740
クラス	5	科目コード	4740
クラス	6	科目コード	4740

担当教員名 教授 棚橋 孝雄  
講師 西村 克己

1年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

芳香族炭化水素の性質を理解するために、それぞれの基本構造、物理的性質、反応性に関する基本的知識を修得する。また官能基が有機化合物に与える効果を理解するために、官能基を有する有機化合物について、反応性およびその他の性質に関する基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. アルコール類の代表的な性質と反応性を列挙し、説明できる。
2. エーテル類の代表的な性質と反応性を列挙し、説明できる。
3. エポキシド類の開環反応における立体特異性と位置選択性を説明できる。
4. 代表的な芳香族化合物を列挙し、その物性と反応性を説明できる。
5. 芳香族性 (Hückel則) の概念を説明できる。
6. 芳香族化合物の求電子置換反応の機構を説明できる。
7. 芳香族化合物の求電子置換反応の反応性および配向性に及ぼす置換基の効果を説明できる。
8. 芳香族化合物の代表的な求核置換反応について説明できる。
9. フェノール類の代表的な性質と反応性を列挙し、説明できる。
10. アルコール、チオール、フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。
11. フェノールおよびその誘導体の酸性度の影響を及ぼす因子を列挙し、説明できる。
12. アミン類の代表的な性質と反応性を列挙し、説明できる。
13. 含窒素化合物の塩基性を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. アルコール 1       | アルコールの置換反応               |
| 2. アルコール 2       | アルコールの脱離反応と酸化            |
| 3. エーテル          | エーテルの置換反応                |
| 4. エポキシド         | エポキシドの開環反応               |
| 5. 含硫黄化合物        | 含硫黄化合物の反応                |
| 6. 芳香族化合物 1      | ベンゼンの構造と安定性              |
| 7. 芳香族化合物 2      | 芳香族性 (Hückel則)           |
| 8. 芳香族化合物 3      | ベンゼンの求電子置換反応             |
| 9. 芳香族化合物 4      | 置換ベンゼンの求電子置換反応           |
| 10. 芳香族化合物 5     | 芳香族求電子置換反応の反応性と配向性       |
| 11. 芳香族化合物 6     | アレージアゾニウム塩の生成と反応         |
| 12. 芳香族化合物 7     | 芳香族求核置換反応とナフタレンの求電子置換反応  |
| 13. 芳香族化合物 8     | pKaに及ぼす置換基の効果            |
| 14. アミンと複素環化合物 1 | 含窒素化合物の塩基性とアミンの脱離反応、転位反応 |
| 15. アミンと複素環化合物 2 | 複素環化合物の性質および反応           |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

ブルース有機化学 (第5版) 上・下 (大船泰史ら訳) 化学同人

## 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ (日本薬学会編) 第3巻『化学系薬学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ』 東京化学同人  
ソロモンの新有機化学 (第7版) 上・下 (花房昭静ら訳) 廣川書店

## 学生へのアドバイス

この科目の範囲内に限定せず、関連の有機化学系科目の内容も参照しながら、教科書や参考書をよく読みこむことが重要です。原則的に質問は随時受け付ける。



## 薬用資源学

クラス	1	科目コード	4810
クラス	2	科目コード	4810
クラス	3	科目コード	4810
クラス	4	科目コード	4810
クラス	5	科目コード	4810
クラス	6	科目コード	4810

担当教員名 講師 土反 伸和

1年次 前期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

薬として用いられる動物・植物・鉱物由来の生薬の性質を基礎から理解することを目的とする。そのために、薬用資源の基原、性状、含有成分、生合成、品質評価、歴史的背景などについての基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 代表的な薬用植物の形態を観察する。
2. 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを列挙できる。
3. 代表的な薬用植物に含有される薬効成分を説明できる。
4. 動物、鉱物由来の医薬品について具体例を挙げて説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 1. 総論            | 薬用植物の資源と成分に関して説明できる          |
| 2. 細胞            | 植物細胞の基本的な構造を説明できる            |
| 3. 組織            | 植物の組織系について説明できる              |
| 4. 茎、葉           | 茎と葉、およびこれらを用いる生薬について説明できる    |
| 5. 根、花           | 根と花、およびこれらを用いる生薬について説明できる    |
| 6. 果実、種子         | 果実と種子、およびこれらを用いる生薬について説明できる  |
| 7. 薬用植物の生産と利用    | 薬用植物の栽培、育種と生産、加工について説明できる    |
| 8. 健康食品・健康被害     | 薬用植物に関連する健康被害について説明できる       |
| 9. バイオテクノロジー     | バイオテクノロジーを用いた有用物質生産について説明できる |
| 10. 系統と分類        | 植物の分類と名称・学名を説明できる            |
| 11. 薬用植物各論 1     | 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、成分などを説明できる  |
| 12. 薬用植物各論 2     | 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、成分などを説明できる  |
| 13. 薬用植物各論 3     | 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、成分などを説明できる  |
| 14. 薬用植物各論 4     | 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、成分などを説明できる  |
| 15. 天然物を起源とする医薬品 | 天然物由来の医薬品について説明できる           |

## 成績評価方法

- ・定期試験 (90点)
- ・小テストと課題レポート (10点)

## 教科書

薬用植物学 (南江堂)、生薬単 (NTS)

## 指定参考書

写真で見る植物用語 (全国農村教育協会)、自分で採れる薬になる植物図鑑 (柏書房)

## 学生へのアドバイス

大学では授業の進度が早いので予習復習をしっかりと行うこと。  
薬用植物園に行き、実際に薬用植物を観察して五感で感じて覚えること。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 生薬学

クラス	1	科目コード	4820
クラス	2	科目コード	4820
クラス	3	科目コード	4820
クラス	4	科目コード	4820
クラス	5	科目コード	4820
クラス	6	科目コード	4820

担当教員名 講師 西山 由美

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

自然界に存在する植物・動物・鉱物を薬として利用するために、それらの基原および部位、性状、含有成分、薬効、修治などについての基本的知識を習得する。また、医薬品としての生薬の特性を理解し、日本薬局方記載の生薬については品質評価に関しても理解を深める。

## 到達目標 (SBOs)

1. 多成分系の医薬品としての生薬を説明できる。
2. 生薬の歴史、生産と流通について概説できる。
3. 代表的な生薬の産地と基原植物および部位の関係について、具体例を挙げて説明できる。
4. 代表的な生薬の薬効と薬効成分について説明できる。
5. 生薬の同定と品質評価法について概説できる。
6. 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 生薬とは何か？生薬学とはどのような学問か？世界の伝統医学について
2. 生薬の生産と流通および法と制度について
3. 生薬の基原と使用部位、修治について
4. 生薬の品質評価と医薬品としての生薬成分について
5. 各論1：双子葉植物綱 合弁花植物由来の生薬 (1)
6. 各論2：双子葉植物綱 合弁花植物由来の生薬 (2)
7. 各論3：双子葉植物綱 離弁花植物由来の生薬 (1)
8. 各論4：双子葉植物綱 離弁花植物由来の生薬 (2)
9. 各論5：双子葉植物綱 離弁花植物由来の生薬 (3)
10. 各論6：単子葉植物綱由来の生薬
11. 各論7：裸子植物、真菌類由来の生薬
12. 各論8：動物、鉱物由来の生薬
13. 代表的な生薬の薬効や薬用部位、成分などによる分類について (1)
14. 代表的な生薬の薬効や薬用部位、成分などによる分類について (2)
15. 日本薬局方記載の生薬と関連する試験法について

## 成績評価方法

定期試験 (90点)、授業中の課題レポート (10点)

## 教科書

伝統医薬学・生薬学 (南江堂)、生薬単 (NTS)  
\*生薬単は、薬用資源学で使用したものと同一。

## 指定参考書

カラーグラフィックス (廣川書店)、  
スタンダード薬学シリーズ3 化学系薬学Ⅲ 自然が生み出す薬物 (東京化学同人)

## 学生へのアドバイス

質問は在室中ならいつでもOKです (1号館2階)。この科目の修得には覚えることがたくさんあり、また幅広い知識が要求されることもあります。学習内容を自分なりにまとめておくことを勧めます。講義では、身近な生薬もたくさん出てくるので、興味を持って聞くと理解しやすいと思います。

# 生化学 I

## —細胞構成分子—

**担当教員名** 准教授 小林 吉晴  
講師 多河 典子

クラス	1	科目コード	4920
クラス	2	科目コード	4920
クラス	3	科目コード	4920
クラス	4	科目コード	4920
クラス	5	科目コード	4920
クラス	6	科目コード	4920

1 年次 後期 必修 1 単位

### 一般目標 (GIO)

生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、機能に関する基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. グルコースの構造、性質、役割を説明できる。
2. グルコース以外の代表的な単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。
3. 代表的な多糖の構造と役割を説明できる。
4. 脂質を分類し、構造の特徴と役割を説明できる。
5. 脂肪酸の種類、役割、生合成経路を説明できる。
6. コレステロールの生合成経路と代謝を説明できる。
7. アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。
8. アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝について説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1. 糖質の種類と構造      | 単糖の種類と構造                |
| 2. 糖質の種類と構造      | 二糖、多糖の種類と構造             |
| 3. 糖質の種類、構造、機能   | 複合糖質の種類、構造と機能           |
| 4. 脂質の種類、構造、機能   | 脂肪酸、中性脂肪、ステロールの種類、構造と機能 |
| 5. 複合脂質の種類       | 構造と機能                   |
| 6. 脂質の種類、構造、機能   | ステロイドの種類、構造と機能          |
| 7. 脂質と生体膜        | 生体膜の構造と性質および機能          |
| 8. アミノ酸の種類、構造、性質 | アミノ酸の種類、構造と性質、ペプチド結合    |
| 9. 脂質代謝          | 脂肪酸の生合成、 $\beta$ 酸化     |
| 10. 脂質代謝         | 脂肪の吸収、リポタンパク質の代謝        |
| 11. 脂質代謝         | コレステロールの生合成と代謝          |
| 12. 脂質代謝         | ステロイドホルモンの生合成           |
| 13. アミノ酸代謝       | タンパク質の消化、吸収とアミノ酸の同化と異化  |
| 14. アミノ酸代謝       | アンモニアの代謝と尿素サイクル         |
| 15. アミノ酸代謝       | 先天性代謝異常症                |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

New生化学 (富田基郎 他編) 廣川書店

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

10号館6階 病態生化学研究室  
復習し、講義内容を整理する。講義は連続性があるため毎回出席すること。  
在室中ならいつでも質問はOKです。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

# 早期体験学習

クラス	1	科目コード	5600
クラス	2	科目コード	5600
クラス	3	科目コード	5600
クラス	4	科目コード	5600
クラス	5	科目コード	5600
クラス	6	科目コード	5600

## 担当教員名

教授 棚橋 孝雄      教授 田中 研治      教授 杉山 正敏  
 教授 内田 吉昭      教授 畑 公也      教授 濱口 常男  
 准教授 松家 次朗      准教授 赤井 朋子      准教授 長谷川 豊

1 年次 通年 必修 2 単位

## 一般目標 (GIO)

医療・福祉の現状と薬剤師を取り巻く環境を理解し、薬学生として学習に対するモチベーションを高めるために、創薬・医薬品供給・医療・福祉の現場などを体験し、将来医療の担い手となる自覚を持つ。

## 到達目標 (SBOs)

1. 病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。
2. 開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。

## 授業内容 (項目・内容)

1 グループ毎に、病院または薬局などを見学し、グループで取り上げたテーマに基づいてスモールグループディスカッションを行う。  
 グループとしての見解をクラスで発表し、レポートにまとめる。また、全クラス参加の報告会でグループによる発表を行い、討議する。  
 製薬企業、福祉施設、公的機関などの見学学習も行う。  
 見学学習終了後、合同発表会を行う。

## 成績評価方法

出席、レポート、発表を総合的に判断して、評価する。

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

積極的なグループ学習への参加を求めます。

# 有機化学系 I 実習

クラス	1	科目コード	5621
クラス	2	科目コード	5621
クラス	3	科目コード	5621
クラス	4	科目コード	5621
クラス	5	科目コード	5621
クラス	6	科目コード	5621

担当教員名 講師 竹仲 由希子  
講師 西村 克己

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

簡単な有機化合物の合成、分離、精製、および同定法を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 簡単なガラス細工を修得する。
2. 薄層クロマトグラフにおいて、化合物を分析し、Rf値の違いを試料の吸着力および移動層の溶離力より説明できる。
3. カラムクロマトグラフィーにより化合物を分離、精製できる。
4. 分液ロートを正しく使用できる。
5. 簡単な有機化合物を合成できる。
6. 吸引ろ過、自然ろ過法を修得する。
7. 融点の測定ができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. ガラス細工<br>薄層クロマトグラフィー | 実験に使用する簡単なガラス器具を製作<br>官能基の異なる芳香族化合物の分析 |
| 2. フルオレノールの合成           | フルオレノンからフルオレノールへの還元                    |
| 3. カラムクロマトグラフィー         | フルオレノンとフルオレノールの分離                      |
| 4. 安息香酸メチルの合成           | 安息香酸のメチル化                              |
| 5. 3-ニトロ安息香酸メチルの合成      | 安息香酸メチルのニトロ化                           |
| 6. ジベンザルアセトンの合成         | ベンズアルデヒドとアセトンのアルドール縮合                  |

## 成績評価方法

出席点 (60点)  
平常点 (40点) 配点内訳: レポート、課題、態度など

## 教科書

有機化学系I実習書 (薬化学研究室編)

## 指定参考書

『わかりやすい化学実験』(津波古充朝 他著) 廣川書店

## 学生へのアドバイス

一つひとつの実験操作の意味を考えながら、丁寧に実習してください。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

# 基礎化学実習

クラス	1	科目コード	5611
クラス	2	科目コード	5611
クラス	3	科目コード	5611
クラス	4	科目コード	5611
クラス	5	科目コード	5611
クラス	6	科目コード	5611

**担当教員名** 教授 中山 尋量  
 助教 林 亜紀  
 助教 前田 秀子

1 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

実験器具の正確な名称とその正しい使い方、実験装置の正しい組み立て方とその操作法など化学実験の基本を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 化学実験を行うに際しての注意点を説明できる。
2. 簡単なガラス細工を修得する。
3. 実験器具の正しい名称と使い方を修得する。
4. 昇華、再結晶、蒸留などの基本的な精製法を修得する。
5. 簡単な無機医薬品を合成する。
6. 溶液の水素イオン濃度 (pH) を測定できる。
7. 目的の濃度の溶液を調製できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 1. 化学実験の注意点    | 化学実験における事故防止のための注意           |
| 2. 昇華法による固体の精製 | 昇華法による固体の精製                  |
| 3. ガラス細工       | ガラス細工の基本と簡単なガラス器具の製作         |
| 4. ホウ酸の合成と精製   | ホウ酸の合成と再結晶による精製              |
| 5. アセトアニリドの合成  | アセトアニリドの合成と再結晶による精製          |
| 6. 蒸留による液体の精製  | 酢酸エチルの蒸留                     |
| 7. 中和滴定        | 溶液の調製、pH 測定による滴定曲線の作製と緩衝液の理解 |

## 成績評価方法

レポートなど提出物 (50点) 配点内容: 課題等提出物、最終レポートで評価する。  
 平常点 (50点) 配点内容: 出席と受講 (実習) 態度で評価する。

## 教科書

基礎化学実習書 (機能性分子化学研究室編)  
 わかりやすい化学実験 (津波古、内藤他) 廣川書店

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

無断欠席、遅刻厳禁です。実習内容をよく頭に入れて実習をすること。

# 初期体験臨床実習

—チーム医療を学ぶ—

**担当教員名** 教授 北河 修治 教授 中山 尋量 教授 杉山 正敏  
教授 江本 憲昭 講師 猪野 彩

クラス	1	科目コード	5901
クラス	2	科目コード	5901
クラス	3	科目コード	5901
クラス	4	科目コード	5901
クラス	5	科目コード	5901
クラス	6	科目コード	5901

1年次 通年 選択 1単位

## 一般目標 (GIO)

神戸大学医学部との連携により医学科学生、保健学科学生と混成チームを構成して、保健医療の実践現場を訪問し患者、医師、薬剤師、看護師など様々な人に接することにより、チーム医療の実際を知ること、多職種間医療人協働（インタープロフェSSIONナルワーク：IPW）の重要性を認識する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 患者中心の医療において、各専門職の役割や協働の重要性について述べることができる。
2. 病院での患者や実習指導者などと意見交換を行うことで、薬剤師の専門職としての社会的使命を把握する。

## 授業内容 (項目・内容)

1. オリエンテーション
  2. グループ学習
  3. 患者代表者による講義
  4. チーム医療の実際（医学部医学科学生、保健学科学生との混成チームによる施設見学）
  5. 見学成果のまとめ
  6. グループ別討論
  7. 合同発表会
- \*定員50名

## 成績評価方法

出席調査書、レポート、発表を総合的に判断して評価する。

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

神戸大学医学部学生とのグループ学習に積極的に参加してください。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生





# 2年次生

統計学Ⅰ(1,3グループ) .....	155	アジア文化論 .....	196
統計学Ⅰ(2,4グループ) .....	156	アメリカ文化論 .....	197
統計学Ⅱ(1,3グループ) .....	157	医療と人間 .....	198
統計学Ⅱ(2,4グループ) .....	158	現代の音楽 .....	199
英語Ⅴ(1,5クラス) .....	159	消費者行動論 .....	200
英語Ⅴ(2,6クラス) .....	160	薬局経営論 .....	201
英語Ⅴ(3,4クラス) .....	161	コミュニケーション論 .....	202
英語Ⅵ(1,5グループ) .....	162	異文化理解 .....	203
英語Ⅵ(2,6グループ) .....	163	ドイツ語Ⅰ .....	204
英語Ⅵ(3,7グループ) .....	164	中国語Ⅰ .....	205
英語Ⅵ(4,8グループ) .....	165	韓国語Ⅰ .....	206
英語Ⅶ(1,5クラス) .....	166	ドイツ語Ⅱ .....	207
英語Ⅶ(2,6クラス) .....	167	中国語Ⅱ .....	208
英語Ⅶ(3,4クラス) .....	168	韓国語Ⅱ .....	209
英語Ⅷ(1,5グループ) .....	169	社会薬学Ⅲ .....	210
英語Ⅷ(2,6グループ) .....	170	物理化学Ⅱ .....	211
英語Ⅷ(3,7グループ) .....	171	物理化学Ⅲ .....	212
英語Ⅷ(4,8グループ) .....	172	物理化学Ⅳ .....	213
総合文化演習Ⅰ .....	173	分析化学Ⅱ .....	214
総合文化演習Ⅰ .....	174	有機化学Ⅲ .....	215
総合文化演習Ⅰ .....	175	有機化学Ⅳ .....	216
総合文化演習Ⅰ .....	176	生物有機化学 .....	217
総合文化演習Ⅰ .....	177	生薬学Ⅰ .....	218
総合文化演習Ⅰ .....	178	微生物学Ⅰ .....	219
総合文化演習Ⅰ .....	179	分子生物学Ⅰ .....	220
総合文化演習Ⅰ .....	180	生化学Ⅱ .....	221
総合文化演習Ⅰ .....	181	生化学Ⅲ .....	222
総合文化演習Ⅰ .....	182	微生物学Ⅱ .....	223
総合文化演習Ⅰ .....	183, 184	衛生薬学Ⅰ .....	224
総合文化演習Ⅰ .....	185	薬理学Ⅰ .....	225
総合文化演習Ⅰ .....	186	生物学系Ⅰ実習 .....	226
現代社会論 .....	187	有機化学系Ⅰ実習 .....	227
英語の歴史 .....	188, 189	分析化学系実習 .....	228
現代広告論 .....	190, 191	生薬化学実習 .....	229
社会心理学 .....	192	物理化学系実習 .....	230
ヒューマンケア論入門 .....	193	化学系基礎演習Ⅰ .....	231
日本文化論 .....	194	化学系基礎演習Ⅱ .....	232
言語と文化 .....	195	医薬品物語 .....	233



## 統計学 I

グループ	1	科目コード	0020
グループ	3	科目コード	0022

担当教員名 教授 内田 吉昭

2 年次 前期 必修 1 単位

### 一般目標 (GIO)

統計学は今日、医薬品の品質管理や薬効評価を含めて広く活用されており、薬学の分野でその統計的技術はますます重要視されている。この講義では薬学においてよく使われる統計学の基礎を習得し、それらに応用するための基本的技能を身につける。

### 到達目標 (SBOs)

1. 確率の概念を理解する。
2. 確率変数と確率分布の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
3. 母集団と標本の概念を理解する。
4. 統計量の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
5. 離散的な確率分布 (2項分布、ポアソン分布) の概念を理解し、計算ができる。
6. 正規分布の概念を理解し、分布表を用いて計算ができる。
7. 正規分布を用いて、推定ができる。
8. 検定の概念を理解し、帰無仮説・対立仮説の意味を説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| 1. はじめに   | 統計学における考え方                     |
| 2. 確率     | 確率に関する基本的概念、確率の計算              |
| 3. 母集団と標本 | 母集団と標本の概念、標本データの整理、標本統計量       |
| 4. 確率分布   | 確率変数と確率分布、平均と分散、標準偏差           |
| 5. 2 項分布  | 2項分布の考え方と計算                    |
| 6. ポアソン分布 | ポアソン分布の考え方と計算                  |
| 7. 正規分布   | 連続的確率変数と密度関数、正規分布の考え方と計算、正規分布表 |
| 8. 正規分布   | 2項分布やポアソン分布を正規分布で近似する          |
| 9. 中心極限定理 | 中心極限定理の解説                      |
| 10. 推定    | 区間推定と信頼水準、母平均の推定とその計算          |
| 11. 検定    | 検定の考え方                         |
| 12. 仮説    | 帰無仮説と対立仮説、過誤、有意水準              |
| 13. t 検定  | 自由度、平均値の検定                     |
| 14. t 検定  | 2 群の平均値の比較検定                   |
| 15. 検出力   | 標本数と検出力                        |

### 成績評価方法

- ・ 定期試験 (100点)
- ・ 平常点 (15点) 配点内訳: 小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし、100点を超える場合には100点とする。

### 教科書

ムイスリ出版「生物統計学」

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

授業に出席し、説明を聞き、理解に努めること。後刻、教科書を読み、復習すること。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

## 統計学 I

グループ	2	科目コード	0021
グループ	4	科目コード	0023

担当教員名 講師（非常勤） 味村 良雄

2 年次 前期 必修 1 単位

### 一般目標 (GIO)

統計学は今日、医薬品の品質管理や薬効評価を含めて広く活用されており、薬学の分野でその統計的技術はますます重要視されている。この講義では薬学においてよく使われる統計学の基礎を習得し、それらに応用するための基本的技能を身につける。

### 到達目標 (SBOs)

1. 確率の概念を理解する。
2. 確率変数と確率分布の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
3. 母集団と標本の概念を理解する。
4. 統計量の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
5. 離散的な確率分布（2項分布、ポアソン分布）の概念を理解し、計算ができる。
6. 正規分布の概念を理解し、分布表を用いて計算ができる。
7. 正規分布を用いて、推定ができる。
8. 検定の概念を理解し、帰無仮説・対立仮説の意味を説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| 1. はじめに   | 統計学における考え方                     |
| 2. 確率     | 確率に関する基本的概念、確率の計算              |
| 3. 母集団と標本 | 母集団と標本の概念、標本データの整理、標本統計量       |
| 4. 確率分布   | 確率変数と確率分布、平均と分散、標準偏差           |
| 5. 2 項分布  | 2項分布の考え方と計算                    |
| 6. ポアソン分布 | ポアソン分布の考え方と計算                  |
| 7. 正規分布   | 連続的確率変数と密度関数、正規分布の考え方と計算、正規分布表 |
| 8. 正規分布   | 2項分布やポアソン分布を正規分布で近似する          |
| 9. 中心極限定理 | 中心極限定理の解説                      |
| 10. 推定    | 区間推定と信頼水準、母平均の推定とその計算          |
| 11. 検定    | 検定の考え方                         |
| 12. 仮説    | 帰無仮説と対立仮説、過誤、有意水準              |
| 13. t 検定  | 自由度、平均値の検定                     |
| 14. t 検定  | 2 群の平均値の比較検定                   |
| 15. 検出力   | 標本数と検出力                        |

### 成績評価方法

- ・ 定期試験 (100点)
- ・ 平常点 (15点) 配点内訳: 小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし、100点を超える場合には100点とする。

### 教科書

ムイスリ出版「生物統計学」

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

授業に出席し、説明を聞き、理解に努めること。後刻、教科書を読み、復習すること。

## 統計学Ⅱ

グループ	1	科目コード	0030
グループ	3	科目コード	0032

担当教員名 講師（非常勤） 味村 良雄

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

統計学は今日、医薬品の品質管理や薬効評価を含めて広く活用されており、薬学の分野でその統計的技術はますます重要視されている。この講義では薬学においてよく使われる統計学の基礎を習得し、それらに応用するための基本的技能を身につける。

### 到達目標 (SBOs)

1. カイ2乗検定の意味を理解し、計算によって検定ができる。
2. 分散分析の概念を理解し、計算によって検定ができる。
3. 最小2乗法・回帰直線の概念を理解し、推定や検定ができる。
4. 相関分析の概念を理解し、相関係数を計算によって求めることができる。
5. いくつかのノンパラメトリックな検定を理解する。
6. 生存時間、生存率の推定ができる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| 1. カイ2乗検定 | 母分散の推定と検定、分割表       |
| 2. カイ2乗検定 | 適合度の検定              |
| 3. カイ2乗検定 | 独立性の検定、フィッシャーの直接確率法 |
| 4. F検定    | 母分散の比較、実験計画と無作為化    |
| 5. 分散分析   | 1 因子分散分析            |
| 6. 分散分析   | 2 因子分散分析 (その1)      |
| 7. 分散分析   | 2 因子分散分析 (その2)      |
| 8. 回帰直線   | 最小2乗法               |
| 9. 回帰直線   | 回帰直線                |
| 10. 回帰直線  | 推定と検定               |
| 11. 相関分析  | 相関係数                |
| 12. 相関分析  | 順位相関                |
| 13. 符号検定  | ノンパラメトリック検定         |
| 14. 符号検定  | ウィルコクソン検定           |
| 15. 生存時間  | Kaplan-Meierの方法     |

### 成績評価方法

- ・定期試験 (100点)
- ・平常点 (15点) 配点内訳：小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。ただし、100点を超える場合には100点とする。

### 教科書

ムイスリ出版「生物統計学」

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

授業に出席し、説明を聞き、理解に努めること。後刻、教科書を読み、復習すること。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 統計学Ⅱ

グループ	2	科目コード	0031
グループ	4	科目コード	0033

担当教員名 教授 内田 吉昭

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

統計学は今日、医薬品の品質管理や薬効評価を含めて広く活用されており、薬学の分野でその統計的技術はますます重要視されている。この講義では薬学においてよく使われる統計学の基礎を習得し、それらに応用するための基本的技能を身につける。

### 到達目標 (SBOs)

1. カイ2乗検定の意味を理解し、計算によって検定ができる。
2. 分散分析の概念を理解し、計算によって検定ができる。
3. 最小2乗法・回帰直線の概念を理解し、推定や検定ができる。
4. 相関分析の概念を理解し、相関係数を計算によって求めることができる。
5. いくつかのノンパラメトリックな検定を理解する。
6. 生存時間、生存率の推定ができる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| 1. カイ2乗検定 | 母分散の推定と検定、分割表       |
| 2. カイ2乗検定 | 適合度の検定              |
| 3. カイ2乗検定 | 独立性の検定、フィッシャーの直接確率法 |
| 4. F検定    | 母分散の比較、実験計画と無作為化    |
| 5. 分散分析   | 1 因子分散分析            |
| 6. 分散分析   | 2 因子分散分析 (その1)      |
| 7. 分散分析   | 2 因子分散分析 (その2)      |
| 8. 回帰直線   | 最小2乗法               |
| 9. 回帰直線   | 回帰直線                |
| 10. 回帰直線  | 推定と検定               |
| 11. 相関分析  | 相関係数                |
| 12. 相関分析  | 順位相関                |
| 13. 符号検定  | ノンパラメトリック検定         |
| 14. 符号検定  | ウィルコクソン検定           |
| 15. 生存時間  | Kaplan-Meierの方法     |

### 成績評価方法

- ・定期試験 (100点)
- ・平常点 (15点) 配点内訳: 小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし、100点をを超える場合には100点とする。

### 教科書

ムイスリ出版「生物統計学」

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

授業に出席し、説明を聞き、理解に努めること。後刻、教科書を読み、復習すること。

## 英語V

クラス	1	科目コード	0351
クラス	5	科目コード	0355

担当教員名 教授 田中 研治

2 年次 前期 必修 1 単位

### 一般目標 (GIO)

「理系の学生には理系の教材を」という主旨で、自然科学的な内容を中心に扱う理系英語の読解力を向上させる。同時に、それぞれの分野に特有な語彙や表現を修得する。将来薬学英语などの文献を読むために必要となる理系英語の基本は語彙力である。英文の書き方についての実践的技能の修得も目指す。

### 到達目標 (SBOs)

1. 自然科学系英文の内容を正確に理解し、その文意や大意を説明できる。
2. 日常的に使用される単語が、理系英語の文章ではどのような意味用法で使用されているかを説明できる。
3. 自然科学の諸分野で使用される単位、数値、現象などにあたる基本的な英語表現の読み書きができる。
4. 英語で論文やレポートを書くために必要な基本構文を使用できる。

### 授業内容 (項目・内容)

1. ~2. 授業の進め方ガイダンス、Chapter 1: Early Life on Earth
3. ~4. Chapter 2: Why Did Dinosaurs Become Extinct?
5. ~6. Chapter 5: Sex Change
7. ~8. Chapter 6: Invasive Species
9. ~10. Chapter 9: Prions
11. ~12. Chapter 10: Autism
13. ~14. Chapter 13: Fresh Water Crisis
15. 前期の総まとめ

### 成績評価方法

1. 定期試験 (80点)
2. 平常点 (20点) 配点内訳: 出席、受講態度、提出課題 (各章ごとの語彙力小テスト)

### 教科書

Science Views 『最新科学を知る』(成美堂)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

必ず辞書を使用して予習・復習を行い、自分専用のノートを作成すること。創意工夫によるノート作りで飛躍的に英語力は伸びる。出席を継続すること。質問は随時受け付ける。この授業の特徴となっている、演習問題を組み込んだ好評の全文和訳プリントもこれまでと同様に配布するので、各自その効果的使用方法を学習していただきたい。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語V

クラス	2	科目コード	0352
クラス	6	科目コード	0356

担当教員名 准教授 赤井 朋子

2年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

英語で書かれた評論文の講読を通して、英文読解力の向上を目指す。特に、アカデミック・リーディングに必要な論理的な読み方に慣れるように訓練することと、この種の英文においてよく使用される構文や語法、語彙の力をさらに深めることに重点を置く。

### 到達目標 (SBOs)

1. 英文の内容を正確に理解し、その文意や大意を説明できる。
2. 論理的な展開をつかみながら英文を読むことができる。
3. 自然科学の諸分野で使用される単位、数値、現象などの基本的な英語表現の読み書きができる。
4. 英語で論文やレポートを書くために必要な基本構文を使用できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |         |           |  |
|---------|-----------|--|
| 1.      | イントロダクション | 授業内容、評価方法等についての説明  |
| 2～3.    | Unit 1    | Out of Ice-Are we running out of time?                           |
| 4～5.    | Unit 2    | Extrasolar Planet-Hunting for a new Earth                        |
| 6～7.    | Unit 3    | For the Benefit of the Patient-A “new” approach in medicine      |
| 8～9.    | Unit 4    | The Tragedy of the Commons-Can we save ourselves from ourselves? |
| 10.～11. | Unit 5    | Telemedicine-Return of house calls                               |
| 12.～13. | Unit 6    | Making Music-It’s all in your head                               |
| 14.～15. | Unit 7    | Yoga-A relaxing practice   |

### 成績評価方法

・定期試験 (80点) ・平常点 (20点) 配点内訳：出席と受講態度で評価する

### 教科書

*Science in Focus* (世界を見渡す科学の眼) 成美堂

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

必ず予習をし、ノートを取りながら授業を受けると、よりよく理解できます。  
質問は講義終了後に受け付けますが、時間が足りない場合には予約にて対応します。



## 英語V

クラス	3	科目コード	0353
クラス	4	科目コード	0354

担当教員名 准教授 玉巻 欣子

2年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

自然科学系トピックを扱った理系英語の読解力を向上させる。理系英語語彙の構造・語法や文章の構造を理解し、学術論文を読むための基礎となるスキルを修得する。また文章を英語で要約し、意見を書くことができる力の向上も目指す。

### 到達目標 (SBOs)

1. 自然科学系英文の内容を正確に理解し、その文意や大意を説明できる。
2. 理系英語語彙の構造（接頭辞、接尾辞）を理解し、その意味用法を説明できる。
3. 自然科学の諸分野で使用される単位、数値、現象などにあたる基本的な英語表現の読み書きができる。
4. 英語で論文やレポートをかくために必要な基本構文を使用できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |        |         |                                   |
|--------|---------|-----------------------------------|
| 1～ 2.  | 講義概要    |                                   |
|        | Unit 1  | Energy from Foot Traffic          |
| 3～ 4.  | Unit 2  | Global Cooling                    |
| 5～ 6.  | Unit 5  | Pandemic Alert                    |
| 7～ 8.  | Unit 6  | Cosmetic Surgery                  |
| 9～10.  | Unit 17 | Nomura's Jellyfish                |
| 11～12. | Unit 18 | The World's First Cloned Mammoth? |
| 13～14. | Unit 21 | Global seed Vault                 |
| 15.    | Review  |                                   |

### 成績評価方法

1. 定期試験 (80点)、2. 平常点 (20点) 配点内訳：出席、小テストなど

### 教科書

*Science Insight* 『科学の今を探る』(成美堂)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

この授業を受けて、「学術英文論文を効率よく読むための基礎的英語力を養おう」、「英語で情報発信できるような表現力を身につけよう」など、各自で目標を設定して授業に取り組むとより大きな効果が得られます。必ず予習を行い、分からない箇所を明らかにして授業に望みましょう。質問は随時受け付けます。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語VI

グループ	1	科目コード	0361
グループ	5	科目コード	0365

担当教員名 講師（非常勤）レイ・フランクリン

2年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

This English course is primarily designed to help students increase their general oral fluency and develop their discussion skills. The textbook and supplemental materials will focus on topics concerning basic health awareness. Class work will include short reading passages and listening exercises as well as speaking activities.

### 到達目標 (SBOs)

1. To increase general oral fluency in English with particular emphasis on making quick and accurate responses to questions.
2. To expand English discussion skills with particular emphasis on expressing opinions and presenting logical arguments.
3. To improve reading and listening skills.
4. To learn and use English terms related to health awareness.

### 授業内容 (項目・内容)

1. Introductions & Course Overview
2. Lesson 1-1: Reading & Vocabulary
3. Lesson 1-2: Listening & Speaking
4. Lesson 2-1: Reading & Vocabulary
5. Lesson 2-2: Listening & Speaking
6. Lesson 4-1: Reading & Vocabulary
7. Lesson 4-2: Listening & Speaking
8. Lesson 6-1: Reading & Vocabulary
9. Lesson 6-2: Listening & Speaking
10. Lesson 8-1: Reading & Vocabulary
11. Lesson 8-2: Listening & Speaking
12. Lesson 10-1: Reading & Vocabulary
13. Lesson 10-2: Listening & Speaking
14. Study Guide/ Test Review
15. Culture Lesson

### 成績評価方法

Attendance & Participation 50%  
Quizzes, Tests & Presentation 50%

### 教科書

*Healthtalk: Health Awareness & English Conversation* (Macmillan Languagehouse)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

In class, please focus on learning to speak English quickly, clearly, and smoothly! Remember that learning English is like playing music or sports: To get better you must practice, practice, practice!! So let's enjoy practicing English together.

## 英語Ⅵ

グループ	2	科目コード	0362
グループ	6	科目コード	0366

担当教員名 講師（非常勤）ジェイムズ・ハジュンズ

2 年次 前期 必修 1 単位

### 一般目標 (GIO)

This English course is primarily designed to help students increase their general oral fluency and develop their discussion skills. The textbook and supplemental materials will focus on topics concerning basic health awareness. Class work will include short reading passages and listening exercises as well as speaking activities.

### 到達目標 (SBOs)

1. To increase general oral fluency in English with particular emphasis on making quick and accurate responses to questions.
2. To expand English discussion skills with particular emphasis on expressing opinions and presenting logical arguments.
3. To improve reading and listening skills.
4. To learn and use English terms related to health awareness.

### 授業内容 (項目・内容)

1. Introduction & Course Overview
2. Lesson 1-1:
3. Lesson 1-2:
4. Lesson 3-1:
5. Lesson 3-2:
6. Lesson 5-1:
7. Lesson 5-2:
8. Lesson 7-1:
9. Lesson 7-2:
10. Lesson 9-1:
11. Lesson 9-2:
12. Lesson 11-1:
13. Lesson 11-2:
14. Final Presentations
15. Review

### 成績評価方法

Attendance & Participation 50%  
Quizzes, Tests & Group Presentation 50%

### 教科書

*Healthtalk: Health Awareness & English Conversation* (Macmillan Languagehouse)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

Education is not the filling of a pail, but the lighting of a fire. (William Butler Yeats)  
Any questions at any time in the semester can be answered after class or sent to the following email address: jim@st.kobepharma-u.ac.jp

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語Ⅵ

グループ	3	科目コード	0363
グループ	7	科目コード	0367

担当教員名 講師（非常勤） 大深 悦子

2年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

メディア機器を利用し、聞き取り能力、発話能力や表現能力などの英語運用能力、および、音声の基礎的知識を習得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 英語の基礎的音声を聞き分けることができる。
2. 易しい英語の文章や会話を聞いて内容を理解し、要約できる。
3. 易しい英語を聞き、正しく書き取ることができる。
4. 簡単な課題発表 (Oral Presentation) を英語で行うことができる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| 1. オリエンテーション               | 授業内容・評価方法などの説明     |
| 2. Unit 1                  | Shopping           |
| 3. Unit 3                  | Entertainment      |
| 4. Unit 5                  | Hotel Stay         |
| 5. Review (1)              | [Unit 1 ~ Unit 5]  |
| 6. Unit 7                  | Sports             |
| 7. Unit 9                  | Services           |
| 8. Unit 11                 | Environment        |
| 9. Review (2)              | [Unit 7 ~ Unit 11] |
| 10. Oral presentation      | 説明・準備              |
| 11. Oral Presentations (1) | 簡単な口頭発表            |
| 12. Oral Presentations (2) | 簡単な口頭発表            |
| 13. プレゼンテーションの予備日・反省会      |                    |
| 14. Review (3)             | [Unit 1 ~ Unit 11] |
| 15. まとめ                    |                    |

### 成績評価方法

- ・定期試験 (60%)
- ・平常点 (40%) 配点内訳：[小テストと提出物 (20%)、口頭発表 (15%)、学習態度 (5%)]

### 教科書

*Aim High for the TOEIC® Test* (SEIBIDO)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問は、E-mailで行うか、講義時間の前後、あるいは予約にて対応する。

## 英語Ⅵ

グループ	4	科目コード	0364
グループ	8	科目コード	0368

担当教員名 講師（非常勤） 高木 一幸

2年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

メディア機器を利用し、聞き取り能力および発話能力などの英語運用能力や音声の基礎的知識を習得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 英語の基礎的音声を聞き分けることができる。
2. 易しい英語の文章や会話を聞いて内容を理解し、要約できる。
3. 易しい英語を聞き、正しく書き取ることができる。
4. 簡単な課題発表を英語で行うことができる。

### 授業内容 (項目・内容)

1. オリエンテーション
2. Lesson1
3. Lesson2
4. Lesson3
5. Lesson4
6. Lesson5
7. Lesson6
8. Lesson7
9. Lesson8
10. Lesson9
11. Lesson10
12. Lesson11
13. Lesson12
14. プリント使用
15. プリント使用

### 成績評価方法

- ・定期試験（60点）
- ・平常点（40点）配点内訳：出席と活動内容で評価する。

### 教科書

*Short Listening for Travel* (成美堂)  
*Essential Grammar for the TOEIC Test, Second Edition* (マクミラン ランゲージハウス)  
 毎回二冊を平行使用する。

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

開始時間厳守。着信音・振動音で授業を中断させないよう、携帯電話の電源を必ず切って授業に臨むという礼儀が求められる。質問は随時受け付ける。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語Ⅶ

クラス	1	科目コード	0371
クラス	5	科目コード	0375

担当教員名 教授 田中 研治

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

「理系の学生には理系の教材を」という主旨で、自然科学的な内容を中心に扱う理系英語の読解力を向上させる。同時に、それぞれの分野に特有な語彙や表現を修得する。将来薬学英语などの文献を読むために必要となる理系英語の基本は語彙力である。英文の書き方についての実践的技能の修得も目指す。

### 到達目標 (SBOs)

1. 自然科学系英文の内容を正確に理解し、その文意や大意を説明できる。
2. 日常的に使用される単語が、理系英語の文章ではどのような意味用法で使用されているかを説明できる。
3. 自然科学の諸分野で使用される単位、数値、現象などにあたる基本的な英語表現の読み書きができる。
4. 英語で論文やレポートを書くために必要な基本構文を使用できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- 1～2. 授業の進め方ガイダンス、Chapter 7: Animals and Magnetism
- 3～4. Chapter 8: Man's Best Friend
- 5～6. Chapter 11: Blood Transfusion
- 7～8. Chapter 12: Tackling Pandemics
- 9～10. Chapter 15: Natural Disasters
- 11～12. Chapter 16: Sustainability
- 13～14. Chapter 17: Biofuels
15. 後期の総まとめ

### 成績評価方法

1. 定期試験 (80点)
2. 平常点 (20点) 配点内訳: 出席、受講態度、提出課題 (各章ごとの語彙力小テスト)

### 教科書

Science Views 『最新科学を知る』(成美堂)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

必ず辞書を使用して予習・復習を行い、自分専用のノートを作成すること。創意工夫によるノート作りで飛躍的に英語力は伸びる。出席を継続すること。質問は随時受け付ける。この授業の特徴となっている、演習問題を組み込んだ好評の全文和訳プリントもこれまでと同様に配布するので、各自その効果的使用方法を学習していただきたい。

## 英語Ⅶ

クラス	2	科目コード	0372
クラス	6	科目コード	0376

担当教員名 准教授 赤井 朋子

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

英語で書かれた評論文の講読を通して、英文読解力の向上を目指す。特に、アカデミック・リーディングに必要な論理的な読み方に慣れるように訓練することと、この種の英文においてよく使用される構文や語法、語彙の力をさらに深めることに重点を置く。

### 到達目標 (SBOs)

1. 英文の内容を正確に理解し、その文意や大意を説明できる。
2. 論理的な展開をつかみながら英文を読むことができる。
3. 自然科学の諸分野で使用される単位、数値、現象などの基本的な英語表現の読み書きができる。
4. 英語で論文やレポートを書くために必要な基本構文を使用できる。

### 授業内容 (項目・内容)

1～ 2.	Unit 8	Forest Therapy-Healthy air from Mother Nature
3～ 4.	Unit 9	The Uncanny Valley-Some robots are just creepy
5～ 6.	Unit 10	Renewable Energy-Time to switch?
7～ 8.	Unit 11	Electric Vehicles-Getting greener all the time
9～10.	Unit 12	The Rose-High-tech beauties are on the way
11～12.	Unit 13	Biomimicry-Nature knows first and best
13～14.	Unit 14	Neglected Tropical Diseases-Victory is in our grasp
15.	まとめ	

### 成績評価方法

・定期試験 (80点) ・平常点 (20点) 配点内訳：出席と受講態度で評価する

### 教科書

*Science in Focus* (世界を見渡す科学の眼) 成美堂

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

必ず予習をし、ノートを取りながら授業を受けると、よりよく理解できます。  
質問は講義終了後に受け付けますが、時間が足りない場合には予約にて対応します。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語Ⅶ

クラス	3	科目コード	0373
クラス	4	科目コード	0374

担当教員名 准教授 玉巻 欣子

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

自然科学系トピックを扱った理系英語の読解力を向上させる。理系英語語彙の構造・語法や文章の構造を理解し、学術論文を読むための基礎となるスキルを修得する。また文章を英語で要約し、意見を書くことができる力の向上も目指す。

### 到達目標 (SBOs)

1. 自然科学系英文の内容を正確に理解し、その文意や大意を説明できる。
2. 理系英語語彙の構造（接頭辞、接尾辞）を理解し、その意味用法を説明できる。
3. 自然科学の諸分野で使用される単位、数値、現象などにあたる基本的な英語表現の読み書きができる。
4. 英語で論文やレポートをかくために必要な基本構文を使用できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |        |         |                               |
|--------|---------|-------------------------------|
| 1～ 2.  | 講義概要    |                               |
|        | Unit 3  | Geoengineering to the Rescise |
| 3～ 4.  | Unit 4  | The Satoyama Initiative       |
| 5～ 6.  | Unit 7  | Lack of Sleep Can Kill You    |
| 7～ 8.  | Unit 8  | Barefoot Jogging              |
| 9～10.  | Unit 19 | Biomimetics                   |
| 11～12. | Unit 20 | The Low-Emission Cow          |
| 13～14. | Unit 23 | Vegetable Factories           |
| 15.    | Review  |                               |

### 成績評価方法

1. 定期試験 (80点)、2. 平常点 (20点) 配点内訳：出席、小テストなど

### 教科書

*Science Insight* 『科学の今を探る』(成美堂)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

この授業を受けて、「学術英文論文を効率よく読むための基礎的英語力を養おう」、「英語で情報発信できるような表現力を身につけよう」など、各自で目標を設定して授業に取り組むとより大きな効果が得られます。必ず予習を行い、分からない箇所を明らかにして授業に望みましょう。質問は随時受け付けます。



## 英語Ⅷ

グループ	1	科目コード	0381
グループ	5	科目コード	0385

担当教員名 講師（非常勤） 大深 悦子

2 年次 後期 必修 1 単位

### 一般目標 (GIO)

メディア機器を利用し、聞き取り能力、発話能力や表現能力などの英語運用能力、および、音声の基礎的知識を習得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 英語の基礎的音声を聞き分けることができる。
2. 易しい英語の文章や会話を聞いて内容を理解し、要約できる。
3. 易しい英語を聞き、正しく書き取ることができる。
4. 簡単な課題発表 (Oral Presentation) を英語で行うことができる。

### 授業内容 (項目・内容)

1. オリエンテーション	授業内容・評価方法などの説明
2. Unit 2	Restaurant
3. Unit 4	Job Hunting
4. Unit 6	Business
5. Review (1)	[Unit 2 ~ Unit 6]
6. Unit 8	Education
7. Unit 10	Housing
8. Unit 12	Vacation
9. Review (2)	[Unit 8 ~ Unit 12]
10. Oral presentation 説明・準備	
11. Oral Presentations (1)	簡単な口頭発表
12. Oral Presentations (2)	簡単な口頭発表
13. プレゼンテーションの予備日・反省会	
14. Review (3)	[Unit 2 ~ Unit 12]
15. まとめ	

### 成績評価方法

- ・定期試験 (60%)
- ・平常点 (40%) 配点内訳：[小テストと提出物 (20%), 口頭発表 (15%), 学習態度 (5%)]

### 教科書

*Aim High for the TOEIC® Test* (SEIBIDO)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問は、E-mailで行うか、講義時間の前後、あるいは予約にて対応する。

## 英語Ⅷ

グループ	2	科目コード	0382
グループ	6	科目コード	0386

担当教員名 講師（非常勤） 高木 一幸

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

メディア機器を利用し、聞き取り能力および発話能力などの英語運用能力や音声の基礎的知識を習得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 英語の基礎的音声を聞き分けることができる。
2. 易しい英語の文章や会話を聞いて内容を理解し、要約できる。
3. 易しい英語を聞き、正しく書き取ることができる。
4. 簡単な課題発表を英語で行うことができる。

### 授業内容 (項目・内容)

1. オリエンテーション
2. Lesson13
3. Lesson14
4. Lesson15
5. Lesson16
6. Lesson17
7. Lesson18
8. Lesson19
9. Lesson20
10. Lesson21
11. Lesson22
12. Lesson23
13. Lesson24
14. プリント使用
15. プリント使用

### 成績評価方法

- ・定期試験 (60点)
- ・平常点 (40点) 配点内訳：出席と活動内容で評価する。

### 教科書

*Short Listening for Travel* (成美堂)

*Essential Grammar for the TOEIC Test, Second Edition* (マクミラン ランゲージハウス)  
 毎回二冊を平行使用する。

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

開始時間厳守。着信音・振動音で授業を中断させないよう、携帯電話の電源を必ず切って授業に臨むという礼儀が求められる。質問は随時受け付ける。

## 英語Ⅷ

グループ	3	科目コード	0383
グループ	7	科目コード	0387

担当教員名 講師（非常勤） レイ・フランクリン

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

This English course is primarily designed to help students increase their general oral fluency and develop their discussion skills. The textbook and supplemental materials will focus on topics concerning basic health awareness. Class work will include short reading passages and listening exercises as well as speaking activities.

### 到達目標 (SBOs)

1. To increase general oral fluency in English with particular emphasis on making quick and accurate responses to questions.
2. To expand English discussion skills with particular emphasis on expressing opinions and presenting logical arguments.
3. To improve reading and listening skills.
4. To learn and use English terms related to health awareness.

### 授業内容 (項目・内容)

1. Introductions & Course Overview
2. Lesson 1-1: Reading & Vocabulary
3. Lesson 1-2: Listening & Speaking
4. Lesson 3-1: Reading & Vocabulary
5. Lesson 3-2: Listening & Speaking
6. Lesson 5-1: Reading & Vocabulary
7. Lesson 5-2: Listening & Speaking
8. Lesson 7-1: Reading & Vocabulary
9. Lesson 7-2: Listening & Speaking
10. Lesson 9-1: Reading & Vocabulary
11. Lesson 9-2: Listening & Speaking
12. Lesson 11-1: Reading & Vocabulary
13. Lesson 11-2: Listening & Speaking
14. Study Guide/ Test Review
15. Culture Lesson

### 成績評価方法

Attendance & Participation 50%  
Quizzes, Tests & Presentation 50%

### 教科書

*Healthtalk: Health Awareness & English Conversation* (Macmillan Languagehouse)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

In class, please focus on learning to speak English quickly, clearly, and smoothly! Remember that learning English is like playing music or sports: To get better you must practice, practice, practice!! So let's enjoy practicing English together.

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 英語Ⅷ

グループ	4	科目コード	0384
グループ	8	科目コード	0388

担当教員名 講師（非常勤） ジェイムズ・ハジュンズ

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

This English course is primarily designed to help students increase their general oral fluency and develop their discussion skills. The textbook and supplemental materials will focus on topics concerning basic health awareness. Class work will include short reading passages and listening exercises as well as speaking activities.

### 到達目標 (SBOs)

1. To increase general oral fluency in English with particular emphasis on making quick and accurate responses to questions.
2. To expand English discussion skills with particular emphasis on expressing opinions and presenting logical arguments.
3. To improve reading and listening skills.
4. To learn and use English terms related to health awareness.

### 授業内容 (項目・内容)

1. Introduction & Course Overview
2. Lesson 1-1:
3. Lesson 1-2:
4. Lesson 2-1:
5. Lesson 2-2:
6. Lesson 4-1:
7. Lesson 4-2:
8. Lesson 6-1:
9. Lesson 6-2:
10. Lesson 8-1:
11. Lesson 8-2:
12. Lesson 10-1:
13. Lesson 10-2:
14. Final Presentations
15. Review

### 成績評価方法

Attendance & Participation 50%  
Quizzes, Tests & Group Presentation 50%

### 教科書

*Healthtalk: Health Awareness & English Conversation* (Macmillan Languagehouse)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

Education is not the filling of a pail, but the lighting of a fire. (William Butler Yeats)  
Any questions at any time in the semester can be answered after class or sent to the following email address: jim@st.kobepharma-u.ac.jp

# 総合文化演習 I

—日本人のための「非言語コミュニケーション」入門—

担当教員名 教授 田中 研治

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2 年次 通年 必修 2 単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
2. 自らの考え・主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通して、他者の考え・主張をより深く理解する。
4. 人間のコミュニケーション行動における非言語的伝達行為の役割と特質を理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明快に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それを分かりやすく要約、紹介することができる。
3. 調査結果を分かりやすく報告し、聞き手と討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で正確に表現することができる。
5. 身近な非言語コミュニケーション現象を通じて情報伝達のあり方を観察し、自分なりの視点からその特質を分析し、説明できる。
6. 適切な状況判断により、言葉以外の手段による他者とのコミュニケーションを自分でコントロールできる能力を身につける。

## 授業内容 (項目・内容)

- 1.～2. 全体ゼミガイダンス (グループ分けなど)
3. 教科書の輪読により、内容と要点をグループごとに口頭発表するためのワークショップ。
- 4.～8. 同上
- 9.～29. (16回目以降は後期に実施)  
個人またはグループごとに、選定したテーマについての口頭発表、および討論を行う。口頭発表したテーマで年度末には所定のレポートを書き提出する。必要な資料類はプリントで配布予定。(詳細は「総合文化演習 I のしおり」参照。)途中で図書館における検索オリエンテーションを行う。
30. 1年間の総まとめ

## 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳: レポート、口頭発表、レジュメ作成
2. 平常点 (40点) 配点内訳: 出席、授業への積極的な参加、態度

## 教科書

『人は見た目が9割』(竹内一郎著、新潮新書、2005年)

## 指定参考書

特になし。適宜プリント類を配布

## 学生へのアドバイス

無遅刻、無欠席が重要。他人の発表を聞いて自らのレベルアップに努めることが肝要。「自分だけ楽をする」ことが許されない授業です。読書を苦にせず、発表が好きで、作文が得意な受講生を求めます。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 総合文化演習 I

## —ドイツの歴史と文化—

担当教員名 教授 畑 公也

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

### 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
2. 自らの考え主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通して、他者の考え、主張をより深く理解する。
4. ドイツの歴史、文化、芸術について考えながら、広くヨーロッパ一般について理解を深めるための基礎を築きます。

### 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明確に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それをわかりやすく要約紹介することができる。
3. 調査結果をわかりやすく報告し、討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。
5. ドイツとヨーロッパの歴史について概説できる。
6. ヨーロッパ文化の特質について概説できる。
7. 異文化理解を基盤に、自国の文化についても独自の視点を持ち、人と議論することができる。

### 授業内容 (項目・内容)

#### 前期

1. ガイダンス
  - 2.~5. 調査・発表
  - 6.~14. 学生による発表
  15. まとめ
- ドイツの歴史について調べて、発表する。  
自分たちで選んだテーマについて、1グループ(2-3人)で予備的発表

#### 後期

1. ガイダンス
  - 2.~14. 学生による発表
  15. まとめ
- 「レポートの書き方」について説明  
グループごとに本発表  
全体の講評

### 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳：レポート、口頭発表、レジュメ作成
2. 平常点 (40点) 配点内訳：出席、授業への積極的な参加、態度

### 教科書

特になし

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

オフィスアワー：月、水、木の昼休み。それ以外でも在室時はいつでも相談、質問に応じます。  
メールも可：k-hata@kobepharma-uac.jp

# 総合文化演習 I

—ヨーロッパの歴史と文化・1—

担当教員名 教授 春山 清純

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
2. 自らの考え主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通して、他者の考え、主張をより深く理解する。
4. ヨーロッパの多様性を、各国各地域の文化現象を歴史的に跡付けることによって理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明確に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それをわかりやすく要約紹介することができる。
3. 調査結果をわかりやすく報告し、討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。
5. 文化の歴史性を理解することができる。
6. 文化の民族性を理解することができる。
7. 文化の宗教性を理解することができる。
8. 文化の多様性を理解することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

### 前期

- |        |         |                                |
|--------|---------|--------------------------------|
| 1.     | ガイダンス   | 年間スケジュールの把握                    |
| 2.~3.  | 講義      | ヨーロッパ史の基本に関する講義と「レジユメのまとめ方」の説明 |
| 4.~14. | 学生による発表 | グループごとに予備発表                    |
| 15.    | まとめ     | 夏休みと後期に向けての諸注意                 |

### 後期

- |        |         |                  |
|--------|---------|------------------|
| 1.     | ガイダンス   | 「レポートの書き方」について説明 |
| 2.     | 模擬発表    | 担当教員の研究内容の紹介     |
| 3.~14. | 学生による発表 | グループごとに本発表       |
| 15.    | まとめ     | 全体の講評            |
- 本発表後、レポートをまとめ、年末までに提出する。

## 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳: レポート、口頭発表、レジユメ作成
2. 平常点 (40点) 配点内訳: 出席、授業への積極的な参加、態度

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

質問や相談はいつでも受け付けます。4号館2Fの春山研究室を訪ねてください。メールでも可能です。  
k-haru@kobepharmaceutical-u.ac.jp

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 総合文化演習 I

—映画演劇論—

担当教員名 准教授 赤井 朋子

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考察する。
2. 自らの考え主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通して、他者の考え、主張をより深く理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明快に設定することができる。
2. テーマに相応しい資料を探し、それを分かりやすく要約紹介することができる。
3. 調査結果を分かりやすく報告し、討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |         |         |  |
|---------|---------|--|
| 1.      | ガイダンス   | 授業の概要とゼミのテーマ (映画演劇論) についての説明。                        |
| 2.~3.   | 自己紹介    | 鑑賞経験のある映画や演劇作品について説明する。                              |
| 4.~5.   | 作品鑑賞の前に | 授業で鑑賞する作品についての予備的な講義。                                |
| 6.~8.   | 作品鑑賞    | DVDを使用して作品を鑑賞する。                                     |
| 9.~10.  | 作品分析    | 小グループに分かれて作品を分析し、報告する。                               |
| 11.~12. | 批評の講読   | 作品に関する批評を読む。   |
| 13.     | テーマの立て方 | 鑑賞した作品を例に、テーマやアウトラインを考えてみる。                          |
| 14.     | 文献検索    | 資料の探し方を学ぶ。   |
| 15.     | 口頭発表の準備 | 一人または2、3人のグループに分かれ、発表計画を立て、報告する。                     |
| 16.~28. | 口頭発表    | 映画や演劇に関する口頭発表 (テーマは自由) をグループ毎に行う。<br>(一回の授業につき一グループ) |
| 29.     | レポート    | レポート作成にあたっての注意点を学び、各自がレポートを作成する。                     |
| 30.     | まとめ     | 全体の講評  |

## 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳: レポート、口頭発表、レジュメ作成
2. 平常点 (40点) 配点内訳: 出席、授業への積極的な参加、態度

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

発表の準備には、できるだけ早くとりかかってください。  
そして、質問・相談があれば授業終了時、またはメールで予約を取ってください。



# 総合文化演習 I

—薬と薬剤師と医療—

担当教員名 准教授 松家 次朗

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
2. 自らの考え、主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通じて、他者の考え、主張をより深く理解する。
4. 医薬品と薬剤師を含めた医療専門職と現代医療に関係する様々な問題を掘り下げ、理解を深める。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明確に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それを分かりやすく要約紹介することができる。
3. 調査結果を分かりやすく報告し、討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。
5. 医療の社会的な役割について理解する。
6. 現代の医療が直面している問題を把握する。

## 授業内容 (項目・内容)

- 1.～6. 課題研究 I～VI
7. まとめのレポート
- 8.～14. 自由研究 VII～X
15. まとめのレポート

## 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳: レポート、口頭発表、レジュメ作成
2. 平常点 (40点) 配点内訳: 出席、授業への積極的な参加、態度

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

授業への積極的な参加を求めます。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 総合文化演習 I

—簿記会計入門—医薬品企業の経営分析—

担当教員名 講師（非常勤）辻 峰男

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
2. 自らの考え主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通じて、他者の考え、主張をより深く理解する。
4. 業の専門家としても必要な簿記技術の取得と企業経営分析の方法を理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明快に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それを分かりやすく要約紹介することができる。
3. 調査結果を分かりやすく報告し、討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。
5. 商業簿記の技術の取得。
6. 簿記検定3級の受験。
7. 経営分析の実施及びプレゼンテーション。

## 授業内容 (項目・内容)

1. ゼミガイダンス
2. 簿記の全体像の理解
- 3.~14. 商業簿記の講義と演習
- 15.~17. 簿記総合問題演習
18. グループによる研究テーマの選定
- 19.~25. グループによる研究の実施と報告演習
26. 研究報告会
- 27.~30. 演習報告集の作成に向けて

## 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳：レポート、口頭発表、レジュメ作成
2. 平常点 (40点) 配点内訳：出席、授業への積極的な参加、態度

## 教科書

- 前期 TAC出版『日商簿記検定3級 合格テキスト』  
『日商簿記検定3級 合格トレーニング』
- 後期 平野嘉秋『新しい企業会計制度』大蔵財務協会

## 指定参考書

- 井手正介ほか『経営財務入門』日本経済新聞社  
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社

## 学生へのアドバイス

毎回・毎時間が問題演習となります。がんばりましょう。

# 総合文化演習 I

—マーケティングと消費者行動：生産と消費の架橋—

担当教員名 講師（非常勤） 西村 順二

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
2. 自らの考え・主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通して、他者の考え・主張をより深く理解する。
4. 身の回りのマーケティング事象を通して、マーケティング発想を養うことを目指す。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明快に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それを分かりやすく要約、紹介することができる。
3. 調査結果を分かりやすく報告し、聞き手と討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で正確に表現することができる。
5. 身近なマーケティング事象を通じてマーケティング発想とは何かを考え、論理的・分断的にマーケティング事象をとらえることができる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. ゼミガイダンス (グループ分けなど)
2. 教科書の輪読により、内容と要点をグループごとに口頭発表する。
- 3.~14. 同上
15. 中間まとめ
- 16.~29. (16回目以降は後期に実施)  
個人またはグループごとに、選定したテーマについての口頭発表、および討論を行う。口頭発表したテーマで年度末には所定のレポートを書き提出する。必要な資料類はプリントで配付予定。(詳細は「総合文化演習 I のしおり」参照。)
30. 1年間のまとめ

## 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳：レポート、口頭発表、レジュメ作成
2. 平常点 (40点) 配点内訳：出席、授業への積極的な参加、態度

## 教科書

適時指示する。

## 指定参考書

西村順二・石垣智徳 共編著『マーケティングの革新的展開』同文館

## 学生へのアドバイス

演習は1つの組織として活動します。集団の一員として最低限の役割ははたしてください。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 総合文化演習Ⅰ

—たけしのコマ大数学科—

担当教員名 教授 内田 吉昭

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考察する。
2. 自らの考え主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通じて、他者の考え、主張をより深く理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明快に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それを分かりやすく要約紹介することができる。
3. 調査結果を分かりやすく報告し、討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。
5. 与えられた課題に対して、論理的な文章で解答できる。

## 授業内容 (項目・内容)

数学の問題を「たけしのコマ大数学科」の問題をもとにして考察する。考察する内容は学生の状態を見ながら考えるが、現在以下の内容を予定している。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1-2 フィボナッチ数列 | 15-16 一筆書き       |
| 3-4 ケプラー予想   | 17-18 原始ピタゴラス数   |
| 5-6 トポロジー    | 19-20 マネー=クーツの定理 |
| 7-8 美術館定理    | 21-22 チェバの定理     |
| 9-10 暗号      | 23-24 フラクタル      |
| 11-12 和算     | 25-26 モンモール問題    |
| 13-14 カタラン数  | 27-28 ファレイ数列     |
|              | 29-30 割当問題       |

## 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳: レポート、口頭発表等
2. 平常点 (40点) 配点内訳: 出席、授業への積極的な参加、態度など

## 教科書

なし

## 指定参考書

なし

## 学習へのアドバイス

数学を考えましょう。

# 総合文化演習Ⅰ

—我々のルーツ「医療、薬、薬学の歴史」をさぐる—

担当教員名 講師（非常勤）杉浦 眞喜子

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
2. 自らの考え、主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通して、他者の考え、主張をより深く理解する。
4. 幅広い「薬の専門家」になるために、医療、薬、薬学をめぐるその歴史を知る。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明確に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それをわかりやすく要約紹介することができる。
3. 調査結果をわかりやすく報告し、討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。
5. 医療、薬、薬学等の歴史、ルーツについて概説できる。
6. 医療、薬、薬学等の歴史の意味を、自分の将来と関係づけて受けとめることができる。

## 授業内容 (項目・内容)

### 前期

1. ガイダンス
- 2～3. 討議：テーマの決定、グループ分け
- 4～8. グループ毎に調査（要毎時間報告）
- 9～11. 発表用パワー・ポイントの作成（要毎時間報告）
- 12～14. 調査結果の発表・討論
15. まとめ

後期 前期の調査内容について、討論の後、追加調査を行い、レポートをまとめる。

- 1～3. 前期発表内容について精査
- 4～6. 追加調査
7. 「レポート作成について」
- 8～10. レポート作成（要毎時間報告）
11. 中間発表
- 12～14. レポートの仕上げ
15. まとめ

## 成績評価方法

1. 演習点（60点）配点内訳：レポート、口頭発表、レジュメ作成
2. 平常点（40点）配点内訳：出席、授業への積極的な参加、態度

## 教科書

必要に応じプリントを配布します。

## 指定参考書

特になし。ただし、自分のテーマに関して、積極的に図書館を利用すること。

## 学生へのアドバイス

グループワークとなります。グループの一員として積極的に参加してください。  
質問は演習時間前後に受け付けます。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 総合文化演習 I

— 日本文化を考える —

担当教員名 講師（非常勤）佐藤 真知子

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
2. 自らの考え、主張を論理的にかつ証拠に基づいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通じて、他者の考え、主張をより深く理解する。
4. 日本文学作品を解釈して、その問題点を考察しつつ、作品の背景にある日本文化についての理解を深める。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明確に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それを分かりやすく要約紹介することができる。
3. 調査結果を分かりやすく報告し、討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。
5. 文学の様々な研究方法について理解する。
6. 文化の時空（歴史と地理）について理解する。
7. 問題を多角的に把握する。
8. 日本語の美しさを理解して、語彙を豊かにする。

## 授業内容 (項目・内容)

### 前期

1. はじめに ガイダンス及び年間スケジュールの把握などをする。
- 2.～9. 講義と実践 文献探索法、資料の取り扱い、データベースの活用、文章表現、ディベートなど実践的に取り組む。
- 10.～14. 学生による発表 テーマを選定し、予備的発表を行う。
15. まとめ レポートの書き方について説明する。  
夏休みに予備的発表を発展させて、課題を提出する。

### 後期

- 16.～29. 学生による発表 口頭発表と質疑応答を行う。
30. まとめ 全体の講評をする。

## 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳：レポート、口頭発表、レジュメ作成
2. 平常点 (40点) 配点内訳：出席、授業への積極的な参加、態度

## 教科書

特になし。

## 指定参考書

特に指定しない。

## 学生へのアドバイス

演習形式なので、テーマについて発表者と聞き手が協力して、ともに理解を深めていきましょう。演習内容に沿って、合理的に計画を立てること、そして形式と内容ともに備わったレポートを提出することを望みます。提出物は提出期限を厳守して下さい。発表ではパソコンなども適宜用いて多様な伝達手段を工夫しましょう。

# 総合文化演習 I

## —広告とコミュニケーション—

担当教員名 講師（非常勤）梅村 修

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2 年次 通年 必修 2 単位

### 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
  2. 自らの考えや主張を論理的に、かつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
  3. 他者との討論・議論を通じて、他者の考え、主張をより深く理解する。
- \*総合文化演習では、日本語の読解能力、文章表現能力、口頭表現能力の練磨が期待されている。したがって、本ゼミナールでも、文献講読、レポート作成、プレゼンテーション等を通じて、上記の日本語能力の強化を目指している。

### 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明快に設定することができる。
  2. テーマにふさわしい資料を探し、それを分かりやすく要約・紹介することができる。
  3. 調査結果を分かりやすく報告し、討論することができる。
  4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。
- \*受講生には、現代消費社会に満ち満ちている、さまざまな広告表現を読み解くリテラシーを身につけてもらいたい。

### 授業内容 (項目・内容)

授業内容については、最初の授業の際に、学生諸君の日本語能力、意欲、人数、関心の所在などを確かめてから決めたい。したがって、下記の項目および、その掲出順序はあくまで予定である（予定は未定であって決定ではない）。

前期 グラフィック広告のメディア・リテラシー (15回)

グラフィック広告をクリティカルに読み解き、オーディエンス（聴衆）にわかりやすく伝える訓練をする。自ら問題提起をし、自ら解答を見出し、クラスメートにパワーポイントを使ってプレゼンテーションしてもらう。また、レポートの執筆も課す。

後期 映像広告のメディア・リテラシー (15回)

前期のグラフィック広告のメディア・リテラシーを応用して、映像広告をクリティカルに読み解き、オーディエンス（聴衆）にわかりやすく伝える訓練をする。前期同様、自ら問題提起をし、自ら命題を見出し、パワーポイントを使ったプレゼンテーションしてもらう。また、近年盛んに行われるようになった、クロスメディア・コミュニケーションを通して、グラフィックと映像を複合させた広告メディアのリテラシーにも取り組む予定。

\*前期、後期ともに、少人数による課題探しと発表を行う。発表後はレポートを課す。

\*2011年度前期に、梅村の「現代広告論」を受講した学生は、内容が一部重複する可能性がある。

### 成績評価方法

1. 出席率 (30点)
  2. 期末テスト (20点)
  3. プレゼンテーション (50点・レポート等に代える場合もある。)
- \*2回の遅刻は、1回の欠席とみなす。  
 \*期末テストは持ち込み可（各学期最後の授業中に行う。）しかし、コピーは絶対に不可。  
 \*パワーポイントを使ったプレゼンテーションが課される。  
 \*レポートは、授業中に提出するレポートと、期末レポートに分かれる。

### 教科書

- ・「アート・マーケティング」(辻幸恵・梅村修 著 白桃書房)
- ・「地域ブランドと広告」(梅村修・辻幸恵・朽尾安伸 著 嵯峨野書院)
- ・「キャラクター総論」(梅村修・辻幸恵・水野浩児 著 白桃書房)

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

- ・受講生には、若者らしいディーセンシー（decency・礼節）を期待します。やんちゃな学生は好きですが、不真面目な学生は嫌いです。
- ・勉強熱心な学生ほど、「教科書を学ぼう」とする。しかし、教科書は学ぶためのきっかけに過ぎない。葉大の学生諸君には「教科書で学んで」いただきたい。さて、傍点の意味するところはなへんにあるか、よく考えてください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生



# 総合文化演習 I

## —ヒューマンケア論入門—

担当教員名 講師（非常勤）服部 俊子

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

### 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考案する。
2. 自らの考え主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通じて、他者の考え、主張をより深く理解する。
4. 現代のさまざまな領域で営まれる「ヒューマン・ケア」のあり方を理論的・実践的に検討する。

### 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明快に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それを分かりやすく要約紹介することができる。
3. 調査結果を分かりやすく報告し、討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で表現することができる。
5. 「ヒューマン・ケア」とは何かを理解する。
6. 現代のさまざまな領域で営まれる「ヒューマン・ケア」のあり方を理論的・実践的に検討する。

### 授業内容 (項目・内容)

スキンケア、高齢者ケア、心のケア、ターミナルケアなど、ケアという言葉はとてもよく使われます。それは、現代に生きる私たちが、ケアという営みが重要であることに気づき、ケアを求めていることの現れなのでしょう。では、ここで求められているケアとは、どのようなものなのでしょうか。また、ヒューマン・ケアとは何なのでしょう。この演習は、参加者がケアに関連するテーマを自分で設定し、それについて調べ考えていきます。そのプロセスで、そもそも、人と人之间にある営みである「ヒューマン・ケア」とは何かを、理論的に、かつ、実践的に学ぶことも目的とします。たくさんの方が集まる「場」となるこの演習で、対話をしたり、協同作業すること自体が、すでにケアの実践的理解、またケアが果たす役割を見いだすための力となるので、積極的な参加を期待します。

1. ガイダンス コースの説明
- 2.～10. 教科書の輪読により、内容と要点をグループごとに発表する。
- 11.～29. (16回目以降は後期に実施)

個人またはグループごとに、選定したテーマについて口頭発表、および、討議を行う。口頭発表したテーマで年度末には所定のレポートを書き提出する。なお、途中で、文献検索の方法、論文の書き方についての講義を行う。

30. 一年間の総まとめ

### 成績評価方法

1. 演習点 (60点) 配点内訳：レポート、口頭発表、レジュメ作成
2. 平常点 (40点) 配点内訳：出席、授業への積極的な参加、態度

### 教科書

川本隆史編 (2005) 『ケアの社会倫理学』有斐閣選書

### 指定参考書

適宜、指示する。

### 学生へのアドバイス

一緒にヒューマン・ケアの営みを実践しながら創造的な授業にしていきたいと思います。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 総合文化演習 I

—コラージュ・プログラム ～生命を考える～—

担当教員名 講師（非常勤）中島 園美

クラス	1	科目コード	0600
クラス	2	科目コード	0600
クラス	3	科目コード	0600
クラス	4	科目コード	0600
クラス	5	科目コード	0600
クラス	6	科目コード	0600

2年次 通年 必修 2単位

## 一般目標 (GIO)

1. 自ら問題を設定し、その問題を解決するための手段・方法を考察する。
2. 自らの考え・主張を論理的にかつ証拠にもとづいて展開する能力を磨く。
3. 他者との討論・議論を通して、他者の考え・主張をより深く理解する。
4. 生命について考えを深め、将来医療に携わる職業人としての意識を高める。

## 到達目標 (SBOs)

1. テーマを適切に選び、研究目標を明快に設定することができる。
2. テーマにふさわしい資料を探し、それをわかりやすく要約、紹介することができる。
3. 調査結果を分かりやすく報告し、聞き手と討論することができる。
4. 自分の考えを適切な日本語で正確に表現することができる。
5. コラージュを製作し、自分の作品（イメージ）について語ることで、自己表現力を磨く。
6. イメージ（作品）に関して物語を語ることでの自己理解、イメージ（作品）を共有することでの他者理解の能力を養う。

## 授業内容 (項目・内容)

前期

1. ガイダンス
- 2.～14. コラージュを制作とテーマに関する作品（映画等）の鑑賞とグループディスカッション
15. コラージュ作品について物語を作り、グループで予備発表
16. イメージ表現やコラージュ表現についての講義。
17. コラージュ作品の物語を再構成。
- 18.～19. プレゼンテーションについて
- 20.～29. プレゼンテーション（その発表内容をレポートにまとめ提出する）。
30. 1年間の総まとめ

## 成績評価方法

1. 演習点（60点）配点内訳：レポート・口頭発表・レジュメ作成
2. 平常点（40点）配点内訳：出席、授業への積極的な参加、態度

## 教科書

なし

## 指定参考書

特になし。適宜プリント類を配布

## 学生へのアドバイス

本演習は、制作したコラージュ作品をもとにディスカッションするため、自分の作品を他のゼミ生に見せ、イメージを語ることに抵抗感のないことが必要となる。

## 現代社会論

クラス	1	科目コード	0501
クラス	2	科目コード	0501
クラス	3	科目コード	0501
クラス	4	科目コード	0501
クラス	5	科目コード	0501
クラス	6	科目コード	0501

担当教員名 准教授 松家 次朗

2 年次 前期 選択 1 単位

### 一般目標 (GIO)

現代社会におけるさまざまな倫理問題の特徴を分析し、現代社会の問題解決の方法について学ぶ。日本の現代社会の特徴を、さまざまなキーワードを通して考察し、問題解決の方向を探る。

### 到達目標 (SBOs)

1. 現代社会の特徴について学ぶ。
2. 民主主義社会の基本的な倫理的原則について学ぶ。
3. 自由と自己決定権の関係について学ぶ。
4. 個人の利益と社会の利益の関係について学ぶ。

### 授業内容 (項目・内容)

1. 現代社会の特徴 - 1 -
2. 現代社会の特徴 - 2 -
3. 現代社会の特徴 - 3 -
4. 現代社会の特徴 - 4 -
5. 現代社会の特徴 - 5 -
6. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 1 -
7. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 2 -
8. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 3 -
9. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 4 -
10. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 5 -
11. 民主主義社会の倫理的原則について考える - 6 -
12. 現代社会の課題について考える - 1 -
13. 現代社会の課題について考える - 2 -
14. 現代社会の課題について考える - 3 -
15. まとめ

### 成績評価方法

定期試験もしくはレポートとする。

### 教科書

特になし

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

講義では他の様々な考え方を紹介しますので、出席することは必須です。授業中に意見を求めることがあります。分からないことは授業中でも質問してください。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 英語の歴史

クラス	1	科目コード	0526
クラス	2	科目コード	0526
クラス	3	科目コード	0526
クラス	4	科目コード	0526
クラス	5	科目コード	0526
クラス	6	科目コード	0526

担当教員名 教授 田中 研治

2 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

英語を学ぶ人にとって、国際語、地球語として確固たる地位を占める現代英語がどのような歴史的経緯を辿ってきたかを理解することは重要である。約1500年前、北ドイツのゲルマン部族の方言に端を発し、ブリテン島での言語的成長と体系化を経て、全世界へと広がった英語の変化、発達、普及の過程を概観する。「英語史」とは「波瀾に富んだ英語の冒険物語」であることを学習したい。

## 到達目標 (SBOs)

1. 国際語としての現代英語の特徴を概説できる。
2. 英語史の時代区分と特徴を、「400年サイクル説」によって概説できる。
3. 英語史の背景にある様々な民族とその文化の特徴を概説できる。
4. 英語の起源について概説できる。
5. 英語の語彙に見られる「借用関係」を例をあげて説明できる。
6. 英語が世界史の流れに与えた社会的、文化的影響を概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

授業中に受講生に質問して、対話形式で進めることもある。ビデオ観賞(1回)をする予定。ほぼ次の内容を順番に講義するが、受講生の反応を見ながらトピックごとに説明を拡大したり、縮小したりすることもある。毎時間各種プリントを配布し、それをノート代わりに利用していただく。

1. 国際語としての英語とその多様性(1): 今日、世界各地で特有の発達を示す英語は、The English Languages とか、The new Englishes と呼ばれる。これらの変種英語の多様性と特徴について略述する。「400年サイクル説」の紹介。
2. 国際語としての英語とその多様性(2): 同上
3. 英語の起源(1): 印欧語祖語からゲルマン語派へ、更にはゲルマン語から古英語への言語的分岐や歴史的背景などを略述する。基本的な英語史の時代区分について概観する。
4. 英語の起源(2): 同上
5. 英語の始まり(1): 古英語(Old English)の文法的特徴や、語彙の性格、現代英語との関連性、当時の時代背景などを略述する。
6. 英語の始まり(2): 同上
7. 英語の始まり(3): 同上
8. 英語の成長期(1): 中英語(Middle English)の言語的特徴や、ノルマン・フレンチとの言語接触、当時の時代背景などを略述する。
9. 英語の成長期(2): 同上
10. 英語の成長期(3): 同上
11. 英語の成熟期(1): 近代英語(Modern English)の言語的特徴に加え、その世界的拡散と、その後の地球言語化の諸相や時代背景などを略述する。
12. 英語の成熟期(2): 同上
13. 英語の成熟期(3): 同上
14. アメリカ英語の起源と発達過程、その特徴について略述する。
15. 現代英語の特質と変化の様相: 20世紀以降の英語の特質を概観すると同時に、最近注目を集めている現代イギリス英語「河口域英語」(Estuary English)の姿などを紹介する。

## 成績評価方法

筆記試験(80点)と、毎時間提出の出席・受講態度調査票(合わせて20点)を総合して評価する。

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

毎時間、かなり多くの内容を講義するので、受講生側のマナー順守（静粛、集中、要点筆記）が特に重要です。参考書については質問に来ていただければ数種類を紹介します。英語以外の外国語（独語、仏語、北欧諸言語、ギリシャ語、ラテン語などのヨーロッパの言語が中心）が頻出することを了承・覚悟のうえ受講してください。ただし、それらを前もって、あるいは授業と平行して学習する必要はありません。馴染みの薄い英語学や言語学の難しい専門用語はなるべく使わないようにしますが、疑問点などがあれば、面談のうえ質問はいつでも受け付けます。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

## 現代広告論

クラス	1	科目コード	0505
クラス	2	科目コード	0505
クラス	3	科目コード	0505
クラス	4	科目コード	0505
クラス	5	科目コード	0505
クラス	6	科目コード	0505

担当教員名 講師（非常勤）梅村 修

2年次前期 選択 1単位

### 一般目標 (GIO)

コミュニケーションのお手本として、現代の広告はどうやってつけの素材である。企業は、消費者との良好なコミュニケーション構築のために、莫大な経費を広告に投入する。そして、優秀なクリエイティブが、消費者とのコミュニケーションを成立させるために知恵を絞る。その結果、広告には商品を知らしめ、購買行動までに導く、巧妙な“売るための仕掛け”が仕組まれることになる。この広告の“売るための仕掛け”を読み解き、それを対人関係のコミュニケーション・スキルとして身につけ、論文作成や研究発表といったパフォーマンスに応用してほしい。

### 到達目標 (SBOs)

1. 現代消費社会に満ち満ちている、さまざまな広告表現を、主体的に読み解くことができる。
2. 広告の歴史を概観し、人類のコミュニケーションに広告が果たしてきた功罪について、理解を深める。
3. 広告のコミュニケーション手法を、自己の開発に応用できる。

### 授業内容 (項目・内容)

授業内容については、最初の授業の際に、意欲、人数、関心の所在などを確かめてから決めたい。したがって、下記の項目および、その掲出順序はあくまで予定である（予定は未定であって決定ではない）。

1. 広告とはなんだろうか？
2. 20世紀型広告定義
3. 21世紀型広告定義
4. 広告コミュニケーションのパラダイス・シフト
5. 広告のコンテンツとストラテジー
6. 広告のGood Surprise
7. 広告のコピーワーク
8. メディア・リテラシーについて
9. グラフィック広告のメディア・リテラシー
10. 映像広告の内容分析
11. 映像広告のメディア・リテラシー
12. クロスメディア・コミュニケーション
13. クロスメディア・コミュニケーションのメディア・リテラシー
14. 神戸薬科大学のテレビCMをつくってみよう（その1）
15. 神戸薬科大学のテレビCMをつくってみよう（その2）

\*本演習は、火曜2時間目に梅村が担当する「総合文化演習Ⅰ」（2年次履修科目）と連動している。したがって、本講義を受講する1年次生は、2年次に梅村の「総合文化演習Ⅰ」も、同時に履修することを視野に入れて講義に臨むことをお勧めする。

### 成績評価方法

1. 出席率（40点）
  2. レポート（30点）
  3. 期末テスト（30点）
- \*毎時間、出席カードを配付し、裏面に講義のサマリーや課題を書く。  
\*期末テストは持ち込み可（学期最後の授業中に行う。）しかし、コピーは絶対に不可。  
\*レポートは、授業中に提出するレポートと、期末レポートに分かれる。

### 教科書

- ・「消費社会とマーケティング」（東伸一・梅村修・辻幸恵・玄野博行 著、嵯峨野書院）
- ・「アート・マーケティング」（梅村修・辻幸恵 著、白桃書房）
- ・「キャラクター総論」（辻幸恵・梅村修・水野浩児 著、白桃書房）

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

- ・受講生には、若者らしいディーセンシー（decency・礼節）を期待します。やんちゃな学生は好きですが、不真面目な学生は嫌いです。
- ・昨年度の授業アンケートでは、学生諸君から「黒板の字が小さく、読みにくい」と苦言をいただいた。しかし、私は、文字満載のパワーポイントが大嫌いなので、今年度も引き続き、黒板は使う。当然、大きな字で書くつもりでいる。ただ、いかんせん、大教室なので限界がある。よって、視力が弱いことを自覚する学生諸君は、なるべく前方に座られんことを望みます。
- ・勉強熱心な学生ほど、「教科書を学ぼう」とする。しかし、教科書は学ぶためのきっかけに過ぎない。薬大の学生諸君には「教科書で学んで」いただきたい。さて、傍点の意味するところはなへんにあるか、よく考えてください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 社会心理学

クラス	1	科目コード	0564
クラス	2	科目コード	0564
クラス	3	科目コード	0564
クラス	4	科目コード	0564
クラス	5	科目コード	0564
クラス	6	科目コード	0564

担当教員名 講師（非常勤）中島 園美

2年次 前期 選択 1単位

## 一般目標 (GIO)

社会心理学の理論を学び、人間の社会場面での行動、認知、態度を規定する心理プロセスを理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 日常生活で体験している事象を社会心理学の視点から捉えなおす。
2. 自己への気づきと他者への理解を深める。
3. 社会の中で営まれている様々な人間関係における法則を知る。
4. 個人が集団の中にあるとき、その行動はどのような影響を受けるのか理解する。
5. いつもとは違う視点で物事を考える力を養う。

## 授業内容 (項目・内容)

1. ガイダンス
2. 心理学入門
3. 「わたし」の心と「わたし」の姿 (1) 自分をどのように捉えているか
4. 「わたし」の心と「わたし」の姿 (2) 自分をどのように他者に見せるか
5. 「わたし」の心と「わたし」の姿 (3) 周囲から影響を受ける自己
6. 「わたし」と対人関係 (1) 他者に抱く印象はどのように形成されるか
7. 「わたし」と対人関係 (2) 対人魅力
8. 「わたし」と対人関係 (3) 対人関係における青年の課題
9. 「わたし」と対人関係 (4) 対人関係の展開
10. 自己と他者の感情 感情の機能や共感性
11. 社会との関わり (1) 親切、思いやり、人助けなどの援助行動
12. 社会との関わり (2) 人はどのような時に、いかにして態度を変化させるか
13. 集団の中の人間 (1) リーダーシップに求められる資質
14. 集団の中の人間 (2) 周りに合わせるということについて
15. 集団現象 群衆心理・噂に扇動される心裡

## 成績評価方法

- ・レポート (60点)
- ・平常点 (40点) 配点内訳：出席、授業中の課題レポート

## 教科書

適宜、資料を配布する。

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

人間の行動は本質的に社会的なもの、すなわち直接的または間接的に他者に影響されるものです。そのメカニズムを学び、自己や他者をよりよく理解するひとつの知識として利用してもらいたいと思います。



# ヒューマンケア論入門

クラス	1	科目コード	0545
クラス	2	科目コード	0545
クラス	3	科目コード	0545
クラス	4	科目コード	0545
クラス	5	科目コード	0545
クラス	6	科目コード	0545

担当教員名 講師（非常勤） 服部 俊子

2 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

「ヒューマン・ケア」とは何かを考え、科学技術の時代である現代の、医療や福祉などの領域で営まれる「ヒューマン・ケア」のあり方を検討する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 「ヒューマン・ケア」とは何かを理解する。
2. 「ヒューマン・ケア」を含む「ケア」が注目されるようになった社会的背景を理解する。
3. 科学技術の時代である現代がどのような時代かを分析する。
4. 現代のさまざまな領域で営まれる「ヒューマン・ケア」のあり方を理論的・実践的に検討する。

## 授業内容 (項目・内容)

スキンケア、高齢者ケア、心のケア、ターミナルケアなど、ケアという言葉はとてもよく使われます。それは、現代に生きる私たちが、ケアという営みが重要であることに気づき、ケアを求めていることの現れなのでしょう。では、ここで求められているケアとはどのようなものなのでしょう。また、(科目名の)ヒューマン・ケアとは何なのでしょう。

この科目ではこれらを主題に、受講者どうしの議論を通して「ヒューマン・ケア」のあり方を検討していきます。当然、この授業に集う人(受講者と教員)の間にもヒューマン・ケアの営みがあるので、実践しながら検討することにもなります。授業の場に、受け身の姿勢ではなく積極的な態度で参加することを求めます。

授業では、個人ワークシート、グループワークシート、リフレクションシートを用います。

1. ガイダンス コースの説明
2. ～4. ケア／ヒューマン・ケアとは何かを、教科書の著作から理解する
5. 科学技術が隆盛な現代という時代について、参考資料から理解する
6. ～14. 現代の医療や福祉などの領域で営まれる「ヒューマン・ケア」のあり方を、文献(教科書を含む)や映像の資料をもとに議論する。
15. まとめ

## 成績評価方法

レポート (80%) 授業中に作成した個人ワークシート／グループワークシート／リフレクションシート+作成したシート類すべてをもとに作成するレポート

平常点 (20%) 出席回数、授業への参加態度

## 教科書

川本隆史編 (2005) 『ケアの社会倫理学』有斐閣選書

## 指定参考書

ミルトン・メイヤロフ (1987) 『ケアの本質』田村真／向野宣之訳、ゆみる出版  
 浜渦辰二編 (2005) 『〈ケアの人間学〉入門』知泉書館  
 水野治太郎 (1991) 『ケアの人間学』ゆみる出版  
 広井良典 (2000) 『ケア学』医学書院  
 小澤勲編 (2006) 『ケアってなんだろう』医学書院

## 学生へのアドバイス

授業の場をそこに集う全員で創るという意識で、授業に参加してください。

# 日本文化論

クラス	1	科目コード	0524
クラス	2	科目コード	0524
クラス	3	科目コード	0524
クラス	4	科目コード	0524
クラス	5	科目コード	0524
クラス	6	科目コード	0524

担当教員名 講師（非常勤） 佐藤 真知子

2 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

日本文化的教養を身につけるために、特に日本独自の文学形式である俳句に焦点を絞り、作品を丁寧に解釈することを通して、その史的発展を理解する。古典を学び、今を生きる自分を見つめ直す。

## 到達目標 (SBOs)

1. 俳諧の誕生とその変遷について概説できる。
2. 俳句を解釈できる。
3. 芭蕉について人物像を構築する。
4. 芭蕉の紀行文を解釈できる。
5. 芭蕉の作品について論述できる。
6. 芭蕉と同時代の作品を知る。
7. 文化的教養を身につけて俳句を創作する。
8. 伝統的な価値観と近代以後の価値観の相違を理解する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. はじめに／俳諧の歴史 | 俳諧の字義および誕生     |
| 2. 俳諧の歴史      | 俳諧の確立と諸流派      |
| 3. 俳句創作       | 作品理解の一段階としての創作 |
| 4. 芭蕉         | 伝記的事項と人物像の把握   |
| 5. 芭蕉         | 蕉風確立に至るまでの俳諧作品 |
| 6. 芭蕉         | 蕉風確立以後の俳諧作品    |
| 7. グループ討論     | 芭蕉の作品の特質を検討    |
| 8. グループ討論     | いろいろな俳句を読む     |
| 9. 芭蕉の紀行文     | 旅人の自覚『笈の小文』    |
| 10. 芭蕉の紀行文    | 『奥の細道』の成立      |
| 11. 芭蕉と同時代の作品 | 曾根崎心中 (1)      |
| 12. 芭蕉と同時代の作品 | 曾根崎心中 (2)      |
| 13. 芭蕉と同時代の作品 | 井原西鶴           |
| 14. 芭蕉以後      | 蕪村と一茶          |
| 15. 芭蕉以後／おわりに | 近代の作品          |

## 成績評価方法

レポート (40%)

平常点 (60%) 配点内訳: 小テスト (30%)、授業中の課題レポート (15%)、出席と授業に対する積極的な取組意欲・態度 (15%) を総合的に評価する。

## 教科書

授業の中でプリントを配付する。

## 指定参考書

新編日本古典文学全集70『松尾芭蕉集①』(1995年) 小学館

新編日本古典文学全集71『松尾芭蕉集②』(1997年) 小学館

## 学生へのアドバイス

授業中に課された提出物は、形式と内容を整えて、その授業の終わりに提出しなさい。質問等歓迎します。レポートは何かを写すのではなく、調べたことを考えてまとめます。

## 言語と文化

クラス	1	科目コード	0525
クラス	2	科目コード	0525
クラス	3	科目コード	0525
クラス	4	科目コード	0525
クラス	5	科目コード	0525
クラス	6	科目コード	0525

担当教員名 講師（非常勤） 友繁 義典

2 年次 前期 選択 1 単位

### 一般目標 (GIO)

日本語と英語の比較、及び、日本文化と英語圏の文化の考察を通じて、言語とは何か？文化とは何か？を概観する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 「言語」とは何かを概説できる。
2. 「文化」とは何かを概説できる。
3. 日本文化と英語圏の文化について概説できる。
4. 日本語と英語に関する相違点について概説できる。
5. 「言語」と「文化」の関係について概説できる。
6. 外国語を学ぶということは自国語及び自国の文化を学ぶことでもあることを説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. オリエンテーション    | 授業の説明など          |
| 2. 言語に関して 1     |                  |
| 3. 言語に関して 2     |                  |
| 4. 文化に関して 1     |                  |
| 5. 文化に関して 2     |                  |
| 6. 日本文化と西洋文化 1  |                  |
| 7. 日本文化と西洋文化 2  |                  |
| 8. 日本語と英語の比較 1  | 日英の単語に関して        |
| 9. 日本語と英語の比較 2  | 日英の語順と思考方法に関して   |
| 10. 日本語と英語の比較 3 | 日英の時制と時間意識に関して   |
| 11. 日本語と英語の比較 4 | 日英の否定表現、肯定表現に関して |
| 12. 日本語と英語の比較 5 | 冠詞に関して           |
| 13. 日本語と英語の比較 6 | 無生物主語と抽象名詞に関して   |
| 14. 日本語と英語の比較 7 | 総論               |
| 15. まとめ         | 授業全般のまとめ         |

(注：上記の講義内容の順番あるいは内容を若干変更する可能性があります。)

### 成績評価方法

試験 (50点) レポート (30点) 及び出席 (20点) (注：状況次第で、評価方法を変更する可能性があります。)

### 教科書

特になし

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

質問は講義の前後で対応します。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# アジア文化論

クラス	1	科目コード	0523
クラス	2	科目コード	0523
クラス	3	科目コード	0523
クラス	4	科目コード	0523
クラス	5	科目コード	0523
クラス	6	科目コード	0523

担当教員名 講師（非常勤） レイハン・パタール

2 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

ユーラシア大陸の中心部に位置し、シルクロードの要衝である中国新疆ウイグル自治区（以下新疆とする）ではさまざまな文化を持つ集団が生活している。本講義では、新疆及び主にこの地で暮らしているウイグルと呼ばれている人々の生活を中心に話を展開し、シルクロードの多文化社会の現状についての理解を深めることを目標にする。

## 到達目標 (SBOs)

1. 新疆の地理的位置の重要性について概説できる。
2. 新疆の自然環境の特徴及び気候の特徴について概説できる。
3. 多文化社会としての新疆について概説できる。
4. 新疆の生活様式について概説できる。
5. ウイグルの信仰の変遷と生活習慣について理解する。
6. 「ウイグル」の意味と由来について理解する。
7. 日本とのかかわりについて理解する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                      |                              |
|----------------------|------------------------------|
| 1. オリエンテーション         |                              |
| 2. 新疆の地理的位置          | 新疆の地理的位置とその重要性を概説する          |
| 3. 新疆の自然環境           | 新疆の自然環境の特徴、気候の特徴について概説する     |
| 4. 新疆の生活様式 (1)       | オアシス農耕                       |
| 5. 新疆の生活様式 (2)       | 移動牧畜                         |
| 6. 新疆の生活様式 (3)       | 商業、工業、鉱業                     |
| 7. ~8. 新疆の人々         | 新疆で暮らす各民族の言語、宗教、生活様式         |
| 9. ウイグルとは            | 「ウイグル」の意味と由来                 |
| 10. ウイグルの言語と文字       | 現代ウイグル語の特徴とウイグルの文字文化について概説する |
| 11.~12. ウイグルの信仰と生活習慣 | ウイグルの信仰の変遷と生活習慣について概説する      |
| 13.~14. 新疆と日本        | 日本とのかかわりについて概説する             |
| 15. まとめ              |                              |

## 成績評価方法

授業中の小テスト (70%)、及び出席、受講態度 (30%) などによって総合的に評価する。

## 教科書

適宜プリントを配付する。  
映像資料としてNHK『シルクロード』などを使用する予定。

## 指定参考書

『中央ユーラシア史』 小松久男 山川出版社  
『宋と中央ユーラシア』 伊原 弘・梅村 坦 中央公論社  
『草原とオアシス』 山田信夫 講談社

## 学生へのアドバイス

授業に毎回出席し、メモを取ることを求めます。質問は講義時間の前後、あるいはメールで受け付けます。

# アメリカ文化論

クラス	1	科目コード	0522
クラス	2	科目コード	0522
クラス	3	科目コード	0522
クラス	4	科目コード	0522
クラス	5	科目コード	0522
クラス	6	科目コード	0522

担当教員名 講師（非常勤） 相本 資子

2 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

アメリカは「自由と民主主義」を標榜してきた世界一の大国でありながら、人種問題、貧困問題、銃問題、環境問題などを内に抱えている。この複雑なアメリカに対する理解を深めることによって、視野を広げ、国際社会に参加するための基本的態度を養う。また、上級学年の総合文化演習を受講するための基礎的知識を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. アメリカが独立したときの基本的理念を概説できる。
2. アメリカの民族的多様性を概説できる。
3. アメリカにおける少数民族の立場を概説できる。
4. アメリカの宗教観を概説できる。
5. アメリカの外交的態度を概説できる。
6. アメリカの女性をジェンダーという観点から概説できる。
7. 映画、ファンタジー、音楽などの大衆文化から見えるアメリカ文化を概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 「アメリカ文化論」を学ぶ意味 | 「ソフト・パワー」                |
| 2. アメリカの理念と矛盾 1   | 「共和国と帝国」                 |
| 3. アメリカの理念と矛盾 2   | 「共和国と帝国」                 |
| 4. 映画から見る「共和国と帝国」 | 『インディペンデンス・デイ』『スター・ウォーズ』 |
| 5. 人種問題における帝国主義   | 移民の流れ                    |
| 6. 先住アメリカ人        | 歴史と文化                    |
| 7. 先住アメリカ人        | 歴史と文化                    |
| 8. アフリカ系アメリカ人     | 歴史と文化                    |
| 9. アフリカ系アメリカ人     | 歴史と文化                    |
| 10. アフリカ系アメリカ人    | 歴史と文化                    |
| 11. 領土拡張における帝国主義  | 明白なる運命                   |
| 12. 大衆文化          | 児童文学                     |
| 13. 大衆文化          | 児童文学                     |
| 14. 大衆文化          | ディズニーの世界                 |
| 15. まとめ           |                          |

## 成績評価方法

定期試験（80点）平常点（20点）配点内訳：出席、受講態度、課題レポートで評価する。

## 教科書

トピックごとにそのつどプリントを用意する。

## 指定参考書

小田隆裕他編 『事典現代のアメリカ』 大修館書店  
 高村宏子他編 『アメリカ合衆国とは何か』 雄山閣出版  
 徳永由紀子他編 『アメリカン・カルチュラル・スタディーズ』 萌書房

## 学生へのアドバイス

新聞、ニュース、映画などを通して、できるだけアメリカに興味を持ってほしい。  
 質問は講義の前後で対応、または予約にて対応する。講義は連続性があるため、毎回出席して傾聴すること。講義中は私語を慎むこと。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

## 医療と人間

クラス	1	科目コード	0543
クラス	2	科目コード	0543
クラス	3	科目コード	0543
クラス	4	科目コード	0543
クラス	5	科目コード	0543
クラス	6	科目コード	0543

担当教員名 准教授 松家 次朗

2年次 後期 選択 1単位

### 一般目標 (GIO)

現代の医療が抱える問題と医療技術が社会や倫理に与えている影響の質と内容について理解する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 終末期医療の問題点を理解する。
2. 脳死と死の定義の変更の意味について理解する。
3. 生命の神聖性という基準と生命の質という基準の違いについて理解する。
4. 人工妊娠中絶をめぐる倫理問題を理解する。
5. 重度新生障害児をめぐる倫理問題を理解する。
6. 安楽死をめぐる倫理問題を理解する。
7. 環境倫理学と生命倫理学の関係について理解する。
8. 新しい倫理学の特徴について理解する。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 生命倫理学入門            | 新しい倫理学としての生命倫理学      |
| 2. 死後の誕生              | 脳死の女性の出産？            |
| 3. 死後の誕生              | 脳死は人の死か              |
| 4. 死の再定義 -1-          | 脳死はどのように再定義されたか -1-  |
| 5. 死の再定義 -2-          | 脳死はどのように再定義されたか -2-  |
| 6. シャン博士のジレンマ         | 無脳症児を死なせることは罪か -1-   |
| 7. シャン博士のジレンマ         | 無脳症児を死なせることは罪か -2-   |
| 8. トニー・ブランドと人命の神聖性-1- | 生と死の選択 -1-           |
| 9. トニー・ブランドと人命の神聖性-2- | 生と死の選択 -2-           |
| 10. 中絶をめぐる争い          | プロチョイスとプロライフの争い      |
| 11. 生命の質に基づく判断を下す     | 生きるに値しない生命は存在するか -1- |
| 12. 生命の質に基づく判断を下す     | 生きるに値しない生命は存在するか -2- |
| 13. 死を依頼する            | 安楽死をめぐる論争 -1-        |
| 14. 死を依頼する            | 安楽死をめぐる論争 -2-        |
| 15. まとめ               |                      |

### 成績評価方法

定期試験もしくはレポートとする。

### 教科書

ピーター・シンガー 『生と死の倫理』 昭和堂

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

自分の頭で考え、自分の言葉で語ることを求めます。授業中に意見を求めることがあります。質問は遠慮なくしてください。

## 現代の音楽

クラス	1	科目コード	0503
クラス	2	科目コード	0503
クラス	3	科目コード	0503
クラス	4	科目コード	0503
クラス	5	科目コード	0503
クラス	6	科目コード	0503

担当教員名 教授 畑 公也

2 年次 後期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

芸術の一ジャンルである音楽をめぐるさまざまな問題について考える。それによって、物事を多角的にみる能力を養うとともに、見識ある人間としての基礎を築くために、自分自身の洞察を深めるための一助とする。

## 到達目標 (SBOs)

1. 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について考える習慣を身に付ける。
2. 有史以前から現在にいたるまでの音楽の発展過程を理解する。
3. 現代社会において音楽の果たしている役割を理解する。
4. 音楽のありようを通して「現代とはどのような時代か」という問いに対して自分なりに考え、答えを模索する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. オリエンテーション  | これは何でしょう         |
| 2. 音楽とは何か     | 音楽の発生と本質について     |
| 3. 現代の音楽状況    | 百年前と比較して         |
| 4. 音楽の多様性     | 私たちは何を聴いているか     |
| 5. ジャンルとは何か   | 音楽におけるジャンル分けの意義  |
| 6. 音楽の歴史 I    | 近代調性音楽           |
| 7. 音楽の歴史 II   | ベートーベンの生涯と音楽     |
| 8. 現代の音楽 I    | ジャズの成立と発展        |
| 9. 現代の音楽 II   | ブルースからロックン・ロールへ  |
| 10. 現代の音楽 III | ロックの発展           |
| 11. 現代の音楽 IV  | フュージョン音楽としてのピアソラ |
| 12. 音楽の効用 I   | 音楽の「癒し効果」と音楽療法   |
| 13. 音楽の効用 II  | 「泣かせる音楽」         |
| 14. 音楽の効用 III | 音楽のメッセージ性        |
| 15. 音楽の未来     | 21世紀の音楽の可能性      |

現代には、さまざまなメディアの発達のおかげで、過去から現在にいたるあらゆる時代のさまざまなジャンルの音楽が氾濫していて、私たちはそれらを自由に選び出して聴くことができる。その「多様性」こそが現代の音楽の最も重要な特徴である。従って、「現代の音楽」と題するこの講義も、時代やジャンルの制限を取り払って、「私たちが聴くことのできるすべての音楽」を考察の対象とする。

授業中には、できるだけ多くの音楽を流して、多様な音楽に実際に触れてもらうように心がけたい。

また、授業のやり方に関しては、通常の教師から学生への一方通行的な授業ではなく、折に触れ受講生諸君の発言を求め、相互に意見交換しながら進めていく、共同制作的な授業を目指したい。

## 成績評価方法

期末試験 70点、出席・平常点 30点

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

オフィスアワー：月、水、木の昼休み。それ以外でも在室時はいつでも相談、質問に応じます。

メールも可：k-hata@kobepharmaceutical-u.ac.jp

# 消費者行動論

クラス	1	科目コード	0562
クラス	2	科目コード	0562
クラス	3	科目コード	0562
クラス	4	科目コード	0562
クラス	5	科目コード	0562
クラス	6	科目コード	0562

担当教員名 講師（非常勤） 西村 順二

2年次 後期 選択 1単位

## 一般目標 (GIO)

社会科学における経営学、その中の消費者行動研究と言う内容科学の一つを学ぶことを通して、経済社会の認識・考察・分析力を養うことを目指す。

## 到達目標 (SBOs)

マーケティングに関する基礎知識の修得と消費者行動の分析視点の修得を目指す。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. イントロダクション             | 講義の目標・評価方法・運営方式の確認と講義全体の概要 |
| 2. 社会科学の中の「消費者行動論」       | 社会科学における下位研究領域としての消費者行動論   |
| 3. マーケティング発想             | マーケティングの基礎概念と標的市場認識        |
| 4. 消費者ニーズ概念              | 消費者のニーズの本質と欲求創造            |
| 5.~8. マーケティングミックスの構成について |                            |
| 9. 消費と購買、そして消費者の動態       | 消費行動の基本分類 — AIDMAとAISAS    |
| 10. 供給サイドと需要サイドのマッチング    | 懸隔の意味                      |
| 11. 生産と消費の懸隔と流通機能        | 懸隔架橋の必要性                   |
| 12. 顧客適応と仕入れ・生産適応        | 需給調整のメカニズム                 |
| 13. 顧客適応の流通様式            | 流通業態変化                     |
| 14. 市場細分化概念              | 市場の細分化と市場の成長性              |
| 15. まとめ                  | 講義全体の総括と近年の消費行動            |

## 成績評価方法

学期末の試験（70%）、レポート（20%）、授業へのコミットメント（10%）等に基づき総合的に評価する。

## 教科書

西村順二著 『卸売流通動態論 — 中間流通における仕入と販売の取引連動性 —』 千倉書房

## 指定参考書

随時紹介していく。

## 学生へのアドバイス

日常生活シーンに於いて我々は常に購買・消費の局面に接している。本講義を受講する学生諸君には、何故この製品を購入するのか、したのかということに関心をもつようにして欲しい。



# 薬局経営論

クラス	1	科目コード	0563
クラス	2	科目コード	0563
クラス	3	科目コード	0563
クラス	4	科目コード	0563
クラス	5	科目コード	0563
クラス	6	科目コード	0563

担当教員名 講師（非常勤） 辻 峰男

2 年次 後期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

卒業後の進路先のひとつである薬局の経営について基本的なことを学習する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 会社組織について概説できる。
2. 薬局経営とモノの動きについて概説できる。
3. 薬局経営とヒトの動きについて概説できる。
4. 薬局経営とカネの動きについて概説できる。
5. 薬局経営の現状と課題について考察できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 組織の形態
2. 組織の変容
3. 販売
4. 生産管理
5. 労務管理
6. 組織
7. 資金管理
8. 財務諸表
9. データ収集
10. データ分析 1
11. その 2
12. その 3
13. 問題の指摘と解決討議
14. 事例研究
15. まとめ

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

桜井久勝 『財務諸表分析』 中央経済社

## 指定参考書

平野嘉秋 『新しい企業会計制度』 大蔵財務協会  
 武井一浩 『会社法を活かす経営』 日本経済新聞社  
 伊丹敬之ほか 『ゼミナール経営学入門』 日本経済新聞社

## 学生へのアドバイス

授業内容は授業時間内で理解するように努めてください。  
 非常勤のため、質問は講義の前後で対応します。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

# コミュニケーション論

クラス	1	科目コード	0541
クラス	2	科目コード	0541
クラス	3	科目コード	0541
クラス	4	科目コード	0541
クラス	5	科目コード	0541
クラス	6	科目コード	0541

担当教員名 講師（非常勤）新道 賢一

2年次 後期 選択 1単位

## 一般目標 (GIO)

生活場面での人と人との関わりの背景にある心理学的意味や、対人関係に影響を与えるさまざまな要因について考える。

## 到達目標 (SBOs)

1. 普段私たちが何気なく使っている「コミュニケーション」という用語について考え直してみる。
2. 臨床心理学的な理論に基づき自己理解を試みる。
3. 上記2.を通じて自分の対人関係上の特徴を知る。
4. 上記2.に基づき他者理解への礎とする。
5. 言語的・意図的な対人姿勢を自覚し、よりよい対人関係の手がかりにする。
6. 非言語的な要因にも目を向け、意図せず対人関係に及ぼす影響について考える。
7. 「コミュニケーション」の場で起きうる現象について知る。
8. 「コミュニケーション」の一形態である「学ぶ」ことについて、授業という実践を通して考える。

## 授業内容 (項目・内容)

1. オリエンテーション ～この授業は、コミュニケーション法を教える授業ではない～
2. 受講者の考える「コミュニケーション」 ～「コミュニケーション」は会話か?～
3. ことばの限界
4. ことばがなければ語れないこともある
5. 「バカ」は罵詈雑言か愛情表現か ～文脈が意味を決定する～
6. 何気ないやりとりで潜むコミュニケーションを阻害する応答
7. 「聞く」という営み
8. 「なぜ」という問い
9. 「かかわる」ということ
10. コミュニケーションのほころび ～「失錯行為」～
11. バカの壁、もしくは、防衛機制
12. 先生はお母さん!? ～「転移」という考え方～
13. 非言語的な要因
14. レポートを書く、というコミュニケーション
15. まとめ ～声なき声に耳をすませる～

## 成績評価方法

①出席点 (30点) ②受講態度 (30点) ③定期試験 (40点)

## 教科書

必要に応じて授業の中でのプリントを適宜配布します。

## 指定参考書

「プロカウンセラーの聞く技術」東山紘久著 創元社  
「看護のための精神医学」中井久夫・山口直彦著 医学書院  
「先生はえらい」内田樹 ちくまプリマー新書

## 学生へのアドバイス

出席を重視します（遅刻は欠席とみなします）。全授業のうち、8割以上の出席がなければ、定期試験の受験資格はありません。授業では毎回、当日の授業内容に関する800字程度の小レポートを課し、小レポートの内容も評価の対象とします。小レポートの内容により、授業の進捗状況が変化することがあります。授業を通じての「コミュニケーション」を円滑にするため、私語厳禁とします。

## 異文化理解

クラス	1	科目コード	0544
クラス	2	科目コード	0544
クラス	3	科目コード	0544
クラス	4	科目コード	0544
クラス	5	科目コード	0544
クラス	6	科目コード	0544

担当教員名 講師（非常勤） 相本 資子

2 年次 後期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

アメリカ文化と日本文化を比較検討し、それぞれの文化の独自性を理解することによって、国際社会に参加するための基本的態度を養う。グローバルな文脈の中で日米関係を捉え直すことによって、現代日本がかかえる問題を解明する1つの手がかりとする。

## 到達目標 (SBOs)

1. 異文化を理解することの意味を明らかにすることができる。
2. 異文化を知ることで自国の文化を新たな視点で見直すことができる。
3. アメリカ文化と日本文化を比較することで両者の相違点を概説できる。
4. アメリカ文化と日本文化を比較することで両者の共通点を概説できる。
5. 映画、文学作品、アニメ、スポーツなどの媒介を通して、アメリカ人と日本人の発想、視点、思想の違いを概説できる。
6. 人文科学、社会科学の思考方法を習得することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. はじめに           | 異文化理解の意味            |
| 2. 日本から見たアメリカ     | 拝米と排米               |
| 3. アメリカのジャポニズム    | 歴史的背景               |
| 4. アメリカのジャポニズム    | 歴史的背景               |
| 5. アメリカのジャポニズム    | 『蝶々夫人』              |
| 6. 日本文化の発信        | 『武士道』『日本の目覚め』       |
| 7. 戦時中のアメリカから見た日本 | 日系アメリカ人             |
| 8. 戦時中のアメリカから見た日本 | 日系アメリカ人             |
| 9. 戦後のアメリカから見た日本  | アメリカ映画に現れた日本のイメージ   |
| 10. 戦後のアメリカから見た日本 | アメリカ映画に現れた日本のイメージ   |
| 11. 高度成長期の日本とアメリカ | アメリカ映画に現れた日本のイメージ   |
| 12. 高度成長期の日本とアメリカ | アメリカ映画に現れた日本のイメージ   |
| 13. アメリカ文化と日本文化   | アメリカのアニメーションと日本のアニメ |
| 14. アメリカ文化と日本文化   | アメリカのアニメーションと日本のアニメ |
| 15. まとめ           |                     |

## 成績評価方法

レポート (80点) 平常点 (20点) 配点内訳: 出席、受講態度、課題レポートで評価する。

## 教科書

トピックごとにそのつどプリントを用意する。

## 指定参考書

- 小田隆裕他編 『事典現代のアメリカ』 大修館書店  
 新渡戸 稲造 『武士道』 PHP文庫  
 岡倉 天心 『茶の本—英文収録』 講談社学術文庫  
 『東洋の理想』 講談社学術文庫

## 学生へのアドバイス

新聞、ニュース、映画、大衆小説などを通して、できるだけアメリカと日本の関係に興味を持ってほしい。質問は講義の前後で対応、または予約にて対応する。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## ドイツ語 I

クラス	1	科目コード	0401
クラス	2	科目コード	0401
クラス	3	科目コード	0401
クラス	4	科目コード	0401
クラス	5	科目コード	0401
クラス	6	科目コード	0401

担当教員名 教授 畑 公也

2 年次 前期 選択 1 単位

### 一般目標 (GIO)

ドイツ語の基本的な運用能力を習得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. ドイツ語を通して、ドイツ文化およびヨーロッパの文化に対する関心を深める。
2. ドイツ語の単語を正しく発音できる。
3. ドイツ語文法の概要を把握する。
4. 辞書を引いて、平易なドイツ語の文章を読むことができる。
5. ドイツ語で簡単な日常会話ができる。
6. ドイツ語で簡単な文章を書くことができる。

### 授業内容 (項目・内容)

- 1～ 3. 導入説明と発音 ヨーロッパの中のドイツ、日本とドイツの関係について概説  
アルファベットの読み方を説明。
- 4～ 7. 動詞の現在人称変化・定動詞の位置
- 8～11. 冠詞と名詞の格変化・代名詞 I
- 12.～14. 動詞の不規則変化
15. まとめ

到達目標は、ドイツ語 I、II で共通ですが、I では基礎の中の基礎を学びます。基礎とは、名詞系の変化と動詞系の変化、及びドイツ語の文で最も重要な動詞の位置です。この三つのポイントに常に注目しながら、ドイツ語に慣れていってください。

言葉は文化です。言葉の中に文化と歴史が凝縮されています。ドイツ語と英語は近い親戚ですが、異なった歴史を歩んできました。それゆえ二つの言葉には、似たところと異なったところがあります。そこが最初は難しいように思えますが、だんだんと慣れてくれば味わい深いところでもあります。ドイツ語の面白さを一緒に味わいましょう。

### 成績評価方法

期末テスト (80%)、平常点 (小テストを含む: 20%)

### 教科書

『300語で話すドイツ語』入谷幸江他著 三修社

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

質問や相談は随時受け付けます。4号館2Fの人文科学研究室へ。  
メールも可: k-hata@kobepharma-u.ac.jp

## 中国語 I

クラス	1	科目コード	0402
クラス	2	科目コード	0402
クラス	3	科目コード	0402
クラス	4	科目コード	0402
クラス	5	科目コード	0402
クラス	6	科目コード	0402

担当教員名 講師（非常勤） レイハン・パタール

2 年次 前期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

中国語の発音と基本的な文法を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 中国語の特徴を理解する。
2. ピンインを習得する。
3. 基本単語を把握する。
4. 簡単な自己紹介ができる。
5. 基礎文法を習得する。
6. 簡単な日常会話ができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 単母音、子音、四声 | a,o,e,…,b,p,m,f,… |
| 2. 子音        | g,k,h,j,q,x, …    |
| 3. 子音        | z,c,s, …          |
| 4. 複母音       | ai,ei,ao,ou, …    |
| 5. 複母音       | ua,uo,ui, …       |
| 6. 複母音       | an,en,in, …       |
| 7. 第1課       | 人称代名詞、“是”の文       |
| 8. 第1課、第2課   | 指示代名詞、疑問文         |
| 9. 第2課       | “的”の用法、副詞         |
| 10. 第3課      | 動詞の文              |
| 11. 第3課      | 「所有」を表す“有”        |
| 12. 第4課      | 助数詞、指示代名詞         |
| 13. 第4課      | 形容詞の文             |
| 14. 第5課      | 「完了」を表す“了”、“想”    |
| 15. 第5課      | 「所在」を表す“在”        |

## 成績評価方法

試験 (80%) および出席、宿題 (20%) などによって総合的に評価する。

## 教科書

竹島金吾監修 <最新版> 『中国語はじめの一步』 白水社

## 指定参考書

塚本慶一監修 <新版> 『一年生のコミュニケーション中国語』 白水社  
 関中研二共著 『中国語キャンパス』 基礎編 朝日出版社  
 本間史、孟広学著 『中国語ポイント42』 白水社

## 学生へのアドバイス

講義は連続性があるため、次の講義時間までに、前の内容を復習し、ある程度把握することを求めます。質問は講義時間の前後、あるいはメールで受け付けます。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

**韓国語 I**

クラス	1	科目コード	0403
クラス	2	科目コード	0403
クラス	3	科目コード	0403
クラス	4	科目コード	0403
クラス	5	科目コード	0403
クラス	6	科目コード	0403

担当教員名 講師（非常勤）金 錦花

2 年次 前期 選択 1 単位

**一般目標 (GIO)**

韓国語の文字—ハングルについて習得し、視聴覚資料（ビデオ・DVDなど）を利用して韓国の文化について関心と理解を深める。

**到達目標 (SBOs)**

全く初めての学習者を対象に、ハングル字母から一つ一つ学んで行く。

1. 日常あいさつ表現を身に付ける。
2. ハングル文字が読める、書ける。
3. 初歩的な文法や文型を身に付ける。
4. 韓国の文化について関心と理解を深める。

**授業内容 (項目・内容)**

1. 朝鮮（韓国）語・ハングルについて
2. 第1課 文字と発音 母音字母：基本母音とヤ行音
3. 第2課 文字と発音 子音字母：平音
4. 第3課 文字と発音 発音規則：有声音化
5. 第4課 文字と発音 子音字母：激音
6. 第5課 文字と発音 子音字母：濃音
7. 第6課 文字と発音 母音字母：ワ行音
8. 第7課 文字と発音 終声（パッチム）
9. 第8課 語彙と表現 ～です
10. 第8課 語彙と表現 疑問詞
11. 第9課 語彙と表現 鼻音化Ⅰ
12. 第9課 語彙と表現 鼻音化Ⅱ
13. 第10課 語彙と表現 ～といたします
14. 第10課 語彙と表現 一人称代名詞
15. まとめ

**成績評価方法**

定期試験の成績は60%、平常点（小テスト・宿題など）は20%、出席点は20%の割合で総合して評価する。

**教科書**

長谷川由起子 著（2012）『新・コミュニケーション韓国語 会話編1』白帝社  
\*改訂版初版発行

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

積極的に授業に参加し、主体的に学び、予習・復習を必ず行い効果ある学習方法を身に付けることが望まれる。\*質問は、講義終了時に受け付ける。

## ドイツ語Ⅱ

クラス	1	科目コード	0411
クラス	2	科目コード	0411
クラス	3	科目コード	0411
クラス	4	科目コード	0411
クラス	5	科目コード	0411
クラス	6	科目コード	0411

担当教員名 教授 畑 公也

2年次 後期 選択 1単位

### 一般目標 (GIO)

ドイツ語Ⅰに引き続き、ドイツ語の基本的な運用能力を習得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. ドイツ語を通して、ドイツ文化およびヨーロッパの文化に対する関心を深める。
2. ドイツ語の単語を正しく発音できる。
3. ドイツ語文法の概要を把握する。
4. 辞書を引いて、平易なドイツ語の文章を読むことができる。
5. ドイツ語で簡単な日常会話ができる。
6. ドイツ語で簡単な文章を書くことができる。

### 授業内容 (項目・内容)

- 1～3. 冠詞と名詞の格変化・代名詞Ⅱ
- 4～6. 定冠詞類・指示代名詞
- 7～9. 分離動詞
- 11～12. 話法の助動詞
- 13～14. 前置詞
15. まとめ

この授業は、前期のドイツ語Ⅰの内容を引き継ぐものである。したがって、ドイツ語Ⅰを受講したのみが受講できる。

ここでは、楽しみながら、初修の外国語であるドイツ語に慣れ親しんで欲しい。そして、ドイツ語を知ることによって、ヨーロッパ、つまりまだよく知らない世界に向かって新しい窓をひとつ開いて欲しい。世界は、日本とアメリカだけで成り立っているのではないのだから。

### 成績評価方法

期末テスト (80%)、平常点 (小テストを含む:20%)

### 教科書

ドイツ語Ⅰで用いたテキストを継続使用する  
『300語で話すドイツ語』入谷幸江他著 三修社

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

質問や相談は随時受け付けます。4号館2Fの人文科学研究室へお越しく下さい。  
メールも可: k-hata@kobepharmaceutical-u.ac.jp

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 中国語Ⅱ

クラス	1	科目コード	0412
クラス	2	科目コード	0412
クラス	3	科目コード	0412
クラス	4	科目コード	0412
クラス	5	科目コード	0412
クラス	6	科目コード	0412

担当教員名 講師（非常勤） レイハン・パタール

2年次 後期 選択 1単位

## 一般目標 (GIO)

中国語の基礎を身に付ける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 基本単語を把握する。
2. 基礎文法を理解する。
3. 辞書を引いて簡単な文書を読むことができる。
4. 簡単な日常会話ができる。
5. 自己紹介ができる。
6. 簡単な文書を書くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 1. 第6課   | 数字、日付・時刻を表す語          |
| 2. 第6課   | 「動作の時点」を言う表現          |
| 3. 第7課   | 「動作の場所」と「距離」を表す語      |
| 4. 第7課   | 存在を表す「有」、反復疑問文        |
| 5. 第8課   | 「時間量」を表す語、助動詞「得」      |
| 6. 第8課   | 場所・時間の起点を表す語          |
| 7. 第9課   | 「過去の経験」を表す語、「給」「跟」    |
| 8. 第9課   | 「是……的」の文              |
| 9. 第10課  | 「動作の程度」を言う表現          |
| 10. 第10課 | 助動詞「能」、「会」            |
| 11. 第11課 | 「動作の進行」を表す「在」         |
| 12. 第11課 | 「～しに行く(来る)」の表し方       |
| 13. 第12課 | 比較、類似の表現              |
| 14. 第12課 | 比較、類似の表現、復習           |
| 15. 第13課 | 「誰々に…を～する」の「告诉」、「教」など |

## 成績評価方法

試験(80%)および出席、宿題(20%)などによって総合的に評価する。

## 教科書

竹島金吾監修 <最新版> 『中国語はじめの一步』 白水社

## 指定参考書

塚本慶一監修 <新版> 『一年生のコミュニケーション中国語』 白水社  
 関中研二共著 『中国語キャンパス』 基礎編 朝日出版社  
 本間史、孟広学著 『中国語ポイント42』 白水社

## 学生へのアドバイス

講義は連続性があるため、次の講義時間までに、前の内容を復習し、ある程度把握することを求めます。  
 質問は講義時間の前後、あるいはメールで受け付けます。



# 韓国語Ⅱ

クラス	1	科目コード	0413
クラス	2	科目コード	0413
クラス	3	科目コード	0413
クラス	4	科目コード	0413
クラス	5	科目コード	0413
クラス	6	科目コード	0413

担当教員名 講師（非常勤） 金 錦花

2 年次 後期 選択 1 単位

## 一般目標 (GIO)

簡単なハンゲルの文が書ける、韓国語で簡単な会話ができるなどの基本素養を身に付けるとともに、視聴覚資料（ビデオ・DVDなど）を利用して韓国の文化について関心と理解を深める。

## 到達目標 (SBOs)

韓国語Ⅰで学んだ基礎知識をしっかりと踏まえながら、韓国語Ⅱでは、「聞く、書く、読む、話す」の四つの総合能力を向上させることを目標とする。

1. 基本文法・文型を身に付ける。
2. 基本単語を身に付ける。
3. 簡単な会話ができる。
4. 韓国語の文化について関心と理解を深める。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 復習
2. 第11課 語彙と表現 月日の表し方
3. 第12課 語彙と表現 助詞と疑問詞
4. 第13課 語彙と表現 好き嫌い表現
5. 第14課 語彙と表現 ～ではありません
6. 第15課 語彙と表現 「～ます・～です」の丁寧形
7. 第15課 語彙と表現 場所・時を表わす助詞
8. 第16課 語彙と表現 ～ですね
9. 第16課 語彙と表現 手段・方法を表わす助詞
10. 第17課 語彙と表現 並列の語尾
11. 第17課 語彙と表現 助詞
12. 第18課 語彙と表現 ～けれども・～が
13. 第19課 語彙と表現 過去形
14. 第20課 語彙と表現 予定・つもり表現
15. まとめ

## 成績評価方法

定期試験の成績は60%、平常点（小テスト・宿題など）は20%、出席点は20%の割合で総合して評価する。

## 教科書

長谷川由起子 著（2012）『新・コミュニケーション韓国語 会話編1』白帝社  
\*改訂版初版発行

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

母語である日本語との対照の中で理解を深めるのがよりよい勉強方法かと思われるので、学習者は母語の能力を十分に生かすとともに、主体的・積極的に根気よく学ぶことが望まれる。

\*質問は、講義終了時に受け付ける。

# 社会薬学Ⅲ（実践編）

—医療の担い手として—

担当教員名 講師（非常勤） 金 美恵子  
講師（非常勤） 久岡 清子

クラス	1	科目コード	1030
クラス	2	科目コード	1030
クラス	3	科目コード	1030
クラス	4	科目コード	1030
クラス	5	科目コード	1030
クラス	6	科目コード	1030

2 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

薬学入門や社会薬学Ⅰ・Ⅱの基本的知識をもとに、医療の現場における薬剤師の仕事をスペシャリストとしての責務と医療全体を捉えることができるゼネラリストとしての使命を認識・理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 医薬品による副作用が生じた場合の被害救済について、その制度と内容を概説できる。
2. 医薬品にかかわる関連法規を理解し現場の業務と関連付けて説明できる。
3. 医療現場での治験業務の流れと関連法規を概説できる。
4. 医療過誤、リスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を理解する。
5. チーム医療における薬剤師の役割を理解し、個人情報保護法との関連を理解する。
6. 地域薬局薬剤師の役割を列挙し説明できる。
7. 国民の福祉健康における医療保険制度の貢献と問題点について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |   |
|------------------|---|
| 1. 病院の責務と薬剤師     | 病院と医療法、病院内の患者さまの動向と医療倫理                               |
| 2. 病院における医薬品管理   | 麻薬・向精神薬・劇薬・劇物などの管理と運用、薬物乱用防止への関わり、緩和医療チームにおける薬剤師      |
| 3. 病院における創薬と育薬   | 治験のながれと被検者保護、関連法規と報告義務                                |
| 4. 薬剤管理指導と薬剤師    | 入院患者様へ薬剤師が行う業務と関連法規                                   |
| 5. チーム医療の中の薬剤師①  | 癌化学療法、院内感染防止、と専門薬剤師                                   |
| 6. 情報管理に携わる薬剤師①  | 医薬品情報の収集・整理・伝達、医薬品安全管理責任者としての仕事                       |
| 7. 保険調剤薬局における薬剤師 | 保険薬局、在宅医療における薬剤師の仕事、学校薬剤師の仕事、禁煙指導への関わり                |
| 8. 精神科病院での薬剤師    | 病院の特徴と薬剤師の関与している業務と役割                                 |
| 9. チーム医療の中の薬剤師②  | NST（栄養管理・褥創管理）糖尿病療養指導などについて                           |
| 10. チーム医療の中の薬剤師③ | 医療事故・調剤過誤防止への対策                                       |
| 11. 情報管理に携わる薬剤師② | 施設内の情報の共有化（オーダーリングシステム、電子カルテ）                         |
| 12. 薬業連携         | 医薬分業、薬業連携による事故防止について、スポーツファーマシスト制度について                |
| 13. 医療保険制度の現状    | 医療保険制度、医療費のしくみ、薬価基準、DPCについて                           |
| 14. 医療保険制度のこれから  | 後発医薬品の選択と推薦   |
| 15. チーム医療の中の薬剤師④ | 高齢者医療などこれからの見通し、薬剤師の抱える問題点<br>CDTM（共同薬物療法マネジメント）と病棟常駐 |

## 成績評価方法

・定期試験（60点）・平常点（40点）：出席と受講態度、課題レポートで評価する。

## 教科書

なし

## 指定参考書

薬学と社会 日本薬学会編 東京化学同人  
ヒューマニズム・薬学入門 日本薬学会編 東京化学同人  
医薬品の開発と生産 日本薬学会編 東京化学同人

## 学生へのアドバイス

質問は講義日の授業後、またはメールでも受付可能。  
資料のないものもあるので、毎回出席して傾聴すること。

# 物理化学Ⅱ

## —物質の状態Ⅰ—

担当教員名 教授 向 高弘

クラス	1	科目コード	1220
クラス	2	科目コード	1220
クラス	3	科目コード	1220
クラス	4	科目コード	1220
クラス	5	科目コード	1220
クラス	6	科目コード	1220

2年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

物質の状態および相互変換過程を解析できるようになるために、熱力学の基本的知識と技能を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 熱、仕事、エネルギーの概念について説明できる。
2. 熱力学の基本法則について説明できる。
3. エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーについて説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| 1. 総論      | 物理化学に必要な数学           |
| 2. 総論      | 気体分子の運動とエネルギー        |
| 3. 総論      | エネルギーの量子化とボルツマン分布    |
| 4. エネルギー   | 熱および仕事の概念            |
| 5. エネルギー   | 状態関数の種類と特徴           |
| 6. エネルギー   | 熱力学第一法則 (エネルギー保存則)   |
| 7. エネルギー   | 定容熱容量と定圧熱容量          |
| 8. エネルギー   | エンタルピーと反応熱           |
| 9. エネルギー   | 物理変化・化学変化に伴うエンタルピー変化 |
| 10. 自発的な変化 | エントロピー               |
| 11. 自発的な変化 | 熱力学第二法則              |
| 12. 自発的な変化 | 物理変化・化学変化に伴うエントロピー変化 |
| 13. 自発的な変化 | 熱力学第三法則              |
| 14. 自発的な変化 | 自由エネルギーと化学ポテンシャル     |
| 15. 自発的な変化 | 自由エネルギーと平衡定数の温度依存性   |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

スタンダード薬学シリーズ2 物理系薬学Ⅰ. 物質の物理的性質 第2版 (日本薬学会編) 東京化学同人

### 指定参考書

バザバ薬学演習シリーズ2 物理化学演習 (三輪嘉尚ら著) 京都廣川書店  
 演習 化学熱力学 [新訂版] (渡辺啓著) サイエンス社  
 新教科書シリーズ 大学生のための化学熱力学 (宮崎榮三著) 裳華房

### 学生へのアドバイス

質問は随時受け付ける。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 物理化学Ⅲ

—物質の変化—

担当教員名 教授 中山 尋量

クラス	1	科目コード	1230
クラス	2	科目コード	1230
クラス	3	科目コード	1230
クラス	4	科目コード	1230
クラス	5	科目コード	1230
クラス	6	科目コード	1230

2年次 前期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

物質の変換過程を理解するために、化学反応速度論、および反応速度に影響を与える諸因子に関する基本的知識と技能を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 反応次数と速度定数について説明できる。
2. 代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。
3. 反応速度と温度との関係を説明できる。
4. 拡散および溶解速度について説明できる。
5. 沈降現象、流動現象および粘度について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |           |                      |
|-----------|----------------------|
| 1. 反応速度   | 反応次数と速度定数            |
| 2. 反応速度   | 速度式の変換               |
| 3. 反応速度   | 代表的な反応次数の反応の特徴       |
| 4. 反応速度   | 代表的な反応次数の決定法         |
| 5. 反応速度   | (擬) 一次反応速度と反応速度定数 I  |
| 6. 反応速度   | (擬) 一次反応速度と反応速度定数 II |
| 7. 反応速度   | 代表的な複合反応             |
| 8. 反応速度   | 反応速度と温度との関係          |
| 9. 反応速度   | 衝突理論                 |
| 10. 反応速度  | 遷移状態理論               |
| 11. 反応速度  | 代表的な触媒反応             |
| 12. 反応速度  | 酵素反応                 |
| 13. 物質の移動 | 拡散および溶解速度            |
| 14. 物質の移動 | 沈降現象                 |
| 15. 物質の移動 | 流動現象および粘度            |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

スタンダード薬学シリーズ (日本薬学会編) 第2巻「物理系薬学 I 物質の物理的性質 第2版」  
東京化学同人

## 指定参考書

物理化学演習 (三輪、青木) 京都廣川書店

## 学生へのアドバイス

配付するプリントの問題を十分に活用すること。テスト直前だけの勉強では対応できません。

# 物理化学Ⅳ

## —物質の状態Ⅱ—

クラス	1	科目コード	1240
クラス	2	科目コード	1240
クラス	3	科目コード	1240
クラス	4	科目コード	1240
クラス	5	科目コード	1240
クラス	6	科目コード	1240

担当教員名 教授 向 高弘  
講師 萩森 政頼

2 年次 後期 必修 1 単位

### 一般目標 (GIO)

複雑な系における物質の状態および相互変換過程を熱力学に基づき解析できるようになるために、溶液および電気化学に関する基本的知識と技能を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 相平衡、溶解平衡、吸着平衡などの物理的な平衡について説明できる。
2. 非電解質および電解質溶液の物理化学的性質について説明できる。
3. エネルギーの代表的な変換過程である化学電池反応について説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 1. 物理平衡   | 相変化に伴う熱の移動とクラウジウス-クラペイロンの式 |
| 2. 物理平衡   | 相平衡と相律                     |
| 3. 物理平衡   | 相図 (1)                     |
| 4. 物理平衡   | 相図 (2)                     |
| 5. 物理平衡   | 物質の溶解平衡                    |
| 6. 物理平衡   | 溶液の束一的性質                   |
| 7. 物理平衡   | 界面や表面における平衡                |
| 8. 物理平衡   | 吸着平衡                       |
| 9. 溶液の化学  | 活量と活量係数                    |
| 10. 溶液の化学 | 平衡と化学ポテンシャル                |
| 11. 溶液の化学 | 電解質溶液の電気伝導性                |
| 12. 溶液の化学 | 電解質溶液の活量係数とイオン強度           |
| 13. 電気化学  | 化学電池の種類と構成                 |
| 14. 電気化学  | 起電力と標準自由エネルギー変化            |
| 15. 電気化学  | ネルンストの式と濃淡電池               |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

スタンダード薬学シリーズ2 物理系薬学Ⅰ. 物質の物理的性質 第2版 (日本薬学会編) 東京化学同人

### 指定参考書

薬学物理化学演習 第3版 (小野行雄編) 廣川書店  
CBT対策と演習 物理化学 (薬学教育研究会編) 廣川書店  
ライフサイエンスの物理化学演習 (中村和郎著) 三共出版

### 学生へのアドバイス

質問は随時受け付ける。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

## 分析化学Ⅱ

## —化学物質の検出と定量—

担当教員名 教授 小林 典裕

クラス	1	科目コード	1260
クラス	2	科目コード	1260
クラス	3	科目コード	1260
クラス	4	科目コード	1260
クラス	5	科目コード	1260
クラス	6	科目コード	1260

2年次 前期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

医薬品の品質を確保するために、主成分および混入が想定される物質の定性分析・定量分析が行われる。本講義では、こうした医薬品分析に用いられる代表的な分析法について解説する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 医薬品の確認試験・純度試験について説明できる。
2. 重量分析の原理、操作、特徴について説明できる。
3. 容量分析の原理、操作、特徴について説明できる。
4. 酸塩基滴定の医薬品定量への応用について説明できる。
5. 非水滴定の原理と医薬品定量への応用について説明できる。
6. 沈殿滴定の医薬品定量への応用について説明できる。
7. キレート滴定の医薬品定量への応用について説明できる。
8. 酸化還元滴定の医薬品定量への応用について説明できる。
9. 紫外可視吸光度測定法の原理と医薬品定量への応用について説明できる。
10. 蛍光光度法の原理と医薬品定量への応用について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |         |            |                        |
|---------|------------|------------------------|
| 1.      | 定性反応       | 医薬品の定性反応と確認試験・純度試験への応用 |
| 2.      | 重量分析       | 重量分析の原理と医薬品定量への応用      |
| 3.      | 容量分析総論     | 標準液の調製と標定、定量計算の方法      |
| 4.~5.   | 酸塩基滴定      | 医薬品定量への応用              |
| 6.      | 非水滴定       | 原理と医薬品定量への応用           |
| 7.~8.   | 沈殿滴定       | 医薬品定量への応用              |
| 9.~10.  | キレート滴定     | 医薬品定量への応用              |
| 11.~12. | 酸化還元滴定     | 医薬品定量への応用              |
| 13.~14. | 紫外可視吸光度測定法 | 原理と医薬品定量への応用           |
| 15.     | 蛍光光度法      | 原理と医薬品定量への応用           |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

『NEW薬品分析化学』 (小林典裕、藤井洋一編著、廣川書店)

## 指定参考書

1. 『分析化学 (第3版)』 (前田昌子、今井一洋編、丸善)
2. 『ベーシック薬学教科書シリーズ2 分析化学』 (萩中 淳編、化学同人)
3. 『スタンダード薬学シリーズ2. 物理系薬学Ⅱ. 化学物質の分析』 (日本薬学会編、東京化学同人)

## 学生へのアドバイス

容量分析は、キーになる化学反応の当量関係を把握することが重要。  
吸光度測定法では分析機器のしくみを把握することも必要。復習が必須。  
質問は随時受け付けます。

# 有機化学Ⅲ

## —有機化合物の反応2—

クラス	1	科目コード	1430
クラス	2	科目コード	1430
クラス	3	科目コード	1430
クラス	4	科目コード	1430
クラス	5	科目コード	1430
クラス	6	科目コード	1430

担当教員名 教授 棚橋 孝雄  
講師 西村 克己

2年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

芳香族炭化水素の性質を理解するために、それぞれの基本構造、物理的性質、反応性に関する基本的知識を修得する。また官能基が有機化合物に与える効果を理解するために、官能基を有する有機化合物について、反応性およびその他の性質に関する基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. アルコール類の代表的な性質と反応性を列挙し、説明できる。
2. エーテル類の代表的な性質と反応性を列挙し、説明できる。
3. エポキシド類の開環反応における立体特異性と位置選択性を説明できる。
4. 代表的な芳香族化合物を列挙し、その物性と反応性を説明できる。
5. 芳香族性 (Hückel則) の概念を説明できる。
6. 芳香族化合物の求電子置換反応の機構を説明できる。
7. 芳香族化合物の求電子置換反応の反応性および配向性に及ぼす置換基の効果を説明できる。
8. 芳香族化合物の代表的な求核置換反応について説明できる。
9. フェノール類の代表的な性質と反応性を列挙し、説明できる。
10. アルコール、チオール、フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。
11. フェノールおよびその誘導体の酸性度の影響を及ぼす因子を列挙し、説明できる。
12. アミン類の代表的な性質と反応性を列挙し、説明できる。
13. 含窒素化合物の塩基性を説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. アルコール 1       | アルコールの置換反応               |
| 2. アルコール 2       | アルコールの脱離反応と酸化            |
| 3. エーテル          | エーテルの置換反応                |
| 4. エポキシド         | エポキシドの開環反応               |
| 5. 含硫黄化合物        | 含硫黄化合物の反応                |
| 6. 芳香族化合物 1      | ベンゼンの構造と安定性              |
| 7. 芳香族化合物 2      | 芳香族性 (Hückel則)           |
| 8. 芳香族化合物 3      | ベンゼンの求電子置換反応             |
| 9. 芳香族化合物 4      | 置換ベンゼンの求電子置換反応           |
| 10. 芳香族化合物 5     | 芳香族求電子置換反応の反応性と配向性       |
| 11. 芳香族化合物 6     | アレージアゾニウム塩の生成と反応         |
| 12. 芳香族化合物 7     | 芳香族求核置換反応とナフタレンの求電子置換反応  |
| 13. 芳香族化合物 8     | pKaに及ぼす置換基の効果            |
| 14. アミンと複素環化合物 1 | 含窒素化合物の塩基性とアミンの脱離反応、転位反応 |
| 15. アミンと複素環化合物 2 | 複素環化合物の性質および反応           |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

ブルース有機化学 (第5版) 上・下 (大船泰史ら訳) 化学同人

### 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ (日本薬学会編) 第3巻『化学系薬学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ』 東京化学同人  
ソロモンの新有機化学 (第7版) 上・下 (花房昭静ら訳) 廣川書店

### 学生へのアドバイス

この科目の範囲内に限定せず、関連の有機化学系科目の内容も参照しながら、教科書や参考書をよく読みこむことが重要です。原則的に質問は随時受け付ける。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 有機化学Ⅳ

## —有機化合物の合成—

担当教員名 教授 宮田 興子  
准教授 山野 由美子

クラス	1	科目コード	1440
クラス	2	科目コード	1440
クラス	3	科目コード	1440
クラス	4	科目コード	1440
クラス	5	科目コード	1440
クラス	6	科目コード	1440

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

官能基が有機化合物に与える効果を理解するために、官能基を有する化合物の合成と反応に関する基本的知識を修得する。

個々の官能基を導入、変換するために、それらに関する基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. アルデヒド類およびケトン類の性質と、代表的な求核付加反応を列挙し、説明できる。
2. カルボン酸およびカルボン酸誘導体（酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル）の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。
3. アルデヒド類、ケトン類、カルボン酸およびカルボン酸誘導体の酸性度に影響を及ぼす因子を列挙し、説明できる。
4. アルデヒド類およびケトン類の代表的な合成法について説明できる。
5. カルボン酸およびカルボン酸誘導体の代表的な合成法について説明できる。
6. 代表的な官能基選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |         |              |   |
|---------|--------------|---|
| 1.~4.   | カルボニル化合物の反応1 | 求核アシル置換反応<br>カルボン酸誘導体の反応特性<br>カルボン酸誘導体の反応<br>カルボン酸誘導体の合成法   |
| 5.~9.   | カルボニル化合物の反応2 | 求核アシル付加反応、付加-脱離反応<br>アルデヒドおよびケトンの反応特性<br>カルボニル化合物と炭素求核剤、ヒドリドイオンとの反応<br>アルデヒドおよびケトンと窒素求核剤、酸素求核剤との反応<br>$\alpha, \beta$ -不飽和カルボニル化合物の反応           |
| 10.~15. | カルボニル化合物の反応3 | $\alpha$ 炭素上での反応<br>$\alpha$ 水素の酸性度<br>エノール、エノラートイオンおよびエナミンの調製法と反応特性<br>$\alpha$ 炭素のハロゲン化およびアルキル化<br>アルドール反応およびクライゼン縮合<br>3-オキシカルボン酸の脱炭酸と合成への応用 |
| 16.     | 酸化-還元反応      | アルコール、アルデヒド、ケトン、アルケン、アルキンの酸化-還元   |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

ブルース 有機化学 (第5版) 上・下 (大船泰史ら監訳) 化学同人

### 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ3 (日本薬学会編) 『化学系薬学 I. 化学物質の性質と反応』

ソロモンの新有機化学 (第7版) 上・下 (花房昭静ら監訳) 廣川書店

ボルハルト・ショアー 現代有機化学 (第4版) 上・下 (古賀憲司ら監訳) 化学同人

ジョーンズ有機化学 (第3版) 上・下 (奈良坂紘一ら監訳) 東京化学同人

### 学生へのアドバイス

復習が大切である。教科書やノートを見ているだけでなく、自分で構造式や反応式を紙に書いて理解を深めよ。質問は随時受け付ける。



# 生物有機化学

クラス	1	科目コード	1480
クラス	2	科目コード	1480
クラス	3	科目コード	1480
クラス	4	科目コード	1480
クラス	5	科目コード	1480
クラス	6	科目コード	1480

担当教員名 教授 和田 昭盛  
准教授 山野 由美子

2 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

生体分子の機能を理解するために、生体分子の基本構造とその化学的性質に関する基本知識を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. グルコースの構造、性質、役割を説明できる。
2. グルコース以外の代表的な単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。
3. 代表的な多糖の構造と役割を説明できる。
4. アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。
5. タンパク質の高次構造を規定する結合（アミド基間の水素結合、ジスルフィド結合など）および相互作用について説明できる。
6. タンパク質のアミノ酸配列決定法を説明できる。
7. 核酸の立体構造を規定する化学結合、相互作用について説明できる。
8. 生体内に存在する代表的な複素環化合物を列挙し、構造式を書くことができる。
9. 核酸塩基の構造を書き、水素結合を形成する位置を示すことができる。
10. 生体内に存在する代表的な金属イオンおよび錯体の機能について説明できる。
11. 活性酸素の構造、電子配置と性質を説明できる。
12. 一酸化窒素の電子配置と性質を説明できる。
13. 代表的な酵素の基質結合部分が有する構造上の特徴を具体例を挙げて説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 糖類 1         | 糖類の種類と構造         |
| 2. 糖類 2         | 糖類の性質と反応         |
| 3. アミノ酸 1       | アミノ酸の種類、構造および性質  |
| 4. アミノ酸 2       | アミノ酸の分離、反応および合成法 |
| 5. タンパク質 1      | ペプチドの性質と合成法      |
| 6. タンパク質 2      | アミノ酸配列決定法        |
| 7. タンパク質 3      | タンパク質の構造         |
| 8. 生体の複素環化合物 1  | 複素環の種類と構造        |
| 9. 生体の複素環化合物 2  | 補酵素 1            |
| 10. 生体の複素環化合物 3 | 補酵素 2            |
| 11. 核酸 1        | ヌクレオシド           |
| 12. 核酸 2        | ヌクレオチド           |
| 13. 核酸 3        | 核酸の立体構造          |
| 14. 生体内に存在する金属  |                  |
| 15. 活性酸素と一酸化窒素  |                  |

## 成績評価方法

定期試験 80点、レポート 20点

## 教科書

ブルース有機化学（第5版）下（大船泰史ら監訳）化学同人  
プリント冊子

## 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ3（日本薬学会編）「化学系薬学Ⅱ.ターゲット分子の合成と生体分子・医薬品の化学」

## 学生へのアドバイス

生体内で起こる反応を有機化学的に理解すること。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

# 生薬学Ⅰ

クラス	1	科目コード	1550
クラス	2	科目コード	1550
クラス	3	科目コード	1550
クラス	4	科目コード	1550
クラス	5	科目コード	1550
クラス	6	科目コード	1550

担当教員名 講師 西山 由美

2 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

自然界に存在する植物・動物・鉱物を薬として利用するために、それらの基原および部位、性状、含有成分、薬効、修治などについての基本的知識を習得する。また、医薬品としての生薬の特性を理解し、日本薬局方記載の生薬については品質評価に関しても理解を深める。

## 到達目標 (SBOs)

1. 多成分系の医薬品としての生薬を説明できる。
2. 生薬の歴史、生産と流通について概説できる。
3. 代表的な生薬の産地と基原植物および部位の関係について、具体例を挙げて説明できる。
4. 代表的な生薬の薬効と薬効成分について説明できる。
5. 生薬の同定と品質評価法について概説できる。
6. 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 生薬とは何か？生薬学とはどのような学問か？世界の伝統医学について
2. 生薬の生産と流通および法と制度について
3. 生薬の基原と使用部位、修治について
4. 生薬の品質評価と医薬品としての生薬成分について
5. 各論1：双子葉植物綱 合弁花植物由来の生薬 (1)
6. 各論2：双子葉植物綱 合弁花植物由来の生薬 (2)
7. 各論3：双子葉植物綱 離弁花植物由来の生薬 (1)
8. 各論4：双子葉植物綱 離弁花植物由来の生薬 (2)
9. 各論5：双子葉植物綱 離弁花植物由来の生薬 (3)
10. 各論6：単子葉植物綱由来の生薬
11. 各論7：裸子植物、真菌類由来の生薬
12. 各論8：動物、鉱物由来の生薬
13. 代表的な生薬の薬効や薬用部位、成分などによる分類について (1)
14. 代表的な生薬の薬効や薬用部位、成分などによる分類について (2)
15. 日本薬局方記載の生薬と関連する試験法について

## 成績評価方法

定期試験 (90点)、授業中の課題レポート (10点)

## 教科書

伝統医薬学・生薬学 (南江堂)、生薬単 (NTS) ※生薬単は、薬用資源学で使用したものと同一。

## 指定参考書

カラーグラフィックス (廣川書店)  
スタンダード薬学シリーズ3 化学系薬学Ⅲ 自然が生み出す薬物 (東京化学同人)

## 学生へのアドバイス

質問は在室中ならいつでもOKです (1号館2階)。  
この科目の修得には覚えることがたくさんあり、また、幅広い知識が要求されることもあります。学習内容を自分なりにまとめておくことを勧めます。講義では、身近な生薬もたくさん出てくるので、興味を持って聞くと理解しやすいと思います。

# 微生物学Ⅰ

## —病原微生物総論—

担当教員名 准教授 小西 守周

クラス	1	科目コード	1670
クラス	2	科目コード	1670
クラス	3	科目コード	1670
クラス	4	科目コード	1670
クラス	5	科目コード	1670
クラス	6	科目コード	1670

2年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

感染症や微生物性二次疾患に対し治療するためには、微生物の種類と各微生物が有する増殖能や特有構造などの特性を理解し、効率のよい適性な薬物治療を施す基礎知識を得る。

### 到達目標 (SBOs)

1. 微生物とはどのような生物体であるのかを概説できる。
2. 微生物である細菌の種類を概説できる。
3. 微生物であるウイルス種類を概説できる。
4. 微生物であるリケッチア、クラミジアの種類を概説できる。
5. 微生物である真菌の種類を概説できる。
6. 各種微生物、細菌、ウイルス、などの増殖特性を概説できる。
7. 各種微生物、細菌、ウイルス、真菌などの病原性発現因子を概説できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1. 微生物の位置づけ      | 微生物の発見、我々との関わり        |
| 2. 微生物の位置づけ      | 腸内細菌などの常在菌            |
| 3. 微生物の分類と性質     | 系統的分類、真核生物と原核生物       |
| 4～6. 細菌の構造       | 細菌の形態 (グラム陽性菌、グラム陰性菌) |
| 7～9. 細菌の増殖、代謝    | 細菌の増殖機構、エネルギー代謝       |
| 10. 真菌、原虫        | 真菌、原虫の構造、増殖、生活環       |
| 11～12. ウイルス      | ウイルスの構造、増殖            |
| 13. 微生物の病因発現     | 細菌、真菌の産生毒素            |
| 14～15. 微生物の遺伝と変異 | 遺伝的変異、特殊な遺伝形質の伝達      |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

薬学領域の微生物・免疫学 (廣川書店)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

微生物は病因の大きな一因である。敵を知ることによって治療にも異なった処方が求められる。納得のできる学問をされたい。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 分子生物学 I

— 遺伝子 —

担当教員名 教授 北川 裕之

クラス	1	科目コード	1650
クラス	2	科目コード	1650
クラス	3	科目コード	1650
クラス	4	科目コード	1650
クラス	5	科目コード	1650
クラス	6	科目コード	1650

2 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

生命のプログラムである遺伝子を理解するために、核酸の構造、機能および代謝に関する基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 核酸塩基の代謝（生合成と分解）を説明できる。
2. DNAとRNAの構造について説明できる。
3. 遺伝子発現に関するセントラルドグマについて概説できる。
4. 染色体の構造を説明できる。
5. RNAの種類と働きについて説明できる。
6. DNAからRNAへの転写について説明できる。
7. RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。
8. DNAの複製と修復の過程について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 核酸とその構成成分 | 核酸の構成成分          |
| 2. 核酸とその構成成分 | ヌクレオチド関連化合物      |
| 3. 核酸とその構成成分 | DNAの構造           |
| 4. 核酸とその構成成分 | RNAの構造           |
| 5. 核酸とその構成成分 | 核酸の性質と構造変化       |
| 6. 遺伝子と染色体   | 遺伝子の本体           |
| 7. 遺伝子と染色体   | 遺伝情報の流れ          |
| 8. 遺伝子と染色体   | DNAの超らせん化        |
| 9. 遺伝子と染色体   | 染色体とクロマチン、ゲノムの構造 |
| 10. DNA代謝    | DNA複製            |
| 11. DNA代謝    | DNA修復            |
| 12. DNA代謝    | DNA組換え           |
| 13. 遺伝子発現    | DNAからRNAへの転写     |
| 14. 遺伝子発現    | 転写の調節とRNAプロセッシング |
| 15. 遺伝子発現    | RNAからタンパク質への翻訳   |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

NEW生化学 第2版 (廣川書店)

## 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ4 生物系薬学Ⅱ (東京化学同人)

Essential 細胞生物学 (南江堂)

ビジュアルワイド図説生物 (東京書籍)

## 学生へのアドバイス

教科書を中心とした講義を行うので、授業中に重要と言った部分に線を引き、その部分を必ず復習すること。

# 生化学Ⅱ

## —生命活動を担うタンパク質—

担当教員名 講師 三上 雅久

クラス	1	科目コード	1630
クラス	2	科目コード	1630
クラス	3	科目コード	1630
クラス	4	科目コード	1630
クラス	5	科目コード	1630
クラス	6	科目コード	1630

2年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

生命活動の担い手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造、性状、代謝についての基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. タンパク質の主要な機能を列挙できる。
2. タンパク質の構造と機能発現に必要な翻訳後修飾について説明できる。
3. タンパク質の取扱いについて説明できる。
4. 酵素反応の特性を一般的な化学反応と対応させて説明できる。
5. 代表的な酵素反応様式と酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。
6. 酵素反応速度論と代表的な酵素活性調節機構について説明できる。
7. 酵素以外の機能タンパク質・生理活性分子・シグナル分子の構造と機能が概説できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                |                        |
|----------------|------------------------|
| 1. タンパク質の機能と構造 | タンパク質の性質と分類            |
| 2. タンパク質の機能と構造 | タンパク質の立体構造             |
| 3. タンパク質の機能と構造 | タンパク質の翻訳後修飾と種類         |
| 4. タンパク質代謝     | タンパク質の修飾・細胞内局在・分解      |
| 5. タンパク質の取扱い   | タンパク質の分離・精製法・研究法       |
| 6. 酵素の一般的性質    | 酵素の性質と分類・補酵素           |
| 7. 酵素反応速度論     | 酵素反応の条件                |
| 8. 酵素反応速度論     | 酵素反応速度論                |
| 9. 酵素反応速度論     | 酵素反応の阻害                |
| 10. 酵素の形態と活性調節 | 酵素の形態と調節酵素             |
| 11. 機能タンパク質    | 細胞内外の物質や情報の授受に必要なタンパク質 |
| 12. 機能タンパク質    | 細胞内情報伝達関連タンパク質         |
| 13. 機能タンパク質    | サイトカイン                 |
| 14. 機能タンパク質    | 物質輸送を担うタンパク質・血漿リポタンパク質 |
| 15. 機能タンパク質    | 細胞骨格タンパク質              |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

NEW生化学 第2版 (廣川書店)

### 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ4 生物系薬学Ⅱ (東京化学同人)

ヴォートの生化学 (東京化学同人)

ビジュアルワイド図説生物 (東京書籍)

### 学生へのアドバイス

教科書を使用した復習が大前提である。講義中に強調した用語や、教科書で青字になっている用語を中心にまとめること。質問は随時受け付ける。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 生化学Ⅲ

## —生体エネルギー—

担当教員名 教授 北川 裕之  
講師 三上 雅久

クラス	1	科目コード	1640
クラス	2	科目コード	1640
クラス	3	科目コード	1640
クラス	4	科目コード	1640
クラス	5	科目コード	1640
クラス	6	科目コード	1640

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

生命活動が生体エネルギーによって支えられていることを理解するために、食物成分からのエネルギー産生、および糖質、脂質、タンパク質の代謝に関わる基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 食物中の栄養成分の消化・吸収、体内運搬について概説できる。
2. ATPが高エネルギー化合物であることを化学構造をもとに説明できる。
3. 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系（酸化リン酸化）について説明できる。
4. ペントースリン酸回路、アルコール発酵、乳酸発酵の生理的役割を説明できる。
5. 糖新生とグリコーゲンの役割について説明できる。
6. 飢餓状態のエネルギー代謝について説明できる。
7. 食餌性の血糖変動、インスリンとグルカゴンの役割を説明できる。
8. 核酸塩基の代謝（生合成と分解）を説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. エネルギーと生命  | 栄養素の利用           |
| 2. エネルギーと生命  | ATPの産生           |
| 3. 糖質代謝      | 解糖系              |
| 4. 糖質代謝      | アルコール発酵、乳酸発酵     |
| 5. 糖質代謝      | クエン酸サイクル         |
| 6. 糖質代謝      | ミトコンドリアの役割と電子伝達系 |
| 7. 糖質代謝      | 酸化リン酸化           |
| 8. 糖質代謝      | ペントースリン酸回路       |
| 9. 糖質代謝      | 糖新生              |
| 10. 糖質代謝     | グリコーゲンの合成と分解     |
| 11. 糖質代謝     | 飢餓状態のエネルギー代謝     |
| 12. 糖質代謝     | 血糖変動とホルモン調節      |
| 13. 糖質代謝     | まとめ              |
| 14. スクレオチド代謝 | 核酸塩基の生合成         |
| 15. スクレオチド代謝 | 核酸塩基の分解          |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

NEW生化学 第2版 (廣川書店)

### 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ4 生物系薬学Ⅱ (東京化学同人)  
ヴォートの生化学 (東京化学同人)  
ビジュアルワイド図説生物 (東京書籍)

### 学生へのアドバイス

教科書を中心とした講義を行うので、授業中に重要と言った部分に線を引き、その部分を必ず復習すること。

# 微生物学Ⅱ

## —病原微生物各論—

担当教員名 准教授 小西 守周

クラス	1	科目コード	1680
クラス	2	科目コード	1680
クラス	3	科目コード	1680
クラス	4	科目コード	1680
クラス	5	科目コード	1680
クラス	6	科目コード	1680

2年次 後期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

病原微生物によって起こりうる病気について理解することは、各々の疾病の適切にして効率的な治療を提供すると共に、薬剤耐性化の抑制にもつながることを学習する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 各種細菌による病因とその症状を概説できる。
2. 各種ウイルスによる病因とその症状を概説できる。
3. 各種リケッチアによる病因とその症状を概説できる。
4. 各種クラミジアによる病因とその症状を概説できる。
5. 二次性疾病の病因とその症状を概説できる。
6. 感染と予防について概説できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                        |                                  |
|------------------------|----------------------------------|
| 1～4. グラム陽性細菌           | ブドウ球菌などの各論 (細菌学的特性、病原性)          |
| 5～8. グラム陰性細菌           | 大腸菌などの各論 (細菌学的特性、病原性)            |
| 9. マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア | 構造、増殖、寄生性、病原性                    |
| 10. 真菌、原虫              | 真菌、原虫と疾患との関連                     |
| 11～12. DNAウイルス         | 帯状疱疹ウイルスなどの各論 (特性、症状)            |
| 13～14. RNAウイルス         | インフルエンザウイルス、レトロウイルスなどの各論 (特性、症状) |
| 15. プリオン               | プリオン蛋白質と疾患との関わり                  |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

薬学領域の微生物・免疫学 (廣川書店)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

微生物は病因の大きな一因である。敵を知ることによって治療にも異なった処方求められる。納得のできる学問をされたい。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 衛生薬学Ⅰ

—社会・集団と健康—

担当教員名 教授 岡野 登志夫  
准教授 津川 尚子

クラス	1	科目コード	1810
クラス	2	科目コード	1810
クラス	3	科目コード	1810
クラス	4	科目コード	1810
クラス	5	科目コード	1810
クラス	6	科目コード	1810

2年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

社会における集団の健康と疾病の現状およびその影響要因などについての理解を深めるために、保健統計、疫学などに関する基本的知識、技能、態度を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 集団の健康と疾病の現状を把握するうえでの保健統計の意義を概説できる。
2. 人口静態と人口動態および国勢調査の目的と意義について説明できる。
3. 死亡に関する様々な指標や死因別死亡率の変遷について説明できる。
4. 日本における人口の推移、人口の将来予測、高齢化と少子化によりもたらされる問題点について説明できる。
5. 疾病予防における疫学の役割や疫学の三要因・種類を説明できる。
6. 患者・対照研究と要因・対照研究（コホート研究）の方法の概要を説明し、各々の評価指標が計算できる。
7. 医薬品の作用・副作用調査における疫学的手法の有用性を概説できる。
8. 食中毒統計と種類、原因物質について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |   |
|------------------|---|
| 1. 保健統計          | 集団の健康と疾病の現状把握における保健統計の意義                                |
| 2. 人口静態          | 国勢調査と人口構成   |
| 3. 人口動態          | 出生統計と死亡統計   |
| 4. 死因別死亡率の変遷     | 死亡・疾病・傷病発生状況  |
| 5. 生命表           | 生命表と平均余命・平均寿命   |
| 6. 人口問題          | 人口の推移と将来予測  |
| 7. 高齢化と少子化       | 高齢化と少子化の現状と問題点  |
| 8. 疫学とは          | 疾病予防における疫学の役割   |
| 9. 疫学の要因         | 疫学における三要因（病因、環境要因、宿主要因）                                 |
| 10. 疫学の種類        | 記述疫学と分析疫学   |
| 11. 患者・対照研究      | 患者・対照研究とオッズ比の計算   |
| 12. 要因・対照研究      | 要因・対照研究（コホート研究）と相対危険度、寄与危険度の計算                          |
| 13. 医薬品の評価       | 疫学的な医薬品の作用・副作用の評価方法                                     |
| 14. 疫学データ        | 疫学データを解釈する上での注意点  |
| 15. 栄養疫学         | 栄養学における疫学研究の意義  |
| 16. 食中毒・食中毒の発生状況 | 食中毒に起因する健康障害<br>細菌性・ウイルス性食中毒、自然毒食中毒、マイコトキシン、化学物質による食品汚染 |

## 成績評価方法

定期試験（100点）

## 教科書

New衛生薬学（岡野登志夫、山崎裕康編、廣川書店）  
衛生薬学サブノート（岡野登志夫他、廣川書店）

## 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ（日本薬学会編）第5巻『健康と環境』東京化学同人  
国民衛生の動向2011/2012（厚生統計協会）、公衆衛生マニュアル2011（南山堂）

## 学生へのアドバイス

統計的手法や疫学的手法を用いることにより、集団のいわば「顔」がより鮮明に見えてきます。グラフや表の内容につき「興味をもつ」ことから「理解」が深まります。



# 薬理学 I

クラス	1	科目コード	1910
クラス	2	科目コード	1910
クラス	3	科目コード	1910
クラス	4	科目コード	1910
クラス	5	科目コード	1910
クラス	6	科目コード	1910

担当教員名 講師 八巻 耕也

2年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

薬物が生体に与える効果について、理論的に考察できるようになるために、体内で薬物と生体内分子がどのように関わりあい、作用を示すのか学ぶ。

## 到達目標 (SBOs)

1. 薬物の用量と作用の関係、主作用、副作用、有害作用、毒性について説明できる。
2. アゴニストとアンタゴニストについて説明できる。
3. 薬物の作用するしくみについて、受容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。
4. 代表的な薬物受容体を列挙し、刺激あるいは阻害された場合の生理反応を説明できる。
5. 薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、活性化された場合の生理反応を説明できる。
6. 薬効に個人差が生じる理由、薬物相互作用、薬物依存性について説明できる。
7. 自律神経系、運動神経系、神経節に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
8. 局所麻酔薬について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 薬理学総論 I                   | 受容体と細胞内情報伝達                               |
| 2. 薬理学総論 II                  | 薬物の用量と作用                                  |
| 3. 薬理学総論 III                 | 薬効に関与する因子                                 |
| 4. 生理活性物質 I                  | アセチルコリン                                   |
| 5. 生理活性物質 II                 | カテコールアミン                                  |
| 6. 生理活性物質 III                | その他の生理活性物質                                |
| 7. 神経伝達                      | 神経の一般的伝達機構とその機能                           |
| 8. $\alpha$ 、 $\beta$ 受容体作動薬 | $\alpha$ および $\beta$ 受容体作動薬の薬理作用、作用機序、副作用 |
| 9. $\alpha$ 、 $\beta$ 受容体遮断薬 | $\alpha$ および $\beta$ 受容体遮断薬の薬理作用、作用機序、副作用 |
| 10. アドレナリン作動性神経遮断薬           | アドレナリン作動性神経遮断薬の薬理作用、作用機序、副作用              |
| 11. コリン作動薬                   | コリン作動薬の薬理作用、作用機序、副作用                      |
| 12. 抗コリン薬                    | 抗コリン薬の薬理作用、作用機序、副作用                       |
| 13. 自律神経節に作用する薬物             | 自律神経節に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用                |
| 14. 神経筋接合部に作用する薬物            | 神経筋接合部に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用               |
| 15. 局所麻酔薬                    | 局所麻酔薬の薬理作用、作用機序、副作用                       |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

最新薬理学 廣川書店

## 指定参考書

グッドマン・ギルマン 薬理書 (廣川書店)  
NEW薬理学 (南江堂)

## 学生へのアドバイス

薬がなぜ効くのか理解するために必要な基礎的知識を修得する科目です。  
他の科目の内容を理解する上でも必要な知識なので、2年次の間に内容を理解してください。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 生物学系 I 実習

クラス	1	科目コード	3221
クラス	2	科目コード	3221
クラス	3	科目コード	3221
クラス	4	科目コード	3221
クラス	5	科目コード	3221
クラス	6	科目コード	3221

担当教員名 講師（非常勤）川西 和子  
講師（非常勤）山下 勉

2 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

1. 薬として用いられる動物・植物・鉱物由来の生薬の基本的性質を理解するために、それらの基原、性状、含有成分、生合成、品質評価、生産と流通、歴史的背景などについての基本的知識およびそれらを活用するための基本的技能を修得する。
2. 生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 代表的な生薬を鑑別（内部形態学的）できる。
2. 人体の基本構造を理解するために、各器官の構造と機能に関する基本的知識を修得する。
3. 臓器、組織を構成する代表的な細胞および組織の種類を列挙し、顕微鏡を用いて観察できる。
4. 血液・造血器における細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1. 実習講義<br>表皮組織（植物） | 各項目の理解および準備<br>顕微鏡の正しい使用方法および植物細胞の検鏡ならびにスケッチ          |
| 2. 生薬の内部形態          | 生薬およびその粉末の細胞および組織を検鏡ならびにスケッチ                          |
| 3. マウスの解剖           | 順序に従って臓器の摘出、観察ならびにスケッチ                                |
| 4. ヒトの肝臓と心臓         | 臓器切片（正常）を検鏡ならびにスケッチ                                   |
| 5. ヒトの血液の組成         | 血液を用いて、血球数の目視<br>ヘモグロビン濃度測定およびヘマトクリット値の測定             |
| 6. ヒトの血液の形態         | 血液を用いて、固定・染色し、血球像の検鏡ならびにスケッチ<br>溶血反応（赤血球抵抗測定、赤血球膜の特徴） |

## 成績評価方法

- ・レポートと実習態度（40点）
- ・出席（60点）

## 教科書

生物学系 I 実習書（プリント）

## 指定参考書

顕微鏡を主とする植物形態学の実験法（木島、廣川書店）  
生物学実験指針（稲垣、南江堂）  
カラーアトラスガイドブックラットの解剖（嶋井、廣川）  
図説臨床検査法 血液学（梅垣、医歯薬出版）

## 学生へのアドバイス

正しい顕微鏡の使い方をマスターする。第1及び2回目に全実習の講義をしますので、毎回実習の前日までには実習内容と復習（実習をイメージ）をする。

# 有機化学系 I 実習

クラス	1	科目コード	3211
クラス	2	科目コード	3211
クラス	3	科目コード	3211
クラス	4	科目コード	3211
クラス	5	科目コード	3211
クラス	6	科目コード	3211

担当教員名 講師 竹仲 由希子  
講師 西村 克己

2 年次 前期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

簡単な有機化合物の合成、分離、精製、および同定法を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 簡単なガラス細工を修得する。
2. 薄層クロマトグラフにおいて、化合物を分析し、Rf値の違いを試料の吸着力および移動層の溶離力より説明できる。
3. カラムクロマトグラフィーにより化合物を分離、精製できる。
4. 分液ロートを正しく使用できる。
5. 簡単な有機化合物を合成できる。
6. 吸引ろ過、自然ろ過法を修得する。
7. 融点の測定ができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. ガラス細工<br>薄層クロマトグラフィー | 実験に使用する簡単なガラス器具を製作<br>官能基の異なる芳香族化合物の分析 |
| 2. フルオレノールの合成           | フルオレノンからフルオレノールへの還元                    |
| 3. カラムクロマトグラフィー         | フルオレノンとフルオレノールの分離                      |
| 4. 安息香酸メチルの合成           | 安息香酸のメチル化                              |
| 5. 3-ニトロ安息香酸メチルの合成      | 安息香酸メチルのニトロ化                           |
| 6. ジベンザルアセトンの合成         | ベンズアルデヒドとアセトンのアルドール縮合                  |

## 成績評価方法

出席点 (60点)  
平常点 (40点) 配点内訳: レポート、課題、態度など

## 教科書

有機化学系I実習書 (薬化学研究室編)

## 指定参考書

『わかりやすい化学実験』(津波古充朝 他著) 廣川書店

## 学生へのアドバイス

一つひとつの実験操作の意味を考えながら、丁寧に実習してください。

1 年次生

2 年次生

3 年次生

4 年次生

5 年次生

6 年次生

# 分析化学系実習

クラス	1	科目コード	3203
クラス	2	科目コード	3203
クラス	3	科目コード	3203
クラス	4	科目コード	3203
クラス	5	科目コード	3203
クラス	6	科目コード	3203

担当教員名 教授 小林 典裕  
助教 大山 浩之

2年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

医薬品の化学的および物理的定量分析に必要な基本的知識を修得し、試薬の取扱いや装置・器具の的確な操作法を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 酸塩基滴定の原理、操作法を修得する。
2. 酸化還元滴定の原理、操作法を修得する。
3. 代表的な日本薬局方取載医薬品の容量分析について説明できる。
4. 実験値を用いた計算および簡単な統計処理ができる。
5. 紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、測定操作ができる。
6. 液体クロマトグラフィーの分離機構を説明し、化学物質の分離分析ができる。
7. 分析試料の適切な取り扱いと目的に即した前処理ができる。
8. 標準物質を用いた定量ができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 1. 酸塩基滴定 1     | 塩酸標準液の調製と標定             |
| 2. 酸塩基滴定 2     | 塩酸標準液による局方医薬品の定量        |
| 3. 酸化還元滴定 1    | チオ硫酸ナトリウム標準液の調製と標定      |
| 4. 酸化還元滴定 2    | チオ硫酸ナトリウム標準液による局方医薬品の定量 |
| 5. 紫外可視吸光度測定法  | 局方医薬品の定量                |
| 6. 液体クロマトグラフィー | 分析試料の前処理と局方医薬品の定量       |

## 成績評価方法

- ・レポート (40点)
- ・平常点 (60点) 配点内訳：出席と実習態度

## 教科書

分析化学実習書 (神戸薬科大学生命分析化学研究室編)

## 指定参考書

『NEW薬品分析化学』 (小林典裕、藤井洋一編著、廣川書店)

## 学生へのアドバイス

安全が第一。必ず保護眼鏡を使用し慎重な動作を。説明に従った実験を機械的に行うにとどまらず、学習した理論の実践・検証の場であることが望まれます。

# 生薬化学実習

クラス	1	科目コード	3214
クラス	2	科目コード	3214
クラス	3	科目コード	3214
クラス	4	科目コード	3214
クラス	5	科目コード	3214
クラス	6	科目コード	3214

担当教員名 教授 守安 正恭

講師 西山 由美 講師 士反 伸和

2 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

- ・薬として用いられる動物・植物・鉱物由来の生薬の基本的性質を理解するための基本的技能を修得する。
- ・医薬品開発における天然物の重要性と多様性を理解するための基本的技能を修得する。
- ・現代医療で使用される生薬・漢方薬について理解するための基本的技能を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 代表的な薬用植物の形態（外部）を観察する。
2. 代表的な薬用植物を形態が似ている植物と区別できる。
3. 代表的な生薬を鑑別できる。
4. 代表的な生薬の確認試験を実施できる。
5. 代表的な生薬の純度試験を実施できる。
6. 天然物の代表的な抽出法・分離精製法を列挙し、実施できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                      |                             |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. キナ皮からキニーネの抽出と精製 1 | キナ（植物）からアルカロイドを抽出する。        |
| 2. キナ皮からキニーネの抽出と精製 2 | アルカロイド抽出物からキニーネの単離・精製を行う。   |
| 3. 局方生薬の確認試験         | 重要な局方生薬の確認試験を行う。            |
| 4. 局方生薬の純度試験         | 重要な局方生薬の純度試験を行う。            |
| 5. 代表的な生薬の形態観察と鑑別    | 重要な局方生薬の外部形態観察と鑑別を行う。       |
| 6. 重要な漢方処方の調製        | 重要な局方収載の漢方処方を調製し、構成生薬を確認する。 |

## 成績評価方法

- ・レポート（40点）
- ・平常点（60点）配点内訳：出席と実習態度で評価する。

## 教科書

生薬化学実習書（生薬化学研究室編）、生薬単（NTS）

## 指定参考書

第十六改正日本薬局方解説書

## 学生へのアドバイス

実習書をあらかじめ読んで、予習しておくこと。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 物理化学系実習

クラス	1	科目コード	3202
クラス	2	科目コード	3202
クラス	3	科目コード	3202
クラス	4	科目コード	3202
クラス	5	科目コード	3202
クラス	6	科目コード	3202

担当教員名 教授 向 高弘  
講師 田中 将史 講師 萩森 政頼

2 年次 後期 必修 1 単位

## 一般目標 (GIO)

生体分子や医薬品、放射性物質の物理化学的性質を調べる実験を通して、薬学における物理化学的思考や基本的実験手法を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 旋光度測定法や導電率測定法などの日本薬局方に収載されている物理化学的試験法について説明できる。
2. 表面張力、活性化エネルギーなどの測定原理や方法について説明できる。
3. 生体分子の立体構造や安定性、医薬品との相互作用について具体例を挙げて説明できる。
4. 放射線の測定原理や方法について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |   |
|--------------|---|
| 1. 旋光度       | 旋光度測定によるショ糖加水分解反応の追跡                    |
| 2. 表面張力      | SDS水溶液の表面張力および導電率測定                     |
| 3. タンパク質の安定性 | 蛍光測定によるタンパク質の熱力学的安定性評価                  |
| 4. 薬物の膜結合性   | 生体膜モデル粒子 (リボソーム) への薬物の分配係数の決定           |
| 5. 放射線の測定    | GM計数管による $\beta$ 線の測定、計数の統計的変動の理解       |
| 6. 放射線防護     | サーベイメータによる空間線量測定と汚染検査<br>(放射線管理区域内実地訓練) |

## 成績評価方法

- ・ レポート (50%)
- ・ 平常点 (50%) 配点内訳：出席と受講 (実習) 態度で評価する。

## 教科書

物理化学実習テキスト (薬品物理化学研究室編)

## 指定参考書

第16改正日本薬局方一般試験法 (廣川書店)

## 学生へのアドバイス

出席と実習態度を重要視しますので、無断欠席やふまじめな態度は厳禁です。予習も大切ですので、実習テキストを前もって読んでくること。

# 化学系基礎演習 I

グループ 1	科目コード	2801
グループ 2	科目コード	2802
グループ 3	科目コード	2803
グループ 4	科目コード	2804

担当教員名	有機化学	教授 守安 正恭	教授 内藤 猛章
		准教授 山野由美子	講師 沖津 貴志
	物理化学	教授 志野木正樹	准教授 小山 淳子
2年次 前期 選択 1単位			

## 一般目標 (GIO)

この演習では、薬学を勉強する上で重要な「有機化学」および「物理化学」の基礎知識を習熟する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 電子の動きを示す矢印を用いて誘起効果や共鳴を説明できる。
2. 有機化合物の性質（酸、塩基等）を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
3. 有機化合物を3次的に捉え、立体異性体を紙面上で表すことができる。
4. 求核置換反応を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
5. 脱離反応および付加反応を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
6. 溶液の水素イオン濃度（pH）が計算できる。
7. 中和滴定の原理が説明できる。
8. 放射能の計算が出来る。

## 授業内容 (項目・内容)

- |         |           |                        |
|---------|-----------|------------------------|
| 1.      | 矢印の使用法    | 演習—矢印の意味と使用法           |
| 2.      | 誘起効果と共鳴効果 | 演習—矢印と誘起効果および共鳴効果      |
| 3.      | 酸と塩基      | 演習—矢印を用いた酸および塩基、強弱因子   |
| 4.      | 立体異性体     | 演習—表示法、配座異性体、配置異性体     |
| 5.      | 求核置換反応    | 演習—矢印とSN1, SN2反応       |
| 6.      | 脱離反応      | 演習—矢印とE1, E2反応         |
| 7.      | 付加反応—1    | 演習—矢印とシン付加             |
| 8.      | 付加反応—2    | 演習—矢印とアンチ付加            |
| 9.      | 中和滴定 1    | 演習—pHの計算と滴定曲線の作成 I     |
| 10.     | 中和滴定 2    | 演習—滴定曲線の作成 II と中和滴定の応用 |
| 11.     | 放射性壊変     | 演習—放射能の減衰と放射平衡の計算      |
| 12.     | 逆二乗の法則と分析 | 演習—線量当量率の計算と同位体希釈分析    |
| 13.~14. | まとめ       |                        |

## 成績評価方法

- ・出席評価 (60点)
- ・レポート、小テスト、理解度など (40点)

## 教科書

プリント

## 指定参考書

ブルース有機化学 (第5版) 上・下 (大船泰史氏ら訳、化学同人)  
 スタンダード薬学シリーズ3化学系I化学物質の性質と反応 (東京化学同人)  
 スタンダード薬学シリーズ2物理系I物質の物理的性質 (東京化学同人)  
 スタンダード薬学シリーズ2物理系II化学物質の分析 (東京化学同人)

## 学生へのアドバイス

質問は随時受け付ける。復習が大切である。  
 矢印を使って反応を書けるようにすること (有機化学)。

# 化学系基礎演習Ⅱ

グループ 1	科目コード	2821
グループ 2	科目コード	2822
グループ 3	科目コード	2823
グループ 4	科目コード	2824

担当教員名	有機化学	教授	内藤 猛章	講師	竹仲由希子
			講師	西村 克己	講師
	物理化学	講師	上垣内みよ子	助教	林 亜紀
2年次 後期 選択 1単位					

## 一般目標 (GIO)

この演習では、薬学を勉強する上で重要な「有機化学」および「物理化学」の基礎知識を習熟する。

## 到達目標 (SBOs)

1. アルケンおよびその類似体の性質と反応を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
2. 芳香族化合物の性質と反応を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
3. アルデヒドおよびケトンの性質と反応を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
4. カルボン酸誘導体の性質と反応を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
5. 代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。
6. 反応速度と温度との関係を説明できる。
7. 代表的な状態図（一成分系、二成分系、三成分系相図）について説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1.	アルケンの性質と反応	演習—矢印と求電子付加反応
2.	共役ジエンの性質と反応	演習—矢印と求電子付加反応、環化付加反応
3.	芳香族化合物の性質と反応	演習—矢印と芳香族求電子置換反応
4.	芳香族化合物の性質と反応	演習—矢印と芳香族求電子置換反応の配向性
5.	アルデヒドおよびケトンの性質と反応	演習—矢印と求核付加反応
6.	アルデヒドおよびケトンの性質と反応	演習—矢印とエノラートの反応
7.	カルボン酸誘導体の性質と反応	演習—矢印と求核付加—脱離反応
8.	カルボン酸誘導体の性質と反応	演習—矢印とエステルエノラートの反応
9.	反応速度	演習—速度定数と代表的な反応次数の決定
10.	反応速度	演習—反応速度と温度との関係
11.	相律および一成分系相図	演習—相律と水の状態図の理解
12.	二成分系および三成分系相図	演習—二成分系と三成分系液液平衡図の理解
13.~14.	まとめ	

## 成績評価方法

- ・出席評価 (60点)
- ・レポート、小テスト、理解度など (40点)

## 教科書

プリント

## 指定参考書

ブルース有機化学 (第5版) 上・下 (大船泰史氏ら訳、化学同人)  
 スタンダード薬学シリーズ3化学系I化学物質の性質と反応 (東京化学同人)  
 スタンダード薬学シリーズ2物理系I物質の物理的性質 (東京化学同人)

## 学生へのアドバイス

質問は随時受け付ける。復習が大切である。  
 矢印を使って反応を書けるようにすること (有機化学)。



# 医薬品物語

クラス	1	科目コード	2850
クラス	2	科目コード	2850
クラス	3	科目コード	2850
クラス	4	科目コード	2850
クラス	5	科目コード	2850
クラス	6	科目コード	2850

担当教員名 教授 難波 宏彰 教授 津波古 充朝  
教授 内藤 猛章 教授 足立 昌子

2年次 後期 選択 1単位

## 一般目標 (GIO)

ヒトの健康の維持と病気の治療において薬の果たす役割は計り知れないものがあるが、身近で代表的なくすりについて、このようなくすり人類の歴史の中でどのようにして発見され、また開発されてきたかを理解し、あわせて3年次以降の専門科目を履修するに際してのモチベーションを高めることを目標とする。

## 到達目標 (SBOs)

1. 発見及び開発の経緯について理解できる。
2. 薬理効果の概略を理解できる。
3. 医療の場における利用と人類社会への貢献について理解できる。
4. これらの医薬品がなぜ長年にわたって利用されているのかについて理解できる。

## 授業内容 (項目・内容)

いずれの医薬品についても、発見及び開発の経緯、薬理効果、医療の現場における利用と人類への貢献などについて概説する。

1. シスプラチン
2. ドキソルビシン
3. ワクチン
4. エーテル、亜酸化窒素
5. サリドマイド
6. ゲフィチニブ (イレッサ)
7. ノルフロキサシン及びその他のニューキノロン薬
8. チオ硫酸ナトリウム
9. 硫酸アトロピン
10. 薬用炭
11. ジメルカプロール
12. アスピリン
13. ジアゼパム
14. プラバスタチンナトリウム
15. ジルチアゼム

## 成績評価方法

レポート (100点)

## 教科書

プリントを使用する。

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

医薬品は人類の長い間の経験と努力の結晶である。このことをよく認識し、真摯な態度で講義を受けること。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

